

三重大学案内2024

# MIE UNIVERSITY GUIDE BOOK

三重大学

2024  
大学案内



入学試験に関するお問い合わせ

国立大学法人 三重大学 学務部入試チーム

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL (059) 231-9063 URL: <https://www.mie-u.ac.jp/exam/>



GUIDE TO MIE UNIVERSITY 2024



# 三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨する。

## CONTENTS

2	学長メッセージ	27	教育学部	51	キャンパスライフ	71	国際交流
3	新施設紹介	28	〈学校教育教員養成課程〉	53	キャンパスマップ	73	就職情報
6	三重大学×SDGs	31	医学部	55	空から見た三重大学	81	大学施設
9	三重大学の“今” を学べるキーワード	32	〈医学科〉	57	学生による学生支援活動	85	入試情報
15	三重大学の概要	33	〈看護学科〉	58	課外活動	87	三重大学へのアクセス
17	三重大学の教育	35	工学部	61	三重大生の日	88	インターネット出願のお知らせ
21	学部・学科INDEX	36	〈総合工学科〉	67	三重大学の学生支援システム	88	入学者選抜要項・学部案内の 入手方法
23	人文学部	43	生物資源学部	68	支援方針		
24	〈文化学科〉	44	〈生物資源学科〉	69	生活サポート		
25	〈法律経済学科〉	49	大学院 地域イノベーション学研究科	70	学費・奨学金		

## 学長メッセージ

三重大学は“三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学”の言葉のもと、昭和24年の建学以来、地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨することを基本理念としています。「樹(松)のみどり」、「海のみどり」、「空のみどり」という〈三翠〉の自然豊かな広いキャンパスに、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部、地域イノベーション研究科を加えた5つの学部、6つの研究科と大学病院が集まって、教育、研究、診療活動を行っている総合大学です。また、附属学校園、農場、演習林、水産実験所、練習船勢水丸などの附属施設も充実しています。

三重大学は、県全体を活動フィールドとし、各地域の特性に応じた特色・課題を探究して、三重大学特有の教育研究活動につなげています。生産業を中心とする産学連携の北勢サテライト、忍者研究等の伊賀サテライト、海女研究・海洋生物研究の伊勢志摩サテライト、農林水産業や過疎地域の学校教育等に関わる東紀州サテライトなどの地域拠点サテライトが各々のミッションを担って活動しています。

教育面では、社会の課題を発見し(感じる力)、情報収集してその解決法を考え(考える力)、コミュニケーションを駆使して(コミュニケーション力)、その課題を解決する(行動する力)という4つの力により〈生きる力〉を持った人材の育成を進めています。

研究面では、次世代型電池開発や新紫外LEDの開発に係る卓越リサーチセンターと、次世代型VLPワクチン、地域脱炭素バイオマス関連や包括的社会に向けたレジリエントな地域社会基盤の構築などに関する重点リサーチセンターも併せて設置して、世界的レベルの研究、オンリーワン研究や未来を拓く多様な研究を展開しています。

令和の新しい時代、三重大学は〈知の拠点〉として、学内外の組織との連携を深めます。学部間の異分野横断的な取り組みや、自治体および企業との産学官の地域連携プラットフォーム、国内外の高等教育機関との連携協定など、様々な〈知のつながり〉を通じて、ポストコロナ時代の教育研究活動を推進します。さらに、カーボンニュートラル等の環境問題、デジタルトランスフォーメーションの推進をはじめとする諸課題を、産学官金の連携を深めて地域と共に探究し、その成果を還元して地域の発展を導いて、新しいコミュニティづくりの一役を担う地域共創大学として発展してまいります。

地域の皆様に信頼され、皆様の幸せにつながる大学づくりと共に、全国、世界に発信できる大学を目指します。皆様の、ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

三重大学長  
伊藤正明



# NEWLY OPEN

## 三重大学『地域共創プラザ』



三重大学では、地域共創に向けた新たな施設である『地域共創プラザ』を2023年5月8日にオープンしました。この『地域共創プラザ』は、大学の基本理念である『三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学』を目指し、地域や企業を巻き込んだ交流の拠点となることを目的に設立されました。『地域共創プラザ』は、鉄筋2階建てで、中には新しい第1食堂が設置され、1階400席、2階200席が設けられており、お昼の時間帯はたくさんの学生・教職員らで賑わっています。また、食堂スペースに加えて、地域共創に向けたイベント等を開催するためのスペース(多目的室)や、地域貢献に取り組む学生がミーティング等に活用できるスペースも設けられています。今後は、本学をパートナーとされる企業や近隣自治会をはじめ、地域の皆さまに広く活用していただけるよう地域共創に向けた多様な企画を展開していきます。





従来の「おかず」「丼・カレー」「麺」提供カウンターに加え“完全セルフ”のクイックレーンを新設しました。クイックレーンは11:45オープン、提供メニューは1日1メニュー、ライス・味噌汁も機械によるセルフ提供のためレーンに並んでからレジまで短時間で通過できます。あわせて現在提供している唐揚げセットはおかず、サラダ(惣菜)だけでなく、ライスも味噌汁も温かく提供できるので三重大生に大変人気です。今後は三重大生と一緒に新たな提供メニューについて検討していく予定です。



SDGsの取組みを推進しています

# 三重大学 × SDGs!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 国立大学法人三重大学 環境・SDGs 方針

### 大学基本理念

### 三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨する。

### 環境・SDGs 基本方針

三重大学は、大学基本理念のもと、地域に貢献する総合力とチーム力を高めて「つながる知、ひらく未来、地域共創大学」への発展に努めます。すべての構成員がSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学としての取り組みをさらに強化し、環境・SDGsのプラットフォーム機能を築き上げ、カーボン・ニュートラル社会の形成などに向けた環境の諸課題を地域と共に探究し、新しいコミュニティづくりの一翼を担う地域共創大学として、持続可能な社会の構築に寄与します。

この環境・SDGs方針を達成するために、SDGsの17のゴールの達成に資する環境マネジメントシステムを確立、実施、維持し、向上に努め、環境関連法令等の要求事項を遵守することにより、自らの教育・研究・社会貢献及び業務運営の能力を活かし、さらに発展的な環境・SDGsの取り組みを進める決意を表します。

### 環境・SDGs 取り組み

#### — 教育 —

環境とSDGsの知見と行動力を兼ね備え、持続可能な社会の担い手となる学生を輩出するための教育を実施する。

#### — 研究 —

環境問題の解決とSDGsの達成に向け、産官学民との分野横断的なパートナーシップと文理融合を成す研究力向上を加速させる。

#### — 社会貢献 —

教職員と学生が産官学民と共創を図り、環境問題の解決とSDGsの達成に向けたりカレント教育等を通じて、活気ある豊かな社会の実現に貢献する。

#### — 業務運営 —

すべての教職員と学生が、カーボン・ニュートラルや資源の有効活用およびSDGsの取り組みなど、事業に関わる環境保全・SDGsの推進に努める。





# Pickup 学生たちの環境・SDGs活動

## 学生主体の環境活動

三重大学の学生は、日頃から自然環境や生活環境に意識を持った活動を積極的に行っています。その中でも、環境マインドの向上を活動理念とした学生が主体となって活動を行う組織が、三重大学環境ISO学生委員会です。環境ISO学生委員会の多年にわたる環境活動が認められ、平成29年度には「地域環境保全功労者表彰」環境大臣賞を受賞しています。この表彰は、環境保全、地域環境保全及び地域環境美化に関して顕著な功績があった団体等に対し、その功績をたたえるために環境大臣が顕彰を行うものです。国立大学の学生組織としては初めてとなる功労者表彰の受賞になりました。受賞後も、学内との連携に留まらずに地域住民や企業と連携した活動を継続しています。

三重大学に来て、一緒に環境について学び、活動を始めてみませんか。



### 学生の環境活動

三重大学の環境活動は、学生が主体として取り組んでいます。

学生が取り組む組織として、平成18年に発足した環境ISO学生委員会があります。

環境ISO学生委員会の活動として、ごみ減量化の提案と活動、学内の古紙再生利用、卒業生からの家電製品および家具の再利用といった3R活動や、キャンパス内の緑化や花壇の整備などの緑化活動、そして放置自転車対策活動などにも取り組んできました。学外に向けては、大学に隣接する海岸清掃や小学校への環境学習を通して地域を巻き込んだ環境活動を展開しています。これらの活動は、学内では掲示板や広報誌を通して、学外ではホームページやイベントなどにおける活動紹介を活用して学生や地域の方々へ発信しています。

### ★地域環境保全功労者表彰(環境大臣賞)

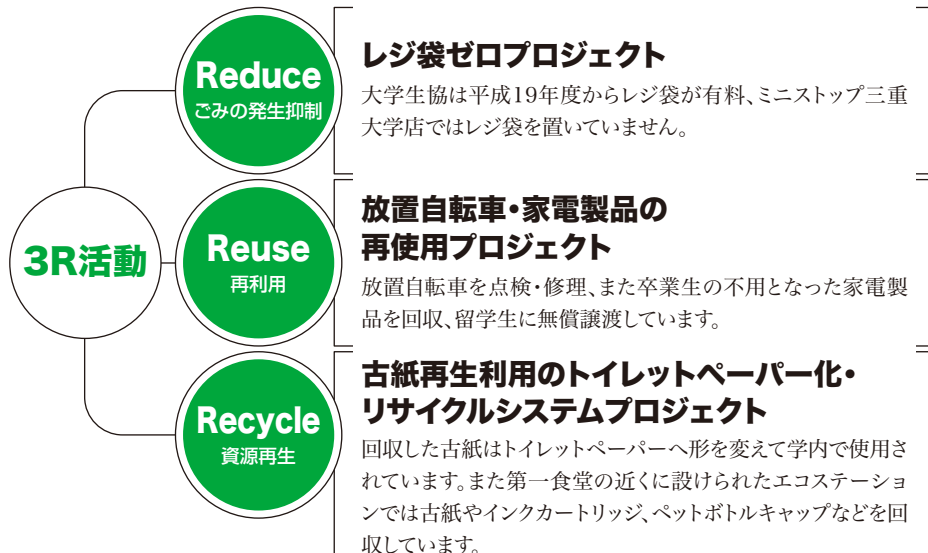


緑化活動



放置自転車の再生プロジェクト

### 3R活動



三重大学では毎年「環境・SDGs報告書」を公表しています！  
本学の環境に関する取組みを網羅した内容となっておりますのでぜひご覧ください。  
URL : <https://emr.gecer.mie-u.ac.jp/2022/>

## 環境の取り組み

三重大学はSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学を目指して、地球環境に調和した社会の実現に向けた、カーボン・ニュートラル社会の形成などの科学技術および社会システムの教育研究を推進し、学内外の資源循環3R(Reduce, Reuse, Recycle)・循環経済(サーキュラー・エコノミー)活動にも積極的に取り組んでいます。

学生には、教育・研究を通じて「環境マインド」の育成を行い、学際的(研究が複数の学問分野にまたがり関連すること)な環境への知見と俯瞰的な視野を身につけ、幅広い教養教育から得た知識を基盤とした高い専門性の習得を目指し、教職員と共に学生が活躍できる環境先進大学を目指しています。

### 大学の特徴

三重大学は、平成19年11月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得して環境活動を積極的に実施しています。

学生と教職員が一体となった環境活動は、今や三重大学の大切な文化としての基盤が形成されつつあります。

これら環境活動は多くの表彰を受けています。

- ★地球温暖化防止活動表彰(環境大臣賞)
- ★省エネ大賞(経済産業大臣賞)
- ★グリーン購入大賞(環境大臣賞)
- ★地球環境大賞(文部科学大臣賞)
- ★環境コミュニケーション大賞 合計12回受賞 など



平成28年地球温暖化防止活動環境大臣表彰状

### MIEUポイント

本学では、学生・教職員が学内で実施した自主的環境・省エネ活動を「見える化」し、活動内容に応じたポイントを付与して獲得し貯めたポイントに応じて、希望する物品との交換ができる仕組みを持ったMIEUポイントシステムを平成24年度から実施しています。

MIEUポイントの「MIE」は三重大学の「MIE」、「U」は「University」の意味と、「You」の意味「がんばる“あなた”」を表しています。

全学で取り組むMIEUポイント活動は2020年1月に公益財団法人日本環境協会が主催する「エコマークアワード」において奨励賞を獲得しました。

### MIEUポイントが付与される主な環境活動

- 講義室や研究室照明の消灯やエアコンの適正運用
- 海岸清掃活動への参加
- 環境講義の受講
- 3R活動(P7参照)
- 緑化活動 など





STRONG POINT  
三重大学の“今”を学べる  
KEY WORD キーワード

SciLets Scientific, Local and Environmental “Talented Staff”



SciLets(サイレッツ)育成事業のHPはこちらから↑

教育研究活動の取組み SciLets育成事業



本学では、地域の環境を保全し、地域に多く賦存する環境価値を活用して地域の活性化を図ることを主な目的として、社会人を対象に地域で活躍できる環境人材を育成するリカレント教育として「科学的・地域環境人材(SciLets:サイレッツ)育成事業」を行っています。

この事業は本学の学生も受講でき※、それぞれの学部の講義を学習しながら、自由な時間を有効に活用して、Webによるビデオ講義を受講することにより、文系的科目である環境問題・環境評価法、環境関連法・行政から、理系的科目であるエネルギー技術・自然環境保護・生物多様性まで、地域環境に関する幅広い講義を受講することができます。社会人と同様に、必修科目10科目と選択科目4科目の合計14科目を受講し、全ての理解度確認テストに合格するとアナリスト認定を取得できます。さらに、スキルが認められれば、エキスパート認定も取得することができます。令和5年3月末時点で697名の本学学生が受講しており、アナリスト認定とエキスパート認定がそれぞれ72名と5名に授与されています。なお社会人の受講者は、令和5年3月末時点で668名、アナリスト認定は282名、エキスパート認定は8名となっています。

※三重大学学生は14,000円の受講料等の費用負担なしで受講できます。



セミナー(参加自由)の様子

**認定取得の流れと受講料**

所定の講義(必修科目/上記基本10分野の選択科目4科目)を受講し、それぞれの理解度確認テストに合格することにより、アナリスト認定を取得することができます。  
※エキスパート認定については、環境教育要件(講義受講)以外に環境実践要件を満たす必要があります

環境専門職に従事できる人材を育成  
**アナリストを目指す方**

環境企画や政策を立案できるエキスパートを育成  
**エキスパートを目指す方**

環境教育要件(アナリストコース・エキスパートコース共通)

必修科目	選択科目
基本の10分野をカバーする「地域環境科学概論」 (ビデオ講義 1科目1.5時間×10科目=15時間)	14科目の受講料※ <b>14,000</b> 円 4科目を選択 (ビデオ講義 1科目1.5時間×4科目=6時間)

理解度確認テスト(各科目ごと)

※修業年数に制限はありません。また、ご希望に応じ、5科目以上の選択科目を受講することができます。  
その場合、[受講料] 1,000円/1科目  
※受講者は、受講中も認定取得後も専用ソーシャルネットワークSciLetsを利用(無料)することができ、地域の環境保全・地域振興に貢献していくことができます。  
※サイレッツにおける「1科目」とは、1.5時間のビデオ講義を指します。

実践を通じて必要なスキルを身に付けます!

環境実践要件  
共同研究、異分野・異業種交流(研究交流)等のOn the Job Trainingを通じ、地域企業や行政等で環境企画や政策を立案できるエキスパートとなり得る知識を身につけます。

学習要項・開講科目一覧  
<https://scienv.mie-u.co.jp/courselet>

アナリスト認定/その後も選択科目受講可

エキスパート認定/その後も選択科目受講可

MuEnV\_0311\_1  
カーボンニュートラルと産業成長

前半部(1)  
カーボンニュートラルとグリーン成長

後半部(2)  
燃料電池輸送の普及に向けて

三重大学大学院工学研究科  
分子素材工学(応用化学専攻) 教授  
金子 聡

数理・データサイエンス館  
(CeMDS) Center for Mathematical and Data Science



数理・データサイエンス館(CeMDS)のHPはこちらから↑

ICTを活用した数理・データサイエンス教育を推進します!

数理・データサイエンス館(CeMDS:セムズ)は、三重大学のICT教育や数理・データサイエンス教育等の発展に寄与し、また地域の関係機関や企業との教育研究拠点となり地域創生に貢献することを目的に2020年4月に開館しました。

1Fメイカースペースでの様々なICT機器を利用した学修・教育環境の提供やCeMDSサポートデスクでの本学学生による対面・オンラインを通じた学修・教育支援を行っています。

1F、2Fには、研究発表のポスターやICT機器で作成した作品の展示コーナーも備えています。

地域の関係機関等と連携しICTを活用したデータサイエンス教育および関連行事など、広く活動を行っています。



データサイエンス教育について

本学では、令和3年度より、全学部1年生を対象とした、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育プログラム「データサイエンス学修プログラム」を実施し、「データを丁寧に扱うことができる人材を育成する」ことを目標としています。

フロア案内

開館時間 10時~17時/土・日・祝日休館

1階 Maker Commons (メイカーcommons)

- サポートデスク / ICTサポート、データサイエンスサポート、Learningサポート
- メイカースペース / 3Dプリンタ、レーザーカッター、ミシン、ドローン など

2階 Data Science Commons (データサイエンスcommons)

- レクチャールーム
- 文献検索コーナー

3階 Collaboration Commons (コラボレーションcommons)

- 数学なんでも相談室
- 自然科学系技術部
- スタジオ



# 地域拠点サテライト



地域拠点サテライトのHPはこちらから↑

三重大学は三重県における  
地域創生と地域人材の育成に取り組みます！

## 地域拠点サテライトの概要

地域拠点サテライトは、県内全域を三重大学の教育研究フィールドと位置付け、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト(北勢サテライト、伊賀サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト)を地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能として展開しています。各地域サテライトにおいては、自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、特色豊かな活動拠点を設置しています。

これら4つの地域サテライトでは教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行うほか、共同研究・共同プロジェクトを通じた地域の課題解決等に全学的に取り組みながら、三重大学の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。



三重大学オープンキャンパス「国際忍者研究センターブース」

三重大学地域拠点サテライトは、三重県内の「北勢」「伊賀」「伊勢志摩」「東紀州」の4つのエリアに設置した、「地域サテライト」を通じて、活動しています。

## 伊賀サテライト

Iga Regional Satellite

- 担当エリア  
名張市、伊賀市
- 伊賀サテライトの目標(旗)  
固有文化と地域資源の活用で地域再生に寄与する拠点
- 具体的活動内容  
忍者等の歴史・文化、医薬品企業との連携、森林資源の活用等

伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター  
(伊賀市:ハイトピア伊賀内)

伊賀研究拠点  
(伊賀市:ゆめテクノ伊賀内)

## 東紀州サテライト

Higashi-Kishu Regional Satellite

- 担当エリア  
尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町
- 東紀州サテライトの目標(旗)  
地域資源で富を生み力強い子供が育つことを支える拠点
- 具体的活動内容  
地域に根ざした教育、水産増養殖・加工業との連携、森林資源や観光資源の活用等

東紀州産業振興学舎  
(尾鷲市:天満荘)

東紀州教育学舎  
(熊野市:有馬小学校)

伊勢志摩産業振興教育研究センター  
(鳥羽市:旧小浜小学校内)

海女研究センター  
(鳥羽市:海の博物館内)

## 北勢サテライト

Hokusei Regional Satellite

- 担当エリア  
四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菟野町、朝日町、川越町
- 北勢サテライトの目標(旗)  
日本のモノづくりの真髄を体感し富を生み出す拠点
- 具体的活動内容  
自動車、石油化学、食品化学企業等との産学官連携事業、企業人材のリカレント教育、モノづくり企業との連携による学生・若手教員の育成等

知的イノベーション研究センター  
(四日市市:ユマニテクプラザ内)

## 伊勢志摩サテライト

Ise-Shima Regional Satellite

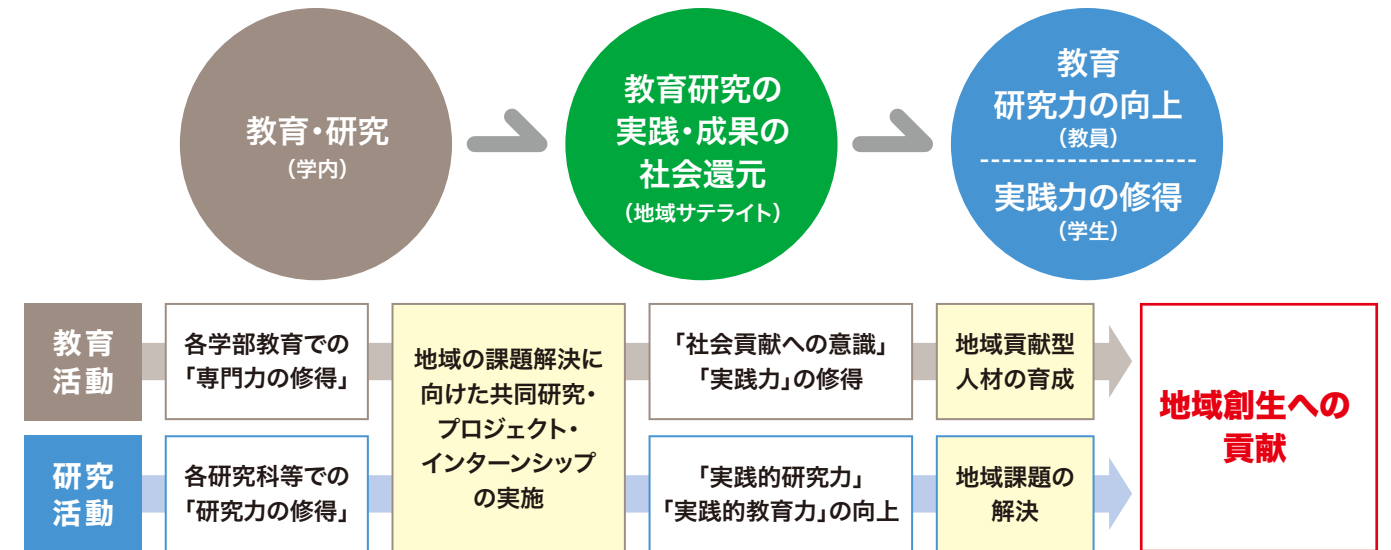
- 担当エリア  
伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町
- 伊勢志摩サテライトの目標(旗)  
歴史ある自然との共生・共存の思想を世界に発信する拠点
- 具体的活動内容  
食と観光産業による地域創生の研究(歴史文化の交流、海女文化、水産資源の活性化、食品の6次産業化、観光資源の活用など)、地域人材の育成等

※津市、松阪市、多気町、明和町は大学本部が担当

## Purpose

### 目的

## 教育研究機能の強化を通じた地域創生への貢献



## Pickup 活動紹介

### 伊賀サテライト

#### 忍者学実践演習

伊賀サテライトでは、大学院人文社会科学研究科の忍者学コースの大学院生を対象にした演習「忍者学実践演習」で、忍者にまつわる講義や実験を行っています。「忍者の火器・火術」についての講義と、「金属炎の炎色反応」や「火薬の燃焼試験」、「松明の作成」など、忍者をテーマにしたユニークな演習です。

忍者の火器・火術について学ぶことによって、忍者本来の姿を広く社会へ発信することの手助けになると考えています。



松明の実証実験の様子

### 北勢サテライト

#### 農業生産者の技術・販売課題解決を通じた産官学人材開発プラットフォーム

生物資源学部の授業「グローバル資源利用学チュートリアル」として、北勢地域を含む県内の農水産物・食品の生産者が抱える生産技術や販売戦略に関する課題を抽出し、調査・分析を行い課題解決のための提言を行います。

農水産物・食品に関する地域の課題を主体的に発見する力や、課題解決のための提案を通じて、分析・発表にかかる技術、自らの意見を主張すること、社会人とディスカッションする能力などを修得することができます。



生産者調査の様子

### 東紀州サテライト

#### 複式学級における小学校英語の指導計画の開発

東紀州サテライト教育学舎では、地域からの要望に応える形で「圧縮版年間指導計画」の開発・普及・効果検証を、平成29年度から継続的に実施しています。

今年度は、2市町に協力していただき、複式学級で「圧縮版」で指導を受ける児童と、単式学級で「通常版」の指導を受ける児童と、外国語(英語)の聞き取りテストを行い、同程度の学力を付けることができていることが確認されるなど、着実に成果が出ています。



複式学級における英語の出前授業

### 伊勢志摩サテライト

#### 海女漁村でのフィールドワーク

人文学部の特殊講義「日本社会演習E・F」受講生を中心に、志摩市阿児町安乗での写真展及びワークショップに参加しました。また、学生は町内でのフィールドワークや地域住民からの聞き取り調査の結果をレポートにまとめて報告書を作成しました。

地域住民への聞き取りなどの交流を通じて学生の社会的経験値を高めるとともに、調査や報告書原稿の作成を通して自ら社会に出て現場を見ることで問いを立て、調査し、成果としてまとめるという表現能力を磨く貴重な学習の機会となっています。



学生による海女へのインタビューの様子



# 三重創生ファンタジスタ



三重創生ファンタジスタHPはこちらから↑

三重大学は他者と協働し、地域の課題を解決する「三重創生ファンタジスタ」を養成します！



## 「三重創生ファンタジスタ」の養成事業

三重大学は、平成27年度に文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択され、地域で活躍する人材「三重創生ファンタジスタ」の養成を進めてきました。COC+は令和元年度末で終了となりましたが、引き続き三重県内の高等教育機関・地方公共団体・企業等と協働して三重創生ファンタジスタの養成を行っていきます。また、三重大学ではCOC+をきっかけとして「三重創生ファンタジスタ資格認定コース」を平成28年度より立ち上げています。

三重創生ファンタジスタ資格認定コースでは、三重県の重要施策である5つの分野の課題に対して、様々な提案ができる人材(三重創生ファンタジスタ)を、3つの科目群を学修することによって養成します。

### 5つの分野

- ①食と観光分野
- ②次世代産業分野
- ③医療・健康・福祉分野
- ④教育
- ⑤文化・社会・公共

### 3つの科目群

- ①地域志向科目群  
「知る」  
(再発見・再認識)
- ②地域実践交流科目群  
「学ぶ」  
(体験・経験を通じて学ぶ)
- ③地域イノベーション学  
科目群  
「考える」  
(再構成・発信)

## 地域を学ぶ授業

「三重創生ファンタジスタ資格認定コース」には、地域について学ぶことができる授業科目が数多くあります。中には、三重県の歴史や文化、産業について学ぶ授業、県内各地域を訪問し食文化と観光を学ぶ授業などもあります。三重県のことを知りたい、三重県内の企業を知りたいという方はぜひこれらの授業をチェックしてみてください。



- 三重学(食と観光実践) (令和元年前期集中開講)  
他大学の学生と一緒に地域(熊野市等)に出かけ、2泊3日で三重の食や観光について体験しながら学びました。

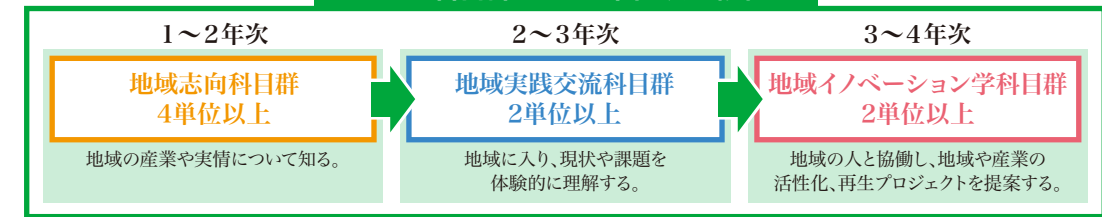
## Pickup

# 三重創生ファンタジスタ資格

この資格は自治体や他の高等教育機関、企業・団体と連携して作り上げている資格であり、三重県で就職して、三重県で活躍したいと思える人にピッタリな資格です！

また、三重創生ファンタジスタ資格をより充実させるため、三重の歴史や文化、産業を学ぶ授業科目や、グループワークを行い主体性を養うPBL※型集中講義、県内企業を知る教育型インターンシップ授業等も用意されています。

※PBL(Problem-based learning:問題発見解決型学習)



(三重創生ファンタジスタ資格認定コースイメージ)

三重創生ファンタジスタ資格は、**県内就職に生きる資格**を目指しています！

### 三重創生ファンタジスタになる大きなメリット!!

- ① 県内の様々な情報、魅力的な企業等を知ることができる！
- ② 三重県のことを深く勉強した証明になる！
- ③ 各種イベントの運営に参加でき、社会で生きる力が身につく！
- ④ 様々な社会人(社長等)と知り合うことができる！

## 三重創生ファンタジスタクラブ(MSFC) twitter : @MieSFC

三重創生ファンタジスタクラブ(通称 MSFC : MieSousei Fantasia Club)は、学生主体で三重県の各現場で地域課題を見つけてその現場に入ったり、地域の方々のお手伝いをしながら地域活性化に取り組む団体です。

このクラブで活動することで論理的思考力や行動力、チームワークが鍛えられます。また、新しいことにチャレンジする機会が多く、自分自身の関心を広げることができます！

昨年度は紀北町と連携したまちのPR活動や津市でのペイント事業などを行いました。現在は多くの仲間も増えたので、一人一人が三重県を盛り上げていくリーダーとなって地域活動に励んでいけるようにしたいと考えています。



## VOICE

### 資格取得者の声

- 他学科だけでなく、他学部の人との交流や、活動を行うことを通して、異なる分野からの視点といった、自分にはない考えを知ることができた。また、今まで知らなかった三重の魅力についても授業を通して知ることができた。4年間で学んで得た知識を就職しても活かしていきたいと思う。
- 医療や福祉といった分野の授業を受ける際に、三重県ならばどういった問題点が出るか、その対策としてはどうすればいいかを常に考えるようになりました。また、プレゼンテーションなど他者に自分の考えを伝える能力や質疑応答によるコミュニケーション能力も向上したと思います。三重県で生まれ育ったにもかかわらず、三重に関する知識が浅かったが、このコースを履修したことで、三重の知識をより深めることができ、この知識を就職先や今後三重で暮らそうと考えている人たちのために役立てたいと思いました。

## VOICE

### 受講学生の声

- 近くにいる人と協力して発表をするため、効率良く計画を進めていく工夫をする方法を身につけました。実際、社会に出た時は近くにいる人とプロジェクトを進めていくと思われるので、とても勉強になりました。また、実際に地域を見たり、地元の人に聞き込みしたりして、自ら課題を見つけるということの難しさを感じました。この授業では、以上のように課題を見つけ解決策を考え発表するというプロジェクトの最初から最後までを行うことで、これからの学校生活や社会に役立つ能力を身につけられたと思います。







## 教育活動の概要

三重大学は、世界と繋がる地域共創活動に真摯に取り組み、未来を拓く教育研究拠点として世界が注目する地域共創大学を目指しています。そのために、幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材の育成を目標としています。この目標を達成するための全学的組織として高等教育デザイン・推進機構が設置されており、その協力の下、全学共通教育センターや各学部においてそれぞれの特色を生かした教育プログラムが展開されています。

### 三重大学の教育に関する目標

幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材を育成します。

### 三重大学ビジョン2030(抜粋)

教育においては、従来から重点を置いてきた「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」に「行動する力」を加えた、総合的な「生きる力」を修得することによって、地域や世界の諸課題を発見・解決する人材を育成します。



さらに、環境・SDGsや防災・減災に関するリテラシーをはじめ、DXデジタルトランスフォーメーション、AIの活用や数理データサイエンスなど、文理横断的に活動し続ける人材を、行政や企業、住民の皆さんにご協力頂きながら育成したいと考えています。

### 三重大学のアドミッションポリシー (三重大学が求める学生像)

三重大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- ◎入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している(知識・技能)
  - ◎ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる(思考力・判断力)
  - ◎自分の考えを的確に表現し、伝えることができる(表現力)
  - ◎人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している(主体性)
  - ◎他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している(協働性・主体性・多様性)
- 上記の方針に基づき、学士課程においては学部ごとに、また大学院課程においては研究科ごとに、適切な選抜方法を定め、実施します。

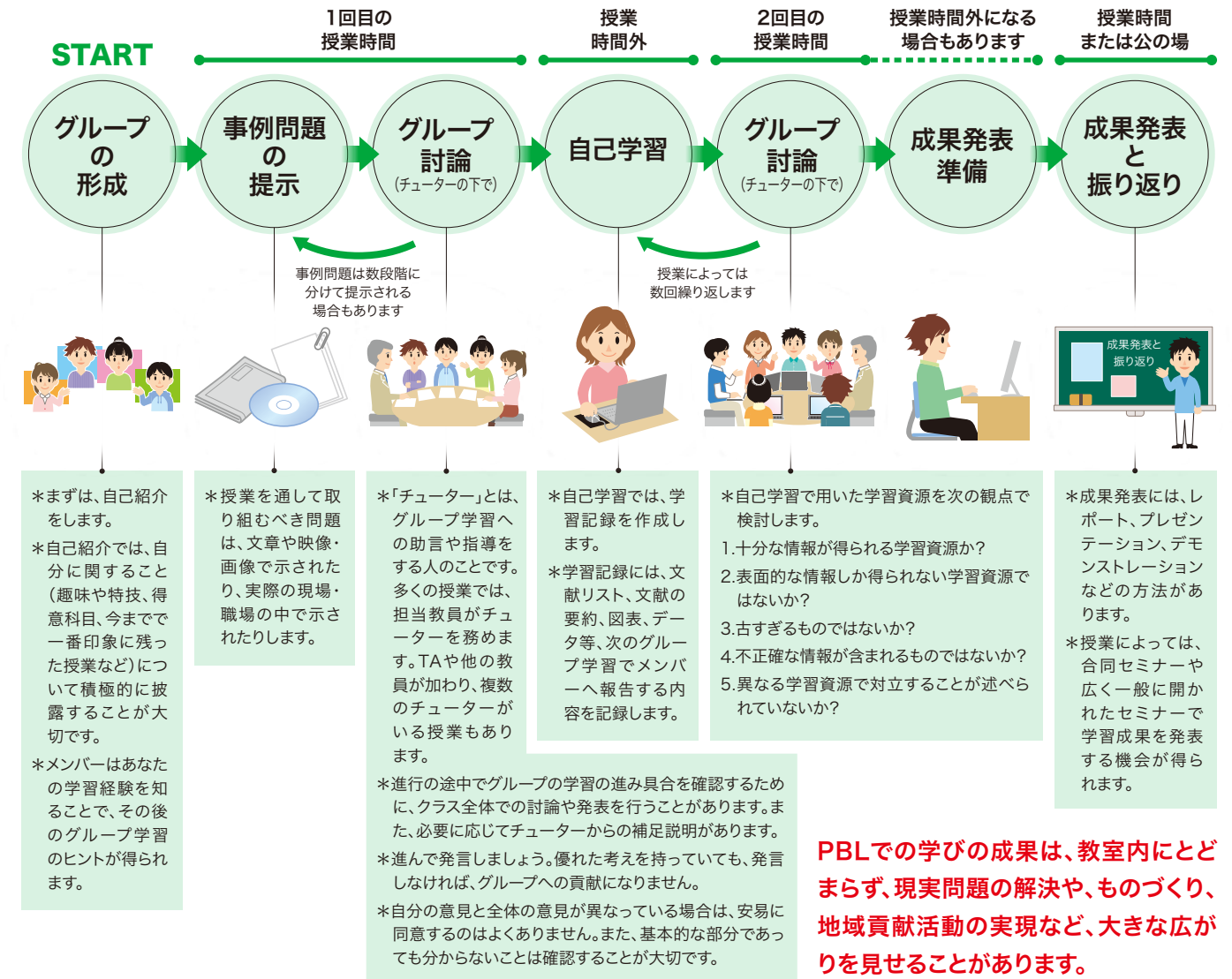
## 教育の特色

### PBLって何？

PBL: Problem-based Learning / Project-based Learning

現実的な問題解決やプロジェクト達成を通して学びを深める、世界でも注目されている学習法です。  
三重大学では、日本でいち早く2005年から全学的に導入されています。

### PBLでの学習の進め方一例



### 学びのセルフマネジメント

大学では、自分の学びを自身で管理する「セルフマネジメント」が必要になります。本学では、「Moodle(ムードル)」という学習管理システムを使って、学生の皆さんがインターネットを活用して、学びをセルフマネジメントできる環境を整えています。

Moodleを使えば、場所が限定されることなく自宅からでも、資料を見たり、レポートを提出したりできます。Moodleのフォーラム(電子掲示板)やチャットで、学生と教員、学生同士がどこからでもコミュニケーションできます。





# 共通教育

## グローバル社会で自ら学び続ける人材を育てる共通教育

入学後、学部・学科の授業と共に、全学共通の授業を受講します。



## 全学部の学生が共通して学ぶ科目

### 大学基礎科目

スタートアップセミナー	● <b>スタートアップPBLセミナー(必修)</b> 高校から大学への生活の転換をスムーズにし、アカデミックスキル・スタディスキルの獲得をめざして自立した学修を支援する授業です。三重大学の教育目標である4つの力についても理解します。	
キャリア教育	● <b>キャリア教育入門(必修)</b> 「三重大学キャリア教育方針」に基づくキャリア教育です。「三重大学キャリア支援システム」を活用する内容や、各学部のディプロマポリシー(学位授与方針)に基づく事項を学びます。	
外国語(英語)	● <b>英語I大学基礎(必修)</b> ● <b>英語Iコミュニケーション(必修)</b> 大学で学ぶため及び、自律的な学修を推進し社会のグローバル化に対応できるようにするために、基礎的な英語の語学力を養います。	
データサイエンス	● <b>データサイエンスI(必修)</b> ● <b>データサイエンスII(必修)</b> 社会問題の解決や新たな価値の創造を行う原動力となる数理・データサイエンス・AIの基礎を理解し、関連するITスキル、統計解析スキルを身につけます。	
スポーツ健康科学	● <b>スポーツ健康科学A(必修)</b> スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力及び自律的・能動的学修力の育成をめざします。	

### 教養基礎科目(副専攻科目)

歴史・文化分野	情報化社会の発展に伴って、地域と密接に関わりつつ、グローバルな視点を持って活躍できる人材の育成がますます求められています。そのような人材に必要とされるのが、自国と諸外国の歴史や文化に対する深い洞察です。この分野では、 <b>歴史、文化、思想、生活</b> をテーマとする、パラエティに富んだ科目を履修することができます。それによって、単一の価値観のみにとらわれない、豊かな発想と広い視野を獲得することをめざします。
環境・科学分野	環境問題は様々な分野に関わる複雑な問題です。解決の糸口を得るためには、問題の本質を理解し、複合的な視点から洞察する力が必要です。また、環境問題に限らず、健康管理、原子力など科学技術の側面を持つ問題、社会的問題についても、数理科学、物理学、化学、生物学をはじめ、自然科学諸分野の知見に基づいて判断する力が必要です。そこで、本分野では <b>環境問題</b> や様々な <b>自然科学</b> の基礎理解を深め、科学的な考え方を修得します。
健康・医療・福祉分野	人体の仕組みと働き、疾患のメカニズム、医学・医療の発展、健康管理、保健衛生、社会保障など、 <b>健康・医療・福祉</b> を多面的な観点から理解することにより、深い教養と総合的な判断力、豊かな人間性を涵養するとともに、自律的・能動的な学修姿勢を醸成します。また、スポーツ実践を通して他者との豊かなコミュニケーションを図るとともに、スポーツ科学や健康科学の知見に基づいて、健康的な生活ができる自己管理能力を育成します。
教育・公共分野	個の成長を支え幸福を追求し、ひいては社会を維持し発展させていくための教育の諸問題を理解するため、また、異なる考えや価値観の人たちが、どのように合意を作り解決していくかという公共の諸問題を理解するために、哲学、心理学、社会学、医学、数理科学などの幅広い知識を修得します。更に、 <b>教育と公共</b> の現代的諸問題に対応し解決を図ろうとする態度を、知識修得と探求・議論を往復する対話的で深い学びによって身に付けます。
社会・経済分野	国際社会に対応できる能力を育成するために、 <b>社会・経済</b> に関するさまざまな事柄を学びます。社会は、異なる価値観を持った多数の人が集まって形成されます。家族、労働、教育、地域社会、メディアなどの多くのテーマについて学びます。また、私たちが社会で生活する上で問題となる、生産や消費売買などの経済活動について学びます。
国際・外国語分野	異なる文化や言語を基盤にした人との交流において生じやすい、差異による支障や伝達の齟齬を防ぐ力として、互いの文化や価値観への関心と尊重の姿勢のもとで自身の主張を明確に伝える語学力とコミュニケーション力が求められます。本分野では、多様な言語学をはじめとして、政治経済、教育、保健医療の分野でのテーマに注目した科目で情報収集や解釈の方法を学びます。また、演習や実践を通して <b>多様な文化や言語</b> を基盤とする人々と交流しながら社会のグローバル化に対応できる力を修得します。



# 学部・学科 INDEX

三重大学での学びと進路から、あなたの「学びたい!」が見つかる

学部	学科・課程・コース	学べる内容	取得可能な免許・資格 <small>令和5年4月1日時点</small>	ページ	
人文学部 P23~P26	文化学科	日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカの文化について、言語・文学・哲学・歴史・社会・民族・地誌・環境等の視点から研究します。	【教員免許】●中学校教諭一種(国語・社会・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語) 【その他】●図書館司書 ●学校図書館司書教諭 ●学芸員	P24	
	法律経済学科	法学・政治学・経済学・経営学の学習を通して、現代社会の抱える諸問題の解決に取り組みます。また、専門的知識を獲得することにより、複雑で高度に専門化した現代社会に対する的確な判断力・対応力を身につけます。		P25	
教育学部 P27~P30	学校教育教員養成課程	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員としてふさわしい専門的知識と指導力を身につけることができます。我が国の教育は、幼児児童生徒に対し、連続性のある多様な学びの場が用意されています。本学部では、教員になるために、教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、多様なニーズに的確に応えるための総合力を身につけることができます。	【教員免許】●幼稚園教諭一種 ●小学校教諭一種 ●中学校教諭一種(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) ●高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・工業・英語) ●特別支援学校教諭一種(知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 【その他】●学校図書館司書教諭 ●学芸員 ●保育士(幼児教育コースに限る)	P28	
医学部 P31~P34	医学科	生命医科学研究を実践する能力を涵養し、医療、保健、福祉の担い手となる力を修得します。地域基盤型の実習を通して医療と社会の関係を学び、国際的な学習環境のなかで広い視野を身につけます。	【受験可能な国家資格】●医師	P32	
	看護学科	看護の定義や役割、問題解決思考を学習し、看護学の実践者としての基礎を学びます。あらゆる健康レベルにある個人・家族・地域社会に対する看護を実践できるよう、専門知識や看護技術、コミュニケーション技術を修得します。	【受験可能な国家資格】●看護師 ●保健師(選択科目履修) ●助産師(選択科目履修) 【取得可能な免許】●養護教諭二種(選択科目履修、要保健師資格)	P33	
工学部 P35~P42	総合工学科	総合工学コース	大学受験時に志望分野を決めかねている優秀な受験生が、本学工学部に入学後、1年次に工学部共通の基礎的知識を習得する中で自分の適性を捉え、2年次以降に専門分野のコースを決定することができる能力を身につけます。	(配属後の各コースを参照)	P36
		機械工学コース	先進的ものづくりに必要な機械工学に関する講義と実技を通して、基礎(機械力学、熱力学、流体力学、材料力学、量子力学等)、応用(設計、生産加工等)、新分野(ロボット工学、生体力学、環境エネルギー機械等)が学べます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●ボイラー技士 ●作業環境測定士 ●ガス溶接作業主任者 ●建設機械施工技士 ●建築施工管理技士 ●電気工事施工管理技士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P37
		電気電子工学コース	LED・有機ディスプレイ・電子顕微鏡・電気自動車・自然エネルギー発電システム・ロボット・モバイル端末・医療機器など、今日の社会を支え、また、これからの社会を創る電子デバイス・電気機器・情報システムを研究開発する能力を身につけます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●電気通信主任技術者(試験科目一部免除) ●第1級陸上無線技術士(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●第1級陸上特殊無線技士 ●第2級海上特殊無線技士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●電気工事施工管理技士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者 ●第1種電気主任技術者	P38
		応用化学コース	新物質・新素材を開発して科学技術を発展させ、社会に貢献するために必要な、化学の基礎と実験法を学びます。これによって、エネルギー、環境、バイオ、医療などの分野に役立つ知識と実践力を身につけることができます。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●消防設備士(甲) ●危険物取扱者(甲)(化学に関する授業科目を15単位以上修得すれば受験資格があります) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●火薬類製造保安責任者(試験科目一部免除) 【卒業すれば資格取得できるもの】●毒劇物取扱責任者 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 ●ガス溶接作業主任者 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P39
		建築学コース	建築スケールから都市スケールに至る生活空間を対象に、建築の設計に必要な専門知識(建築計画分野、建築構造・材料工学分野、建築環境設備工学分野)の習得、建築設計図面や建築模型の製作技術の習得をめざします。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば受験資格が得られるもの】●一級建築士 ●二級建築士 ●木造建築士 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●建築施工管理技士 ●建築設備士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P40
		情報工学コース	コンピュータの仕組み(ハードウェア)や、コンピュータを用いた情報処理技術(アルゴリズムの設計とプログラミング)を学びます。企業などで、すぐに使える即戦力となる、高度な技術習得をめざします。	【教員免許】●高等学校教諭一種(工業) 【卒業すれば資格取得が有利になるもの】●情報処理技術者試験 【卒業後、実務経験を経て受験資格が得られるもの】●作業環境測定士 【卒業後、実務経験を経て得られる資格】●安全管理者	P41
生物資源学部 P43~P48	生物資源学科 <small>(令和6年度設置)</small>	生物資源総合科学コース	生物資源学の基礎的教育として、農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を設定し、学生を質的に充実させ、地域を先導する力・生物資源学の俯瞰的な視野と幅広い知識を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。	(配属後の各コースを参照)	P44
		農林環境科学コース	農学専修では、農学の知識に加えて生物学の基礎理論を学び、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持するための方策及び技術を身につけます。森林科学専修では、多面的な機能を持つ森林の特性を学び、自然環境との調和を保ちながら森林資源を持続的かつ高度に利用していくために必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復に関わる科学・技術や生態調和型スマート生物生産技術を身につけます。	【その他】●樹木医補 ●測量士補(農業工学専修) ●学芸員 ●修習技術者(JABEE農業土木プログラム)	P45
		海洋生物資源学コース	プランクトンから魚類・鯨類までの様々な水生生物や気候変動・異常気象などの地球環境を対象にして、海洋における生物と環境との関係を理解し、遺伝子レベルから生態系レベル、気候レベルにわたる多様な視点から海洋生物資源の保全と持続的有効利用法について総合的に学びます。	【その他】●学芸員	P46
		生命化学コース	生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物に関する生理機能及び生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を学び、食品・健康分野、医薬品分野、環境・エネルギー分野及び生物学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。海洋生命化学専修では、多様な海洋生物の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・化粧品などの原料となる海洋生物資源の有効利用に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。	【その他】●食品衛生管理者 ●食品衛生監視員 ●学芸員	P47

※いずれも申請中または申請予定のため、必ずホームページ等で最新の情報を確認してください。

※生物資源学科として、高等学校教諭一種(理科・農業・水産)を申請中。※資格等は、卒業に伴い取得出来るものではありません、詳しくは該当学部にご相談ください。





演習(ゼミ)風景



学部HPはこちらから

# 人文学部

Faculty of Humanities, Law and Economics

## 文化学科 / 法律経済学科

### アドミッション・ポリシー

#### このような人を求めます

- 人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力をもつ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

#### このような人を育てます

人文学部は、人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。人文科学や社会科学のさまざまな研究分野にふれ、それらの理論にもとづき、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を育て、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとらわれない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得をめざします。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本質を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を培います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。

人文学部は、文化と社会について広くそして深く考える学部です。学部創設は1983年ですが、文化学科と法律経済学科の両学科卒業生は多数、地元の企業や自治体、教育文化施設などで働いています。また、大学院で学び、専門知識を活かして活躍する道を選ぶ学生もめずらしくありません。教育上の特色として、学生の人数に対して教員が比較的多いことが挙げられます。そのため本格的な少人数教育が実施されており、学生と教員の距離が近く、教育の原点である対話による問いかけと考察を可能にしています。多種多様な専門分野が学べる人文学部は、学生が知性を磨き、感性を伸ばす拠点となることを目指しています。



人文学部長  
藤田 伸也

#### お知らせ

人文学部は、2024年度にカリキュラム改革を予定しています。両学科ともそれぞれ新たに3コース制とすることにより、これまで以上に文化と社会、法律・経済分野を深く学べるカリキュラムを準備しています。詳細につきましては、2023年夏頃に公表を予定していますので、学部ホームページをご確認ください。

# 文化学科

Department of Humanities

さまざまな地域の文化について、人文科学の観点から研究します。1年次末に、4つの地域—日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカ—のいずれかを研究対象地域として選びます。2年次以降、その地域の文化について幅広く学びながら、卒業論文に向けて人文科学の専門分野を決めます。ある地域の文化を多面的・総合的に学ぶことを、専門性を高めることで強化する、それが文化学科のカリキュラムの考え方です。

### 学びの特色

#### 世界各地域の文化を総合的に理解し、専門的に追究するカリキュラム

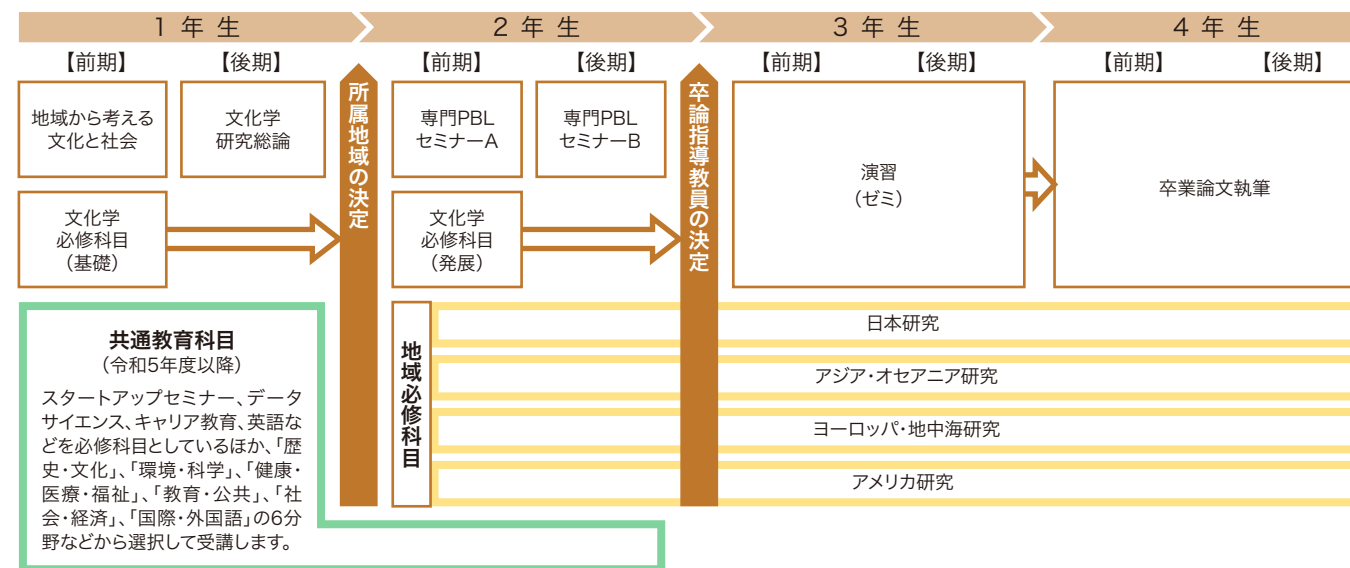
学びたい地域の文化を幅広く学び、また特定の分野については専門的な方法論を修得することで、広い視野に立った深い思考ができ、それを表現することができるようになります。

#### 少人数で充実した外国語教育

ネイティブによる英語、ドイツ語、フランス語、中国語の少人数の授業や留学制度によって高度な語学力を獲得し、それらの言語や文学を専門的に探求することもできます。

さらに、それぞれの言語を用いる地域の社会や文化を並行して学ぶことにより社会に出て活躍できる真のコミュニケーション力が身につきます。学部には世界各地からの留学生も在籍しています。

### 文化学科教育カリキュラム(令和4年度現在)



### 特色ある授業

#### 特殊講義 忍者の歴史A

忍者といえば、漫画や映画でおなじみです。この講義では、そのような忍者ではなく、彼らのもとなった、歴史上に実在した忍者を解説しています。実在した忍者は、忍びなどと呼ばれ、忍び働きをしていた足軽でした。忍び働きとは、諜報や奇襲などの活動です。彼らは戦争にはなくてはならない存在でした。また、忍者といえば、伊賀・甲賀地域の忍者が有名です。なぜ忍者が伊賀・甲賀地域に多く発生したのかということも、重要な問題です。忍者は三重県の伊賀地域にゆかりの深い存在ですし、歴史学として、しっかり研究することができる、興味深い研究対象です。



### STRONG POINTS 文化学科のここに注目

#### 文化学科で取得できる3つの資格: 教員免許・図書館司書・学芸員

#### 専門性を生かした資格取得、将来進路を見据えた学びが可能

##### 「教員免許」

中学校教諭一種(国語・社会・英語)と、高等学校教諭一種(国語・地理歴史・公民・英語)が取得可能です。主な就職先としては、公立・私立中学校および高等学校になります。

##### 「図書館司書」

この資格が取れる国立大学は少なく、三重大学でも文化学科でのみ取得可能です。図書館司書は、図書館で専門的な職務に従事する資格であり、教員免許の資格を取得する者は、学校図書館で専門的な職務を行う「学校図書館司書教諭」の資格も取得できます。主な就職先としては、公立図書館や大学図書館になります。

##### 「学芸員」

博物館や美術館で資料の収集・保管・展示をする専門職員の資格です。主な就職先としては、地方自治体、教育委員会、博物館および美術館になります。



# 法律経済学科

Department of Law and Economics

人文学部  
法律経済学科

法学・政治学・経済学・経営学の学習を通して、現代社会の抱える諸問題の解決に取り組みます。また、専門的知識を獲得することにより、複雑で高度に専門化した現代社会に対する的確な判断力・対応力を身につけます。専門PBLセミナー・専門基礎科目などを学んだ後、2年次前期末には3年次から所属するゼミを選択し、それに応じて法政コース・現代経済コースへの所属が決定します。

## 学びの特色

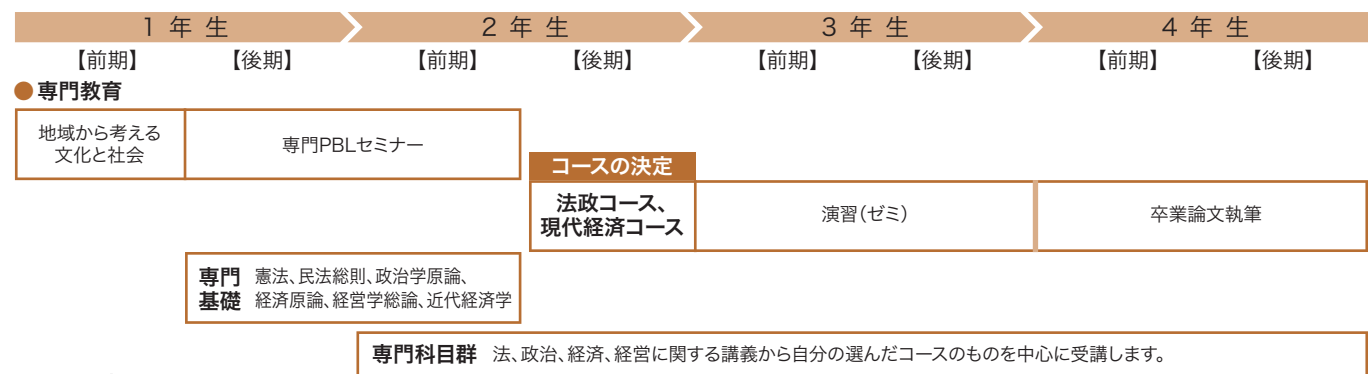
### 専門性と学際性を兼ね備えつつ、積極的な学びを進めます

1年前期に地域から考える文化と社会、後期には法学・政治学・経済学・経営学の基礎的学習を進めます。こうした総合的な学びを通じて、現代社会の諸課題を把握し学際性を身につけます。2年前期には本格的な専門学習に入り、後期に専門分野を確定します。学際性を基礎に専門性を高めることで能力向上を図っています。

### 主体性・問題解決能力形成を目指した学びを進めます

初年度からの積極的な少人数教育により、主体的学習能力の早期形成を重視しています。専門学習では論理的思考力や問題解決能力の形成を重視し、3年専門演習(ゼミ)では集団的学習成果を論文としてまとめ『学生論集』にて公表しています。個人研究成果である卒業論文とあわせて、社会で求められる主体的な能力形成を目指しています。

## 法律経済学科教育カリキュラム(令和4年度現在)



## 特色ある授業

### 現代裁判論

第一線で活躍している弁護士による授業です。民事裁判と刑事裁判を中心に、現実に行われている裁判の仕組みや運用状況を学び、法律とのギャップや課題を考えます。また、裁判傍聴や刑務所見学なども行います。

この授業により、法や裁判へのイメージが変わるはずですよ。



## STRONG POINTS 法律経済学科のここに注目

### 履修プログラム

選択したゼミに応じて、コースのほか履修プログラムが決まります。各コースに設けられた履修モデルのようなもので、このモデルに従って受講することにより、系統的な学習が可能です。あくまでも学習計画に指針を与えるものであり、学ぶ自由を束縛するものではありません。法律だけ、経済だけというのではなく、多様な学問分野を学べるのが、法律経済学科の特徴です。

#### 法政コース

法学や政治学といった学問分野を中心に学びます。

#### 統治システム履修プログラム

憲法、政治学原論、行政学、行政法、国際関係論など国内外の統治システムに関わる専門科目からなっています。

#### 生活法システム履修プログラム

民法、商法、刑法など日常生活と関わる法分野と、法哲学や法思想史などの基礎法学からなっています。

#### 現代経済コース

経済学や経営学といった学問分野を中心に学びます。

#### 地域経済履修プログラム

マクロ経済学、ミクロ経済学などの経済の基本的な仕組みに関する専門科目と、国際経済学、福祉経済論などの具体的な経済問題に関する専門科目からなっています。

#### 企業経営履修プログラム

経営学総論、マーケティング論など企業経営を理解するための科目と、経済学原論、金融論、日本経済史など企業環境を正しく読み解くための専門科目からなっています。

# 将来のVISION

人文学部でめざす主な進路

## 進学・就職状況

過去2年間の卒業生の進路

人文学部は、これまでに多くの卒業生を送りだし、先輩たちからは、社会の各方面で中堅として活躍しているとの便りが届いています。卒業生の進路は、極めて幅広く、主に一般企業・公務員・教員の3方面に分かれますが、大学院に進学する人もいます。最も多く就職するのは一般企業で、その分野は、製造業・情報サービス・卸小売業・金融保険業・建築業・運輸通信など多様です。就職先の地域別割合は、県内が2~3割、東海地域が4~5割で、地域に根を下ろした本学部の特徴が表れています。

### 一般企業

#### 三重県内

百五銀行、三十三フィナンシャルグループ、住友電装、三重交通、三交コミュニティ、三交不動産、三重電子計算センター、ミエデンシステムソリューション、安永、松阪電子計算センター、志摩観光ホテル

#### 三重県外

中部電力、東邦ガス、三菱重工業、トヨタ自動車、ダイキン工業、岐阜放送、日本政策金融公庫、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、東海労働金庫、日本政策金融公庫、静岡銀行、三井住友海上火災保険、東京海上日動火災保険、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、JTB、NTT西日本、東海旅客鉄道、近畿日本鉄道、中京総合警備保障、日本通運

### 公務員関係

名古屋税関、三重労働局、愛知労働局、中部地方整備局、名古屋地方検察庁、東海北陸厚生局、県庁(三重、愛知、滋賀、奈良、和歌山、石川、富山、他)、市役所(津市、四日市市、伊賀市、桑名市、伊賀市、伊勢市、亀山市、松阪市、名張市、名古屋市、岡崎市、稲沢市、豊田市、刈谷市、大府市、小牧市、瀬戸市、蒲郡市、豊橋市、神戸市、新潟市、小松市、一宮市、他)、横浜市(司書)、東京23区、県警、警察行政

### 教員・その他

中学校教員、高校教員、大学職員

### 【大学院進学】

三重大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院、一橋大学大学院、早稲田大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、同志社大学大学院、他(法科大学院進学者も含まれます)

## 大学院で学ぶ

人文社会科学研究科は、人文社会科学の諸分野における高度の専門知識に基づき、狭い専門領域にとらわれず、学際的、総合的な教育研究を行うことにより、複雑化、多様化する現代社会に柔軟に対応でき、創造的な知性と国際的な視野をもった研究者及び専門的職業人を育成することを目指します。

## 大学院人文社会科学研究科

### 地域文化論専攻(修士課程・2年間)

歴史学、美術史学、哲学・思想、地理学、文化人類学、社会学、図書館・情報学、文学、言語学、忍者・忍者学などの様々な領域から、専門分野を中心に学ぶことができます。日本と世界の文化に関する高度な理解をめざし、自ら情報を発信する意欲を持つ人を求めます。

### 社会科学専攻(修士課程・2年間)

法律、政治、経済、経営に関連する専門分野の研究を通じて、地域の課題を解決しようとし、政策形成、企業活動などに指導的役割を發揮しうる人材を育成します。理論だけでなく、実践力も身につけたと考える人を求めます。

# VOICE

## 学生からのメッセージ

自由な学びを

自分のペースで



文化学科 アメリカ研究 4年  
(三重県立桑名高校出身)

私は、アメリカ地域の歴史学ゼミに所属しています。歴史学では、自分が関心のあるテーマについて、年代を絞って研究します。例えば、映画が好きなのであれば、ハリウッドの映画を取り上げてみるのも素敵な研究テーマになると思います。研究は堅苦しいものだと考える必要はありません。自分の関心のあるもの、身近なものと絡めて研究することができる所が歴史学の魅力です。

自由度が高いところは、文化学科の特徴でもあります。文化学科では、たくさんの講義の中から自由に選択して受講するため、自分のペースで、学びたいことを見つけることができます。

ぜひ皆さんも文化学科で幅広い学問に触れながら、学びを深めていきませんか。

自分自身の将来を見つめるために



法律経済学科 現代経済コース 4年  
(愛知県立明和高校出身)

法律経済学科では、研究室(ゼミ)選択時に自分がどの道に進むのか決定していきます。もちろん、入学当時からどんな学問を研究したいか決まっている人もいますが、1年時の教養科目や先輩からの話、大学主催のイベントなどを受けて自分の進路選択が可能なプログラムになっています。

ゼミ活動では、数多くあるゼミの中から同じ所属になった学友と、興味のある分野について学び合うことができます。自分は経済学を専攻して財政学演習に所属しながら、市場と経済について、それぞれの役割や関係について勉強しています。

三重大学法律経済学科で様々な人達や機会と出会い、自分の将来の可能性を探求してみませんか?皆さんの入学をお待ちしています。



基本の作図

線分の垂直二等分線

角の二等分線



# 教育学部

Faculty of Education



学部HPはこちらから



教育学部イメージ動画

## 学校教育教員養成課程

### アドミッション・ポリシー

#### このような人を求めます

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人  
〔関心・意欲・態度〕
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人  
〔知識・理解〕
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人  
〔思考・判断〕
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人  
〔技能・表現〕

### ディプロマ・ポリシー

#### このような人を育てます

- 教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。  
〔感じる力〕
- 教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。  
〔考える力〕
- 子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。  
〔コミュニケーション力〕
- 社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。  
〔生きる力〕



教育学部長  
伊藤 信成

教育学部の建物の脇には「ミネルバのフクロウ」と題されたレリーフがあります。フクロウはローマ神話の知恵の女神ミネルバの使いとされています。フクロウは黄昏時から活動を始めますが、人々の1日のあり様をつぶさに見つめ、その様子をミネルバに報告していたのでしょう。新しい時代の到来に向け、いまの時代をしっかりと見つめ、課題を共有し、解決に向けて行動する、その思いを形にしたものが「ミネルバのフクロウ」なのです。いま、教育の場は大きな変革の時期を迎えています。この変化をしっかりと見つめ、自ら課題を解決し、新しい時代を牽引しようという熱い思いを持ったみなさんを教育学部は歓迎します。教育学部では、教職の意義や教員の役割、子どもの発達の様子や生徒指導などに関する教職関連科目と、国語や社会、音楽といった教科の内容に関する科目という大きな柱が2つあります。これは車の前輪と後輪のような関係で、どちらも欠くことができません。さらに教職でも教科でも「知識として知っている」と「それを上手く教える」とは違います。理論と実践の2つがかみ合ってこそ車はまっすぐ進むのです。本学部では、教科や教職に関する高い専門的知識を身につけるための教育環境を整備・充実させるとともに、問題解決力の向上を目的として問題解決型学習の手法を取り入れた授業を実施しています。また、1年生の段階から学校での子どもたちの姿に触れる機会を設けています。教育の効果は形には見えにくいものですが、その効果は10年後、30年後、50年後に明らかな形として現れてきます。教育は未来を創る仕事です。一緒に未来を創っていきましょう。

# 学校教育教員養成課程

Program for Teacher Training

教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション能力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、そして総合力を備えた教員となることをめざします。教員免許の取得を卒業要件としています。

### 学びの特色

#### 教育実践力を身につける

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのため、1年次の必修科目である「キャリア教育入門」をはじめとして、4年間を通した系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する資質・能力としての教育実践力を身につけるためのカリキュラム(教員養成コア科目群)が設定されており、体系的な学びを進めていくことができます。

#### 附属学校園での実地活動

教育学部には4つの附属学校園(附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校)があります。各附属学校園では主に教育実習を行います。それだけでなく、そこでの日常的な教育活動(学習支援、運動会等の補助、クラブ活動の支援等)に指導補助者として参加することができ、実地活動として学部の教員からきめの細かい実践的な指導を受けることができます。

#### 地域の学校・社会との連携

教育学部に隣接する一身田校区の4校(栗真小、白塚小、一身田小、一身田中)及び橋北校区の5校園(南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中)と連携しています。各学校園の教育活動に指導補助者として参加し、教育実践力を身につけることができます。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭等、多岐にわたっています。

### 教育カリキュラム

13の専門コースに分かれ、コース専攻の専門的知識、技能を身につけます。国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各教科への専門的理解を深める10コースと、知的障害・肢体不自由・病弱等特別な教育的ニーズを有する人々の支援に必要な知識と技術を修得する特別支援教育コース、子どもたちが豊かに過ごして成長できるための保育・幼児教育の理論と実践を学ぶ幼児教育コース、教育学および教育心理学を基礎とした教育実践を行いながら、教育全般に関わる諸問題を体系的に学び研究する学校教育コースがあります。

### コースの概要

#### ■国語教育コース

##### ことばと心を育む教育を追究する

私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信しています。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための様々な知見を得ることができます。

#### ■社会科教育コース

##### 教育現場で必要な社会を見る目を養おう

現代の社会構造は複雑化しており、学校教育の現場でもより高度な分析力と対応力が求められています。本コースでは、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学・倫理学、社会科教育学の幅広い分野から、社会に適應できる教科力を養います。

#### ■数学教育コース

##### 「数学」と「教育」で未来創造!

数学は豊かな未来の創造のために欠かせない普遍の真理です。数学を深く学び、学校現場とも連携し、算数・数学教育の理論的・実践的能力をもった教員になることをめざします。数学で真理を探究し、数学教育で未来を創造しましょう。

#### ■理科教育コース

##### 子どもの未来を拓く理科教師への4年間

理論的・実践的アプローチを通して、理科の知識、技能、および指導力が高く、教材に関する高い研究開発力を持ち、教育現場で児童・生徒および教員にとって必要な理科教育の課題を的確に把握する洞察力をもった教員の養成をめざします。

#### ■音楽教育コース

##### 仲間とつくる音楽の楽しさを人に伝える

仲間と一緒につくる音楽の楽しさを人に伝える声楽、合唱、器楽、合奏、作曲、音楽史、音楽教育学などを基礎から学ぶことができます。そして音楽の各分野の専門性を活かし、地域や社会に働きかけることの出来る幅広い実践力と指導力を備えた教員の養成をめざします。

#### ■美術教育コース

##### 美術の魅力を知りそれを教育に活かす

1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史の各分野の制作と理論の追究と、美術教育の実践と理論の探求を通して専門的能力を身につけ、同時に学校等の教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。



コースの概要

## ■ 保健体育コース

健康で運動好きな子どもを育てよう!

運動の楽しさや面白さ、精一杯体を動かすことへの気持ちよさを味わえる、健康や運動に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。本コースではそのような児童、生徒を育てる教員を養成するためのカリキュラム(理論・実技)があります。

## ■ 技術・ものづくり教育コース

ものづくり教育のエキスパートを養成します

将来、技術立国日本を支える子どもたちを育てるために、ものづくりの楽しさと技術の素晴らしさを伝えることのできる学習指導法と、技術・ものづくり教育の基盤となる理論を学び、技能を身に付けます。

## ■ 家政教育コース

広い視野から生活と環境を探求する

生活に関わる様々な事象について、生活経営学、被服学、食物学、住居学、保育学等の広範な領域から理論的・実践的に学びつつ、それらを家庭科に生かす教員になることをめざします。

## ■ 英語教育コース

世界の英語を教えるために

グローバル化の時代にふさわしい実践的な英語力を身につけるとともに、「英語学」「英語文学」「英語教育」「異文化理解」の観点から英語について総合的に学び、確かな言語感覚、国際感覚に裏打ちされた英語教員を育成します。

### 特色ある授業

#### 教職入門

「教職入門」は、1年次の必修科目です。卒業後に教職に就くことに向けて教育学部ではさまざまなことを学んでいきますが、その入り口がこの授業です。学校現場と教師の仕事をめぐるさまざまなトピックを学びながらともに教師を目指す仲間との議論を重ね、教職のイメージを豊かにふくらませて、教師として働くことへの期待や希望、教職に向けた自分自身の学びの課題を確かめていきます。



#### 特別支援教育入門

今日、すべての学校園で、特別支援教育が行われています。支援が必要な子どもたちも、地域の学校園で共に学ぶインクルーシブ教育の重要性も高まっています。この授業では、教員免許を取得する教育学部の学生が、幼・小・中・高・特別支援等、あらゆる教育現場で求められる、子どもたち一人ひとりを支援する意義や指導法の基礎等を学びます。介護等体験に臨む上で大切な基本的姿勢の涵養もめざしています。



## ■ 特別支援教育コース

一人ひとりの子どもに応じた個別の支援

現在、すべての学校園で特別支援教育は行われています。発達の違い、人とコミュニケーションの苦しさ、学習のつまずき、身体の動きの制約、病状や後遺症の影響等、課題や困難を抱える子どもたち一人ひとりを支援できる教員を養成します。

## ■ 幼児教育コース

環境とかかわり主体的に遊ぶ子どもを育てるために

乳幼児期は豊かな人間性の基礎を培う重要な時期です。本コースでは、高い専門性と実践力のある幼稚園教諭・保育士を育成するために、講義や演習、実習等を通して必要な専門的知識や方法を体系的に学ぶことができます。

## ■ 学校教育コース 教育学専攻

広い視野から学ぶ教育の本質

学校教育の日常に横たわる営みに複眼的にアプローチすることで、教育の在り方について理論と実践の両面から専門的能力を培うことをめざします。教育哲学、教育方法学(授業論・生活指導論・教育課程論)、教育経営学、教師教育学等の分野があります。

## ■ 学校教育コース 教育心理学専攻

学校教育に活かせる心理学を学ぼう!

教育心理学専攻では、学校臨床心理学、学習心理学、社会心理学、認知発達心理学等の心理学の方法論を学び、子どもの育ちを支えるための専門的知識を持つ教師として、学校現場で活躍できる人材の育成をめざします。

### STRONG POINTS 学校教育教員養成課程のここに注目

#### 教職へのモチベーションを高める座談会

教育現場の労働負担の重さが指摘される等、教職に対する戸惑いや不安を抱く学生も少なくありません。本学部では、教員としての学びを始めた1年生を対象に、附属学校園教員の協力のもと、教職へのモチベーションを高めるための座談会を行っています。学生からは「将来の不安なことを教員に聞くことができ意義のあるものであった。」等前向きで肯定的な意見が寄せられています。



#### 教採セミナー

教職支援センター教員養成支援部門が教員を目指す学生の支援を行っています。教員採用試験合格を目指して面接練習や実技試験対策等の様々なセミナーを開催するとともに、教員として現場に立った時即戦力となるよう支援を行っています。また、学生の教職に対する疑問、不安、悩み等の相談にも応じています。



# 将来のVISION 教育学部でめざす主な進路

## 進学・就職状況

### 柔軟なサポートで学生を支援

近年、全国的に教員採用数が増えてきています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育教員養成課程の学生はほとんどが教員となっています。

教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見るとほぼ全学生が就職しています。

教育学部全体の就職率  
就職希望者に対する就職内定率

# 99.5%

『三重大学概要2022』より 令和3年度就職状況

公立小・中学校の合格率  
採用試験受験者に対する合格率

# 78.4%

三重大学教育学部教職支援室より 令和4年度採用試験合格状況

三重県小・中学校合格率  
三重県の採用試験受験者に対する合格率

# 85.4%

三重大学教育学部教職支援室より 令和4年度採用試験合格状況

### 教職支援センター教員養成支援部門の教採サポート

教員採用試験は年々多様化しており人物重視の傾向が続いています。そのため自治体も面接を重視する試験を実施しており、私たちはそのための対策を行っています。

具体的には、教育学部同窓会・父母連絡会の支援を得て教職教養と小学校専門のDVD講座をはじめ、個人面接、集団面接、集団討論対策セミナーや小学校受験者のために体育実技や音楽実技の講習会も実施しています。特に集団面接や集団討論は事前の対策が必須で多くの学生が参加しています。幼稚園・保育園対策講座や出願指導も専門家を招聘し個別指導を行っています。

また、教員採用試験にかかる情報を広く収集するとともに、学生の教職への疑問に答える等の相談を通してサポートに当たっています。

## 大学院で学ぶ

大学院教育学研究科は、令和3年度から教職実践高度化専攻(教職大学院)に一本化した大学院となりました。

教職大学院は、三重県における喫緊の教育課題に取り組むため、学校を変える推進者としてのスクールリーダー及び将来的に地域教育を支えるミドルリーダーとなる資質・力量のある新入教員を養成することを目的としています。

「学校経営力開発コース」と「教育実践力開発コース」の2コースから構成されており、コース合同で授業を行うことで、現職教員学生と学部新卒学生等が相互に刺激し学び合うことを重視しています。

### 大学院教育学研究科

専攻

教職実践高度化専攻  
(教職大学院)

コース(分野)

学校経営力開発  
(経営力開発)  
(学習開発)

教育実践力開発  
(教科教育高度化)  
(特別支援教育)

# VOICE

## 学生からのメッセージ

教員を目指そう!



学校教育教員養成課程 技術・ものづくり教育コース 4年  
(三重県立津高校出身)

教育学部では、教員になるために必要な知識を学ぶだけでなく、実際に学校現場に行つて、子どもたちと関わり合ったり授業をしたりする機会が設けられています。また、教員採用試験対策として、面接や模擬授業練習の手厚いサポートも受けることができるため、他の学生と高め合いながら対策を進めていくことができます。

私が所属する技術・ものづくり教育コースでは、スピーカーを制作して自分の手でものを作り上げることの楽しさを学んだり、物を分解して身の回りの製品の仕組みを学んだりしています。私はこれらの授業から、体験から学ぶ授業を行える教員になりたいと強く思うようになりました。

みなさんも教育学部に入学して私たちと教員を目指しませんか?

教育実習で決まった覚悟



学校教育教員養成課程 英語教育コース 4年  
(京都府立桃山高校出身)

私は教育学部英語教育コースに所属しています。英語教育コースでは、英語教育、英語学、英語文学、異文化理解の4つの分野を中心に学ぶことができます。また、同じコースの学生と同じ授業を受ける機会が多く、人数も少ないためとても仲良くなることができます。

教育実習では、本当に自分が教師になりたいのかを確かめる良い機会です。短い期間ですが、教師としての原点となる経験ができます。私は教育実習を通して、授業には明確な意図を持ち、生徒とともにデザインをしていくことが大切だと学びました。教育実習を経験したことで、より強く教師になりたいと思いました。

三重大学教育学部に入学することは、教師になりたい方はもちろん、まだ迷っている方にもおすすめです。ぜひ検討してみてください。





附属病院屋上



学部HPはこちらから

# 医学部

Faculty of Medicine

## 医学科 / 看護学科

### アドミッション・ポリシー

#### このような人を求めます

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え、論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって、主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟に物事を考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

#### このような人を育てます

医学科における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感、倫理観、臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い、人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では、基礎医学、社会医学、臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域及び国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart(こころ)・Head(専門知識)・Hand(専門技術)を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

医学部は、医学科と看護学科の2学科から構成されており、さらに医学系、看護学系とも学士課程修了後の進路となる大学院課程(修士・博士)が大学院医学系研究科に設置されています。

医学部の際立った特徴は、高い国際性と地域社会との連携にあります。国際的な教育研究活動としては、医学科第6学年の約半数が参加するアジア・アフリカ・欧州・北米・南米での海外臨床実習があります。現在、COVID-19パンデミックのために一時的に休止となっていますが、早期の再開を計画しています。また、三重県内で唯一の医師養成機関、看護師・保健師・助産師を養成する県内高等教育機関のリーダーとしての役割を果たすことを地域社会から期待されており、地域枠入学者選抜制度を導入し地域医療教育を強化しています。第1-2学年で実施している地域基盤型保健医療教育は、医学科および看護学科の学生がともに受講する多職種連携型授業であり、県下全域で実施する地域に根ざした実習です。さらに、研究マインドを涵養するための授業科目があり、医学医療の発展を支える研究力の強化にも取り組んでいます。

このようなカリキュラムを通じて、国際的に通用する高い能力を持って地域社会の保健・医療・福祉に貢献する医療者を育成します。



医学系研究科長 医学部長  
堀 浩樹

# 医学科

School of Medicine

入学から第2学年前期まで、社会人としての教養と医療人に求められる専門職意識(プロフェッショナリズム)を身に付けるための共通教育と初期医学教育が行われます。第2学年後期から第3学年前期に基礎医学教育(解剖学や生理学などの講義、実習)を受け、第3学年後期から第4学年前期まで研究室研修と問題基盤型(PBL:problem-based learning)チュートリアル教育に参加します。研究室研修では、学生が個別に研究室に配属され、教員や大学院生とともに医学研究活動に従事します。PBLチュートリアル教育では、学生が主体的に学習する能力、仲間と協力して学習する能力の養成を図りながら、臨床医学と基礎医学との関係を学びます。第4学年には、診療技能を学ぶ基本的臨床技能教育が行われ、その実習終了後には、共用試験実施機構(全国80大学医学部により組織された試験統括機関)によるコンピュータ支援学力試験と客観的臨床能力試験を受験します。これらの試験に合格すれば、第4学年後期からの病院実習に参加することができます。病院での臨床実習では、平成24年に開設された新しい附属病院と地域の協力病院、海外の交流病院での実践的な教育が行われます。

### 学びの特色

#### 実践的な臨床医学教育

臨床医学教育は、臨床課題を使用した問題基盤型チュートリアル教育から始まり、基本的臨床技能教育、診療参加型臨床実習に繋がっていきます。マナーやコミュニケーション能力を指導する専任教員が配置され、多くの診療シミュレーターが設置されています。

#### 医学研究を志向する学生のためのカリキュラム

6年間を通して研究活動に参加する新医学専攻コースが選択コースとして提示されています。3-4年次には、全員が研究活動に参加する研究室研修があります。卒業後は、大学院医学系研究科への進学が可能です。

#### 国際性豊かな学習環境

多くの海外交流大学からの交換学生が、本学での臨床実習に参加しており、国際的な学習環境が提供されています。また、早期海外体験実習、海外臨床実習など海外で学ぶ機会も多くあります。

#### 地域を学びの場とした教育

入学後早期から、三重県や市町と連携した地域基盤型保健医療教育が実践されています。第4-6学年の臨床実習では、大学附属病院、地域病院、診療所での実習に参加します。

### 教育カリキュラム

第3学年後期-第4学年後期には、問題基盤型チュートリアル教育が行われます。これは、少人数グループによる協同学習と自学自習を通じて、学生が能動的な学習能力を向上させる学習方法です。実際の患者診療をシミュレーションした課題から、学生自らが学習課題を発見し、基礎医学教育で学んだ知識を駆使して問題解決をはかります。

### 診療参加型臨床実習

第4学年後期-第6学年前期には、附属病院、および関係教育病院での1年6ヶ月の臨床実習に参加します。従来に見学型臨床実習から脱却した診療参加型臨床実習であるクリニカル・クラックシップ方式を三重大学医学部医学科では他大学に先駆けて導入しています。医療チームの一員として患者さんに接することによって生まれる使命感を大切に、実地診療の場で、病気の診断・治療、患者さんへの生活支援を学んでいきます。第4、5学年学生は、全診療科のローテーション実習、第6学年学生は、各診療科の専門領域、地域病院、海外の交流大学附属病院での選択実習に参加します。



医学部医学科では日本医学教育評価機構(JACME)の認証を受け、世界医学教育連盟(WFME)の国際基準に基づく医学教育分野別評価基準に適合していることが認定されました。

### 特色ある授業

#### 医療と社会

入学後から2年次まで、医師に求められるプロフェッショナリズムを理解し、地域貢献に求められる基本的な態度を学ぶための「地域基盤型保健医療実習」の授業があります。授業は、学内での講義と保健医療機関や地域コミュニティでの体験型学習により構成されます。この授業を通して、困難を持つ人々への共感的態度、医療倫理、医療と生活の関わりを理解する能力、コミュニケーション力などを修得します。





# 看護学科 School of Nursing

医学部  
看護学科

看護学科では、倫理観と豊かな人間性を備え、地域社会への貢献はもとより、国際的な視野に立つて活動できる、人間的・専門的に高い資質を持った看護師、保健師(選択科目履修)、助産師(選択科目履修)を育成するためのカリキュラムを編成しています。

1-2年次には、人体の構造と機能、健康・疾病・障害に関する基礎となる知識と、看護学の基盤となる理論や技術を学び、人間の尊厳への配慮や倫理観を育成します。その後、各専門領域の知識を学ぶ科目と、実践の場に適応する能力を身につけるための演習や倫理実習科目では、人のライフサイクルや社会的ヘルスニーズ、地域特性など多様な観点から人間を総合的に理解し、科学的根拠に基づく個人の健康状態に応じた適切な看護実践を学び、国際的な視野で保健・医療・福祉システムをとらえ、多職種と連携する能力を高め、社会貢献の基盤を養います。また、科学的・論理的な思考とともに、看護に関する課題を解決しようとする態度や責任感を醸成するために、2年次から少人数教育での看護学ゼミナールが始まり、4年次には看護研究を行います。



## 学びの特色

### 恵まれた教育環境の中の看護学科

三重大学は人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部全てが1つのキャンパス内に統合された総合大学です。美しい自然環境に囲まれた環境に優しい大学です。

### 広い知識と豊かな人間性を養う環境

全学の共通教育やクラブ活動などを通して他学部との交流・情報交換を深めることができます。学生自治会が組織されており、人間形成に役立つものとして自主的活動が認められています。

### 看護学科と医学部の密接な連携のもとに相互に教育・研究が可能

看護学科と医学部の教員が相互に連携しながら教育・研究をしています。多職種連携教育(IPE)では、看護学生と医学生が地域の診療所などで一緒に実習しチーム医療の大切さを学んでいます。

### 隣接する医学部附属病院を中心とした総合的な実習体制の確保

看護学の実習は、隣接する高度先進医療を担う附属病院を中心に、県内関連機関において行います。また、各機関の実習担当者と教員が連携し、きめ細かい指導やサポートを行うことで学びの充実を図ります。

## 臨地実習

医療や保健・福祉の現場で、健康課題をもつ人や家族と向き合いながら看護の実践力を高めます。三重県内29市町で行う対象理解基礎実習(1年生)から始まり、附属病院での看護介入基礎実習(2年生)を経て、3年生の後期から病院や高齢者施設、訪問看護ステーション等で母性、小児、成人、老年、精神各領域での臨地実習を行います。4年生では看護マネジメント実習、各自が選んだ専門領域で行う看護学統合実習があり、学年進行にあわせて段階的に実習内容を深め、看護の専門性、かかわる人々との関係づくり、地域連携や多職種との連携・協働について実践的に学びます。



### 整備された情報ネットワークの利用

三重大学内のどこからでもインターネットにアクセスできます。看護学科棟内にも教育用LANが整備されており、e-learningなどを利用して学習できます。

### 活発な国際交流

三重大学では現在タイやドイツの大学と大学間協定を締結しており、看護学科の学生も国際インターンシップ制度を活用して海外での大学における研修に参加しています。また、海外で行われる国際ジョイントセミナーに参加することや、学内における協定大学からの学生や教員との交流を通じ、国際社会で幅広く活躍できる能力を養う機会が多くあります。



### 学生と教員との連携による社会貢献

将来の自然災害に備える地域の力を強めるために、災害看護学の要素を入れた地域社会に役立つ研究や情報発信、学生とともに行う地域に根ざした社会貢献を続けています。これにより学生の視野も広がり、人間的な成長も可能になります。

## 特色ある授業

### 認知症と看護(必修科目 3年前期)

認知症と看護は、認知症の病態と関連要因を理解し、認知症の人の生活の質を高めるケアの視点および家族支援の視点から看護展開できる基礎的能力を養うための科目です。

認知症に関する基礎的な知識と、法律や政策など社会の動向を踏まえた多角的な視点を習得した上で、事例を通して認知症を持つ人に対する看護支援について具体的に考える中で、認知症ケア・家族支援について学んでいきます。



# 将来のVISION 医学部で目指す主な進路

## 進学・就職状況

### 医学科

医師、医学研究者、保健行政担当者として活躍しています。

三重大学医学部附属病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪総合病院、市立伊勢総合病院、市立四日市病院、桑名市総合医療センター、三重県立総合医療センター、四日市羽津医療センター、三重中央医療センター、名張市立病院、伊勢赤十字病院、松阪市民病院、鈴鹿中央病院、松阪中央病院、三重県立志摩病院、名古屋市立大学病院、名古屋セントラル病院、名古屋救済会病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、豊田厚生病院、海南病院、一宮市立市民病院、総合大雄会病院、中部労災病院、トヨタ記念病院、藤田医科大学ばたね病院、朝日大学病院、中部国際医療センター、大阪公立大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、大阪大学医学部附属病院、近畿大学病院、国家公務員共済組合連合会大手前病院、東京大学医学部附属病院、JR東京総合病院、国立病院機構災害医療センター、昭和大学病院、新東京病院、武田総合病院、宇治徳洲会病院、中部徳洲会病院、京都市立病院、京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、神戸大学医学部附属病院、国立病院機構埼玉病院、湘南鎌倉総合病院、市立大津市民病院、済生会千葉県済生会習志野病院、徳島大学病院、長崎みなとメディカルセンター、奈良県総合医療センター、奈良県西和医療センター、福井県立病院、福島生協病院、公立館林厚生病院

### 看護学科

看護師、保健師、助産師等として活躍しています。

看護師 三重大学医学部附属病院、三重県立総合医療センター、三重県立こころの医療センター、三重病院、三重中央医療センター、伊勢赤十字病院、市立四日市病院、済生会松阪総合病院、鈴鹿中央総合病院、伊賀市立上野総合市民病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター、藤田医科大学病院、浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立こども病院、京都大学医学部附属病院、大阪医科薬科大学病院、大阪公立大学医学部附属病院、淀川キリスト教病院、東京女子医科大学

助産師 三重大学医学部附属病院、三重中央医療センター、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、日本赤十字社愛知医療センター、聖路加国際病院、埼玉医科大学病院

保健師 三重県、津市、いなべ市、鈴鹿市、松阪市、明和町、多気町、玉城町、伊勢市、志摩市、熊野市、愛知県、名古屋市、常滑市、春日井市、津島市、京都市、奈良県

進学先 三重大学大学院医学系研究科、岡山大学教育学部養護教諭特別別科、和歌山県立医科大学助産学専攻科、浜松医科大学大学院医学系研究科(助産師養成コース)、名古屋市立大学大学院看護学研究科(助産学領域)など

## 大学院で学ぶ

### 医学科

#### 大学院医学系研究科

#### 医科学専攻(修士課程・2年間)

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成します。

#### ここが特長

- 文部科学省の国費優先配置特別プログラムに採択され、海外からの多くの留学生が共に学んでいます。
- 医科学専攻の講義は、日英二か国語で行われており、英語力を養う良い機会となります。
- 平成29年より公衆衛生学コース「公衆衛生学の知識や実践力を地域保健、職域保健や環境保健に還元可能な人材」および「地域での中長期的な公衆衛生政策の形成に係わる人材」の養成に特化したコースを開講しています。

#### 生命医科学専攻(博士課程・4年間)

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成しかつ優れた研究成果を世界に発信します。

#### ここが特長

- 平成29年より京都大学などと共同で博士課程「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プランに選定され、多様な新ニーズに対応したがん臨床とがん研究の教育指導によりがん専門医療人を養成しています。
- 平成29年より名古屋大学などと共同で博士課程「基礎研究医養成活性化プログラム(人体を統合的に理解できる基礎研究医の養成)」に選定され、ヒトの病態を俯瞰できる基礎研究医および研究マインドを持った病理学・法医学研究医を養成しています。

### 看護学科

#### 大学院医学系研究科

#### 看護学専攻(博士前期課程・2年間/博士後期課程・3年間)

博士前期課程は、看護学の理論と応用を教育・研究することによって、社会のニーズに沿った保健・医療・福祉の向上に寄与するとともに看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成します。3つの教育研究領域と10の専門分野から構成され、履修方法によって、修士論文コース・高度実践看護師(専門看護師:CNS)コース・看護教育学上級実践者(Clinical Nurse Educator:CNE)コースがあります。

博士後期課程は、「俯瞰的視野」をもち、他の学問領域等と協議しながら新たな知見を導き出し、地域に根差した独自性豊かな看護学研究成果を生み出すことのできる人材を育成し、優れた研究成果を世界に発信することを目的としています。1つの領域と6つの教育研究分野から構成され、看護学のより高度な教育・研究の実践を目指します。

# VOICE

## 学生からのメッセージ

充実した学生生活を



医学科 5年  
(三重県立伊勢高校出身)

三重大学の医学科では、充実したカリキュラムで6年間学習することができます。1年次には地域基盤型保健医療実習で、実際に市町を訪れ地域における医療を学習します。2年次より基礎医学、臨床医学を学習し、4年次から病院実習が始まります。実際の医療を間近で経験し、深い知識や新たな視点を獲得することができます。

また、多くの学生が部活動やサークルなどにも所属し、仲間たちと目標に向け取り組んでいます。活動する中で、同学に加え、先輩や後輩とも繋がりができ、交友関係も広がります。

私自身、勉強に課外活動に充実した学生生活を送れていると感じます。三重大学に興味を持っていたいただいた方は、ぜひ一緒に楽しい学生生活を送りましょう!



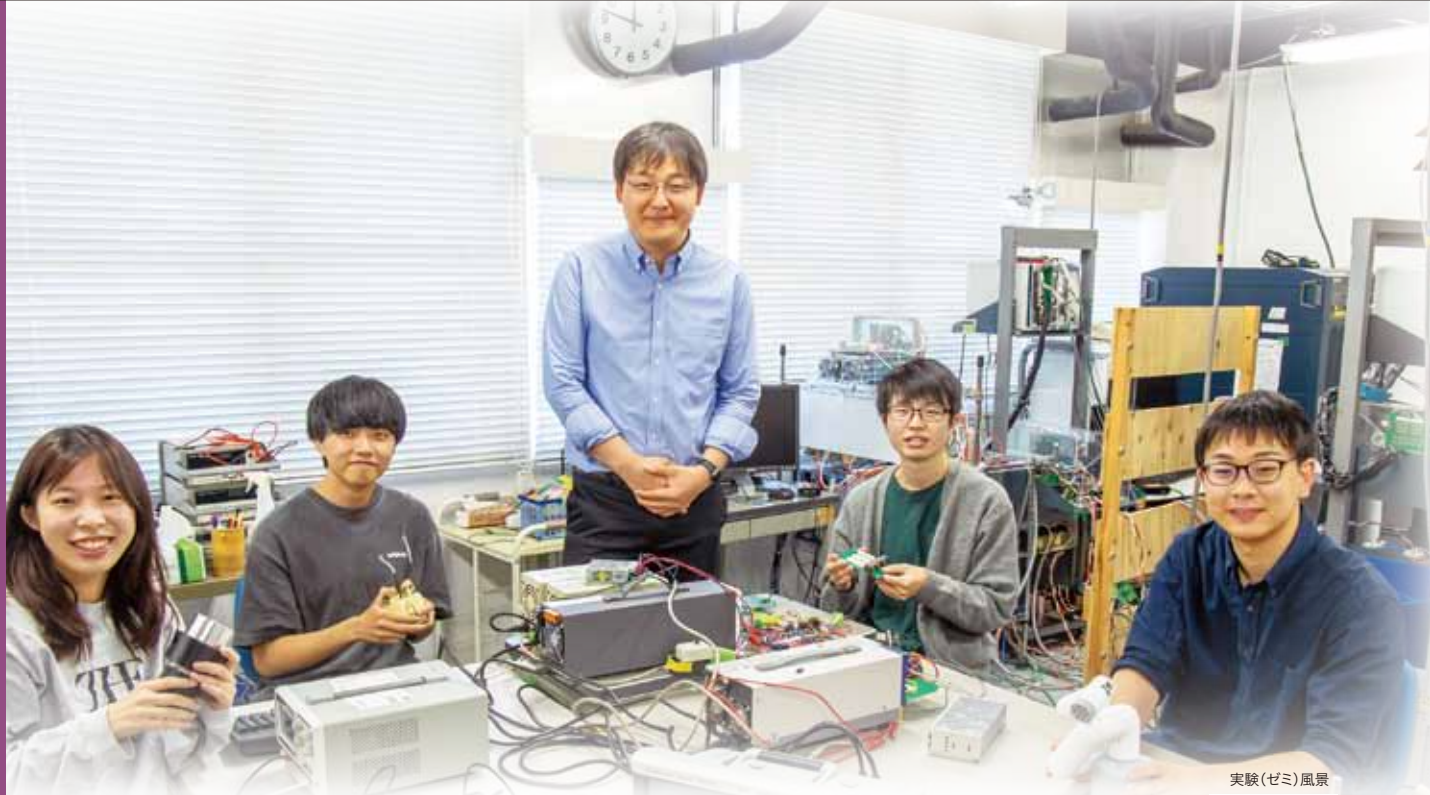
看護学科 4年  
(三重県立津高校出身)

看護学科では医学または看護に関する基本的な知識や技術だけでなく、関心のある専門分野での学びも深めることができます。また、グループ学習も多く、課題や実習を他の学生と共に乗り越えることができます。また、一人では発見できない新たな視点も多くあり、目標に向かって仲間と協働することの意義を実感しています。学内演習では附属病院の看護師の方にご指導いただく機会もあり、看護師としての将来をイメージして学ぶことができます。学びの中では大変だと感じる場面もありますが、実習中に患者さんからいただいた言葉は今でも強く心に残っていて、頑張る力になっています。

先生方には、日々の学習や進路など様々な相談に親身に応じていただけたので、安心して大学生活を送ることができます。

私たちと一緒に地域に貢献できる看護職を目指しませんか。





実験(ゼミ)風景



学部HPはこちらから

# 工学部

Faculty of Engineering

## 総合工学科

### アドミッション・ポリシー

#### このような人を求めます

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらに応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

#### このような人を育てます

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。



工学部長  
森 香津夫

三重大学は東海・北陸・近畿地域で第3位の広いキャンパスに全ての学部が立地した文理融合型大学です。その中で工学部には最多数の学生が在籍し、本学の中核を担う学部です。社会における工学部の役割は我々の生活をより豊かにするための「もの」創り(作り、造り)技術を教育・研究することであり、「科学技術創造立国」を目指す我が国では極めて重要な役割を担っています。

本学部では三重県の豊かな自然の中で、学生と教員のふれあいを大切に教育を基盤として地域から世界に羽ばたく高度専門技術者を育成し、関連業界で中核として活躍することで地域社会をはじめとする国内外に技術的貢献をすることを目指しています。人類の共生、福祉の増進、及び社会の発展に貢献することを志して、昨今の社会問題(エネルギー・環境、少子高齢化・人材不足、防災対策等)に対して技術の力で対処する問題解決能力を持ったバランスの取れた人材を育成することを目的としています。

# 総合工学科

Department of Engineering

三重大学を取り巻く環境は、材料・エネルギー・IoT関連・化成品・化学工業・防災減災など、極めて裾野が広く多岐にわたっており、それらを継続的に力強く支える人材が必要とされています。つまり、専門分野の深い知識と同時に、工学に共通する幅広い知識及び情報関連技術を有する人材を育てることが求められています。

そこで、各専門分野の育成人数バランスを、産業界の要請あるいは学生の希望に柔軟に対応させるため、工学部全体を1学科とし、専門分野ごとのコース制を導入しました。すでに進むべき進路が明確な学生にはより具体的に、志望分野を検討中の学生には最適な選択の可能性(総合工学コースを選んだ場合)を提供します。

また、広い視野を持ち、問題を発見・解決する能力を持った人材を育成するため、学部修士一貫コースを設定しました。大学院へ進学する希望者のうち、学部修士一貫コースへの選抜を3年次終了時に行います。学部修士一貫コースでは、卒業研究を行う代わりに長期インターンシップを履修することができます。これにより、問題発見・解決力、課題探求力、先端技術を取り込む力及びコミュニケーション能力を民間企業や各種研究所にて身につけることができます。

## このような人材を育成します

- 工学共通の幅広い知識、及び情報関連技術を有する人材
- 異分野とのコミュニケーション能力を持つ人材
- コースの垣根を超えた学際分野も理解する研究者・リーダー
- 本学卒業・修了後の実社会で自己学習できる人材
- 卒業・修了後の進路が展望できる人材

1学科  
5コース

定員  
400名

3年次編入  
30名

<b>機械工学コース</b> 1年次:80名程度 2年次:90名程度 3年次以降:100名程度(うち3年次編入10名)
<b>電気電子工学コース</b> 1年次:90名程度 2年次:100名程度 3年次以降:110名程度(うち3年次編入10名)
<b>応用化学コース</b> 1年次:90名程度 2年次:100名程度
<b>建築学コース</b> 1年次:40名程度 2年次:45名程度 3年次以降:55名程度(うち3年次編入10名)
<b>情報工学コース</b> 1年次:60名程度 2年次:65名程度
<b>総合工学コース</b> 1年次:40名程度 (2年次以降は5コースのうち、いずれかを選択)
2年次コース分け配属目安 ● 機械工学コース……………10名程度 ● 電気電子工学コース……………10名程度 ● 応用化学コース……………10名程度 ● 建築学コース……………5名程度 ● 情報工学コース……………5名程度
1年次 定員:400名    2年次 定員:400名    3年次 定員:400名    4年次 3年次編入:30名

## 総合工学科 ■ 総合工学コース

大学受験時に志望分野を決めかねている優秀な受験生が、本学工学部に入学後、1年次に工学部共通の基礎的知識を習得する中で自分の適性を捉え、2年次以降に専門分野のコースを決定することを目的として総合工学コースを設置します。

2年次のコース選択時には、総合工学コース生自身の希望及び適性を総合的に判断し、専門分野のコース分けを行います。

### 学びの特色

工学部共通基礎教育としてのプログラミング言語、基礎線形代数学I、基礎微積分学I、基礎物理学I、安全教育・工学倫理等のコア科目に加え、基礎線形代数学II、基礎微積分学II、基礎物理学II、総合工学概論の4科目を必修科目に設定し、優秀な学生を質的に充実させ、2年次に各コースを選択可能とする学力を保証し、原理・原則をより深く理解する力と工学に共通する幅広い知識を持つ学生を育成します。

総合工学概論では、各コースに所属する教員から、コース別の学修内容・研究内容・卒業後の進路説明等を受け、2年次進級時のコース選択に役立ちます。



レオナルド・ダ・ヴィンチは、ヘリコプターで空を飛ぶことを夢見ました。機械はそのような人類の夢をいくつも実現し、豊かな生活を築き上げてきました。現在では、人体から宇宙まで守備範囲は広がっています。機械工学コースでは、講義・演習、工場見学、企業でのインターンシップを通じて、社会に貢献する創造的設計・製造に不可欠な知識・技術を習得できます。

学びの特色

専門分野をしっかりと身につけるカリキュラム

大学での講義に必要な基礎的な物理、数学の導入教育、専門分野を自主的に学習し応用力を高めるための演習付き科目、設計能力、問題解決能力を伸ばすための創成型科目、卒業研究などの専門的な能力を着実に修得するカリキュラムが用意されています。

社会で活躍できる人材の育成

機械技術者、研究者として成長することを早期に自覚するため、入学初年度から工場見学、合宿研修が実施されています。専門知識の修得に加え、教員による綿密な研究指導、コース独自のポスター発表会によりコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を修得し、社会で通用する総合的な能力が身につけられます。

■ ロボティクス・メカトロニクス講座

人間工学、ロボット工学、制御工学、情報工学から心理学とといった幅広い学問分野を統合して、生命・医療・福祉分野、製造分野、教育分野、さらには車などの移動機械分野まで、幅広い分野に対して利用価値の高い知能機械システムの開発を行っています。特に、高齢者や障がい者の機能回復を実現する医療・福祉ロボット、工場内で重量物を軽快に運搬できる重労働支援システム、車のドライバーを支援する運転アシスト技術、さらには、AIやIoT技術を取り入れた匠の技を継承できる次世代型ものづくりシステムなどの開発に力を入れています。

■ 機能創成プロセス講座

実際のモノ作りの際に基礎となる、素材から必要な形状を創製するための加工技術の研究を行っています。溶接やレーザを用いた溶融による接合と切断、工具を用いた切削による材料除去、プレスを用いた変形による成形加工に加えて、産業界の様々なニーズに応えるための新規加工法の開発にも取り組んでいます。そして、作り出された機械要素の表面の損傷やトライボロジー性能などの基礎的特性の解明にも取り組んでいます。

■ 機械物理学講座

広く現代物理学と材料科学の視点から、機械工学に関わる幅広い分野の基礎学問の構築と革新を目指しています。医療分野への展開を目指した心臓や脊椎の力学的機能評価、生体模倣機能性材料の開発、量子熱力学・非平衡統計力学・凝縮系物理学の理論的研究、単一電子トランジスタの応用研究、量子力学を応用した振動・制御理論の研究、プラズマ蒸着法による機能性薄膜の開発、半導体物性や結晶成長のシミュレーションなどに取り組んでいます。

■ 環境エネルギー講座

流体工学や熱工学に基づいた、新しいエネルギーの開発やエネルギーフローの効率化による環境配慮型の資源利用の達成を目的として、風力発電や燃料電池に関わる技術開発や、自動販売機や空調の高性能化・省エネ化技術の開発、これらの機器の要素開発に不可欠である複雑乱流や混相流のシミュレーション及び実験技術の開発を行っています。

特色ある授業

機械工学 フレッシュマンゼミナール

この授業では、各研究分野に学生全員がグループごとに分かれて研究室体験をおこないます。小人数制のFace to Faceによるゼミ形式で機械工学の基礎および応用について各教員から直接的に指導を受けたり、各研究室が取り組んでいる様々な研究や実験・実習の様子を見学したりします。

また、研究室に所属している卒業研究生や大学院生との交流をはかることもできるため、今後の勉学の進め方や将来の進路について考える貴重な機会となります。

STRONG POINTS 機械工学コースのここに注目

社会に貢献する技術

知能ロボティクス研究室では、人間工学に基づくユーザビリティを追求したロボット制御技術を研究し、社会に貢献できる機械システムや知能ロボットの開発を行っています。特に、生命・医療・福祉の分野における支援ロボットの開発や重労働や危険作業を支援するロボット制御技術の開発に力を入れています。

(右の写真は上肢が不自由な方でも車いすが使用できるようになる上肢動作支援用ウェアラブルロボット、右の写真は不整地走行用パーソナルモビリティです。)



テレビなどの家電製品のみならず、携帯電話、自動車、さらには進展が著しいロボット技術やディスプレイ技術は、エレクトロニクスによって支えられています。また、太陽電池などの環境技術、ナノテクなどの最先端科学も電気電子工学の技術者が活躍する分野です。電気電子工学科では、広く社会から求められているエレクトロニクス分野で活躍する技術者を育てます。

学びの特色

自ら考える力をつけ、技術者に必要な基本的スキルを学ぶ

1・2年生では、工学に必要な数学や物理、化学などの自然基礎科目とともに、電気電子工学の重要な基礎科目である電気回路論、電子回路論、電磁気学および計算機基礎などを学びます。これらの科目では講義のみならず演習も取り入れることにより、自ら考える力を身につけます。また3年生では、電気システム、情報・通信、電子物性の3つの専門分野について本格的に学びます。専門的な講義に加えて、実験や実習を数多く取り入れることにより、計測技術や報告書の書き方といった技術者として基本的なスキルも習得します。

先端研究に従事して、もの作りと仕組み作りを理解します

4年生では、電気電子工学の技術者として必須である専門英語やプレゼンテーション技法について学ぶとともに、各研究室に配属されて最先端の研究活動に従事します。卒業研究を通して、修士の先輩・仲間とのコミュニケーション能力を養い、工学としての「ものづくり」、「仕組み作り」を理解します。

■ 電気システム工学講座

介護やリハビリ支援までもこなせる自律性の高いロボットや、温度・負荷などの環境変化への適応能力をも備えた自動制御システム・機器への需要がますます高まっています。また、それに伴い、システムを構成する駆動装置や通信機器に求められる要求も厳しくなっています。電気システム工学講座では、自律ロボット、自然エネルギー利用発電などの研究・開発によりこれら課題に取り組んでいます。

■ 情報・通信システム工学講座

情報をデジタル化し処理する技術は様々な分野で応用され、人々の生活環境向上に大きく貢献しています。また、高度に洗練された情報通信端末が広く浸透し、だれもが、どこでも、地球の裏側の相手とでも瞬時に情報をやり取りできる時代が到来しています。情報・通信システム工学講座では、情報処理技術の医学・教育分野への応用、次世代通信システムの研究・開発に取り組んでいます。

■ 電子物性工学講座

あらゆる電子機器の中には、半導体・誘電体・磁性体・超伝導体などの電子材料が様々なかたちで使われています。それら電子材料の機能を最大限に発現させる上で、基礎物性に関する深い知見や、素子作製プロセスの確立は欠かすことができません。電子物性工学講座では、エレクトロニクスを支える電子材料を広範に扱った研究・開発に取り組んでいます。

■ 物理学講座

これまでに存在しない革新的な電子デバイスを開発するためには、その礎となる基礎研究が欠かせません。物理学講座では、半導体、磁性体、超伝導体の基礎的な物性を解明するとともに、それらを微細化したときに現れる新しい性質・機能を電子デバイスに応用するための理論研究・計算機シミュレーション・実験に取り組んでいます。

特色ある授業

電気電子工学入門実験

電気電子工学分野の技術者にとって、視覚や聴覚などの感覚を磨くことは大変重要です。そこで1年生後期に開講される「電気電子工学入門実験」では、視覚や聴覚で認識できる物理現象とその現象を表す数学との関連を理解するための体験型実験を行っています。基本的な電子回路の作製やレゴロボットのプログラミングを行い、その動作を体感しながら、これからの学習や実験に必要な基礎的能力を体得します。



STRONG POINTS 電気電子工学コースのここに注目

社会に貢献する技術

制御システム研究室では、医師に代わり医療診断するロボット、人の筋力を補うパワーアシストスーツ、危険地帯で人に代わり作業する遠隔操作ロボット、などの次世代ロボットを研究開発しています。機械装置、電子回路、ソフトウェアまで一貫して研究開発することで、独自の制御システムを生み出し、その成果を国際会議などで世界に発信しています。





## 総合工学科 ■ 応用化学コース

応用化学とは、化学の観点から有用で新しい機能をもった物質を研究・開発して科学技術を発展させ、社会に貢献する分野です。これによって、エネルギー変換技術の確立、環境問題の解決、バイオテクノロジーや医薬開発による医療分野の発展、新材料による情報通信の高速・大容量化などを実現します。本コースでは、こうした社会で大きな期待が寄せられている分野で活躍するための、知識と実践力を身につけることができます。

### 学びの特色

#### 応用化学関連分野の基礎的・系統的な教育

1～2年次では分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生物化学の5つの基礎教科を学び、3年次では専門的な応用化学関連教科を系統的かつ総合的に網羅し学びます。講義で修得した専門知識に基づいて2～3年次では化学実験を行い、実験技術および実験結果の解析法を学びます。卒業年次(4年)には研究室に配属され、最先端の実験研究を行います。卒業後は研究者・技術者として化学関連分野において創造的な活動に従事し活躍できる力が身につきます。

#### ■ 物理化学講座

有機分子材料・ナノカーボン関連物質を創出し、発現する物性・機能について研究するナノ材料物理化学研究室、高分子や界面活性剤などソフトマターの物性・機能とそれらメカニズムを研究する有機素材化学研究室、ナノ粒子やクラスターを作製し、ナノ領域に特徴的な光機能とその理論的背景を研究する量子ナノ機能化学研究室から構成されています。

#### ■ 無機分析化学講座

環境とエネルギーの調和を指向した固体触媒やエコガラスなどの新規な機能性無機物質を研究する無機素材化学研究室、各種電池の研究開発および機能性セラミックスの電気化学的応用を指向するエネルギー変換化学研究室、超微量化学物質の計測技術や持続可能な社会を指向した環境負荷低減化技術を開発する分析環境化学研究室から構成されています。

#### 国内外の関連学会での活発な研究発表

卒業年次(4年)および卒業後に進学する大学院工学研究科(博士前期課程)分子素材工学専攻(応用化学専攻)では教育活動と並んで、研究活動も盛んです。学生は応用化学関連分野において、より専門的な視野に立った研究能力を身につけるため、分析化学、有機化学、無機化学、高分子化学、材料科学、物理化学、電気化学、生化学、環境化学などの国内・国外での関連学会に積極的に参加し研究成果を発表します。

#### ■ 有機化学講座

環境に優しい反応手法を新しく開発してファインケミカルズを合成する有機合成化学研究室、新たな性質をもつ有機分子の設計・合成を行って有用な機能性材料を開発する有機機能化学研究室、モノマーの分子設計や新しい重合反応の開発を通じて機能性高分子材料を創製する高分子合成化学研究室から構成されています。

#### ■ 生命化学講座

生体細胞や組織の再生・修復する機構を研究し、組織工学的材料を開発する生体材料化学研究室と、DNA・タンパク質・脂質などの生物化学を基盤としてメディカル・ライフサイエンスに有益なものづくりをめざす分子生物学研究室から構成されています。

### 特色ある授業

#### 応用化学基礎



1年生は、11研究室のグループに分かれ、各教員と密着した少人数によるPBL教育により化学に関する基礎知識を学習します。口頭発表のための資料作成、実際の発表と討論を通して、主体的学習のモチベーションを維持し、向上させることができます。また、各研究室での指導により、大学の教育環境へスムーズに適応することをサポートします。



PBL教育全体発表会

### STRONG POINTS 応用化学コースのここに注目

#### 有機機能化学



#### 新しい有機分子の合成による機能性材料の創製

有機化学の魅力の一つは、新しい機能をもつ新物質を人工的に創製できることです。有機機能化学研究室では、これまでに存在しなかった分子構造をもつ化合物を合成することにより、電子的、磁氣的、光学的に有用な機能をもつ有機材料の開発を目指して研究を進めています。

#### 生体材料化学



#### 最新医療を支える医療材料開発を目指して

生体材料化学研究室では、事故や病気ですべての体の組織の一部を再生させる組織工学材料を研究しています。生体細胞の培養材材として細胞外マトリックスを用いた研究や、動的な細胞培養による正常組織への成長の研究により、未来の治療に貢献する画期的な医療用材料を創製します。

## 総合工学科 ■ 建築学コース

二十世紀の成長する都市の時代から二十一世紀の成熟社会の時代へ。人口減少、超高齢社会、大規模災害、地球温暖化などの諸問題に対応した新しい建築像・発想が求められています。建築学コースでは、建築スケールから都市スケールに至る生活空間を取り上げ、建築の設計に必要な専門知識、建築設計図面や建築模型の製作技術などの習得を目指します。

### 学びの特色

#### 実習を通じて学びます

歴史的建築物や伝統的な町並みが残る地域でのフィールドワークを通じて、環境と共生する新しい建築の可能性について学びます。

#### 幅広い分野を総合的に解釈し、自分の作品をつくりながら学びます

建築は幅広い知識が必要とされる学問です。そのため、歴史、文化、芸術、都市、環境、構造など様々な分野について学びます。建築学コースで学んだこれらの知識は、すべて自らの建築作品を設計するための基礎となります。戸建住宅、ギャラリー、図書館、小学校、集合住宅、複合ビル等、多様な作品を設計することで確かな知識と技術を身につけていきます。

#### 先進的な研究および技術をもとに学びます

先進的な環境、構造研究をもとに、災害に強い省エネルギーな暮らしを実現するための技法を学びます。

#### 快適な環境で学びます

三重大学は海に面した大学です。中でも建築学コースの建物は最も海に近い場所に位置しています。そのため、製図室からは伊勢湾を眺めることができ、朝夕の景色は印象的です。この製図室は自分の居場所として、また勉強部屋として学生がいつでも使用できます。また図書室も整備され、建築に関する専門書を自由に閲覧できるようになっており、建築を学ぶための快適な環境が整えられています。

#### ■ 建築計画系

各種建築物の機能およびそのマネジメント手法、都市ならびに地域の計画や景観保全、私たちが受け継いでいる歴史文化、さらに建築形態を構想する際の思考技術など、建築物のデザイン・計画のための多彩な研究を行っています。



#### ■ 建築環境設備系

建築内空間のみならずその周辺環境下での熱・空気・音・光環境を適切に制御し、健康・快適性、地球環境負荷などの観点から、より望ましい都市・建築環境を実現するために様々な研究に取り組んでいます。



密集市街地街路から見た天空

#### ■ 建築構造系

建築物の構造設計法、建築材料の品質・耐久性評価、建築生産などに関する教育を担当しています。研究テーマとしては、鋼・鉄筋コンクリート・木の各種構造の耐震性能および材料特性に関する研究や、地震などの自然災害に対する建築防災に関する研究などを行っています。



#### ■ 地域防災系

南海トラフ巨大地震などの自然災害による被害を予防あるいは軽減するために求められる建築物、都市、地域における総合的な対策としての防災都市計画、市民・企業・大学・行政の協働による防災まちづくり、災害後の応急仮設住宅計画や災害復興計画などに関する研究などを行います。



応急仮設住宅(東北地方)

### 特色ある授業

#### 建築企画設計



4年間の学習の集大成として、学生自らが敷地や用途を設定し、それに相応しい建築を設計し、図面や模型にして表現します。建築学コースでは毎年、市民に公開する展示会でその成果を発表しています。



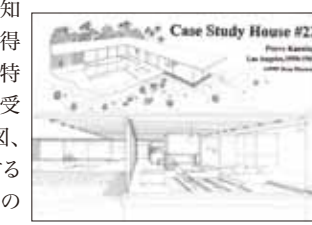
建築展の様子(三重県立美術館にて)

### STRONG POINTS 建築学コースのここに注目

#### 感動を生み出す力



魅力ある建築物や都市を実現するためには、充実した知識や技術はもちろんのこと、感動を生み出すプレゼンの力も求められます。建築図学(1年生)では、建築物を設計するために必要不可欠な、図面描画やプレゼンの知識と技術を習得します。これは、特に2、3年生で受講する設計製図、4年生で受講する建築企画設計の基礎となります。



学生の作品の例

#### 防災の取り組み

地方公共団体と連携して、三重県地域の防災力を高める「みえ防災塾」、「三重大学地域圏防災・減災研究センター」、「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」の活動にも、建築学コースの教員が参加しています。



## 総合工学科 ■ 情報工学コース

モノが直接インターネットにつながるIoTをベースとした社会では、情報工学が扱う分野も拡大し、情報系技術者には幅広い工学分野の技術の習得が求められています。このような状況から、従来の情報工学に加え、他分野との境界領域の専門知識をも身につけた、拡大しつつある情報工学分野に対応できる技術者の育成を目指しています。

### 学びの特色

#### 多様な応用分野に対応したカリキュラム

情報工学のコアとなる基礎・必修科目、他分野との境界領域に加え、コンピュータサイエンス、情報ネットワーク、知能システム、人間情報学の4つの教育分野科目を充実させることで、情報技術のトレンドであるクラウド、人工知能、モビリティ、ビッグデータ、ロボティクス、IoT、サイバーセキュリティなどの多様な分野で活躍できる情報系人材の育成を目指しています。特に新科目の、暗号と情報セキュリティ、計測工学、通信方式、組込システム設計を学ぶことで、IoTに対応できる知識を身につけることができます。

### ■ コンピュータサイエンス講座

コンピュータサイエンス講座では、あらゆる情報処理の基盤となるデータ構造やアルゴリズム、プログラミング言語処理系を始めとするソフトウェアの開発環境、アプリケーションの高性能化のための並列処理技術、また、これらを支える先進的なハードウェアの設計、などを研究しています。

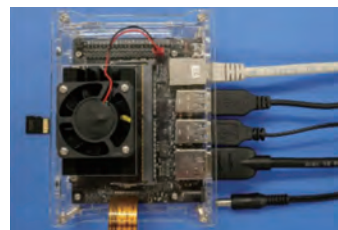
### ■ 情報ネットワーク工学講座

情報ネットワーク工学講座では、IoTにとって重要な役割を果たしている情報通信ネットワークに関連する研究を進めています。より快適で安全な社会の実現を目指して、情報化社会の基礎となっている光ファイバ、無線、ネットワークにかかわる技術、また画像処理技術について研究開発しています。

### 特色ある授業

#### 情報工学実験「パターン認識と機械学習」

情報工学実験「パターン認識と機械学習」では、雑多なデータから特定のパターンに合致するデータを抽出するパターン認識と、大量のデータから一定のパターンを自動的に獲得する機械学習についての基礎を学びます。実験では、機械学習の中でも特に大きな発展を遂げている深層学習についてNvidia社のJetson Nanoという小型のコンピュータを使用して、深層学習の動作環境・動作原理から始め、実際に深層学習を使用して写真に写っているものは何かを当てるプログラムを作成します。



#### 応用力の身につく実習・演習の充実

情報工学科のカリキュラムの特長は、充実した実習・演習科目の存在です。講義で様々な理論や原理を学ぶことは重要ですが、この原理を活用できることがエンジニアとしての活躍には必須です。そこで、プログラミングやプロセッサ設計など実務に近い実習・演習を充実させて、応用力の養成にも力を注いでいます。実習・演習には大学院生がティーチングアシスタント(TA)として多数参加しており、TAからフレンドリーな指導とサポートが受けられます。

### ■ 知能システム工学講座

知能システム工学講座では、カメラ、マイクなどの各種センサ(IoT機器)により計測された大量の情報をコンピュータに取り込み、人間と機械間的確な情報を提供する人工知能システムについて研究します。この研究により、より人間らしい快適な生活ができる高度情報化社会の構築を目指します。

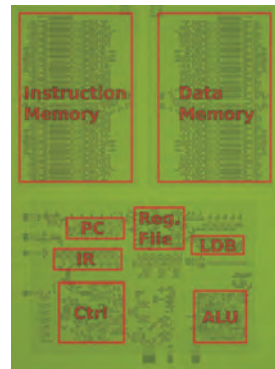
### ■ 人間情報学講座

人間情報学講座では、人間の知覚、認知、行動に関する人間情報学の基礎的・応用的研究を通して、人間の認識能力や、人間の反応や行動に合わせた特性を備えた、人に優しいコンピュータシステムを開発しています。

### STRONG POINTS 情報工学コースのここに注目

#### 超伝導コンピュータと回路設計アルゴリズム

現在主流の半導体とは異なる、超伝導単一磁束量子デバイスを用いた、超高速かつ低消費電力の未来のコンピュータを設計しています。0と1の論理に基づくデジタル回路であることは従来と同じですが、論理の表現法が異なり、また、数十ギガヘルツの高速動作のため、構成に様々な工夫が必要になります。これまでにない条件下での回路設計には、専用の設計ソフトウェアも不可欠です。その実現には、複雑な問題をモデル化し、賢く処理するアルゴリズムを考えることが重要です。



## 将来のVISION 工学部で目指す主な進路

### 進学・就職状況

過去2年間の卒業生の進路  
(学部卒及び大学院修了)

学部卒業後に、すぐに就職し技術者として活躍するか、さらに大学院(修士課程)で2年間知見を深めた後に就職するかを、選択することになります。多くの企業では修士採用に重点を置くようになり、近年では5~6割の学生が大学院へ進学します。学部卒、修士卒のどちらも、就職希望者は毎年、ほぼ100%就職しています。大学院の博士前期課程(修士)修了後、博士後期課程(博士)に進学すれば、研究所等での基礎研究や大学教員への可能性も開けます。

また、工学部では、各コースでの勉学内容が異なるため、就職先も学科ごとに異なる場合が多くあります。詳しい就職状況は、別冊子『工学部案内』を参照して下さい。

#### 製造業

トヨタ車体、マキタ、豊田自動織機、デンソー、日本特殊陶業、アイシン、クボタ、日本車両製造、大同特殊鋼、ダイキン工業、日本電産、トヨタ自動車、日立製作所、三菱重工業、川崎重工業、日本製鉄、パナソニック、富士電機、本田技研工業、住友電装、三菱電機メカトロニクスソフトウェア、CKD、イビデン、トヨタ紡織、住友理工、豊田鉄工、GSユアサ、スズキ、アイカ工業、マツダ、ブラザー工業、三菱自動車、セントラル硝子、イーテック、ミルボン、ニデック、花王、東海理化、富士通、小糸製作所、デンソーテクノ、ヤマザキマザック、ニチコン

#### 電気・ガス・水道業

中部電力、リンナイ

#### 運輸業

JR東海

#### 情報通信業

NTT西日本、ヤフー

#### 学術研究・専門・技術サービス業

NTTデータ東海、デンソークリエイト

#### 建設業

大林組、鹿島建設、北野建設、熊谷組、清水建設、竹中工務店、トヨタT&S建設、一条工務店、住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業、ミサワホーム、青島設計、NTTファシリティーズ、JR東海コンサルタンツ、玉野総合コンサルタント、ダイキン工業、ダイダ、日本コンクリート

#### 公務員

国家公務員、地方公務員

#### 大学院進学

三重大学大学院、名古屋大学大学院、東北大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、名古屋工業大学大学院、金沢大学大学院、神戸大学大学院など

### 大学院で学ぶ

高校卒業後の4年間での勉強は、授業を受けることが中心です。しかし、学部4年間を終え修士課程への進学後、すなわち大学院では、教授の指導や学生自らの希望により研究テーマを決め、自ら実験や調査、思考などを繰り返して新しい発見をし、学会で発表するという研究活動が日々の中心となります。工学研究科(工学部の大学院)では、修士課程2年間の間に、9割以上の学生が国内学会で発表します。また、大きな研究成果が得られた場合には、国際会議において英語による発表も行っています。

### 大学院工学研究科

#### 博士前期課程(修士課程・2年間)

- 機械工学専攻
- 電気電子工学専攻
- 応用化学専攻
- 建築学専攻
- 情報工学専攻

#### 博士後期課程(博士課程・3年間)

博士前期課程(修士課程)修了後に、3年間学びます。

- 材料科学専攻  
分子素材工学、機械工学、電気電子工学修了者向
- システム工学専攻  
情報工学、機械工学、電気電子工学、建築学修了者向

## VOICE

### 学生からのメッセージ

好きな色はありますか？



総合工学科 応用化学コース 4年  
(三重県立津高校出身)

私は応用化学コースで、化学は「当てる光で見える色が違う」ということを知りました。応用化学コースでは、3年生までには高校までの化学が含まれていた様々な側面にスポットライトを当てて、深く学びます。例えば、科目としては、有機、無機、分析、物理、高分子、生物などに分けられます。この中に、皆さんが気になるワードはありますか？応用化学コースは、科学に興味があるのなら、あらゆる方におすすめできます。4年生になると、最先端の研究が始まります。それまでに学んだ化学の分野、気になる色を、一番輝くところで眺められます。私はこれから研究を始めるところです。大学生活で見つけた好きな色です。皆さんも、好きな色を見つけられますように。

高度な技術を学ぼう！



大学院工学研究科 情報工学専攻 博士前期課程1年  
(福清第二中学出身)

情報工学は、情報処理や情報システムに関連する技術を研究する分野です。プログラミング、ネットワーク、ハードウェアなど、さまざまな高度な技術を学ぶことができます。三重大学の情報工学コースでは、カリキュラムが充実しており、幅広い分野において知識とスキルを学びます。女子学生が少ないと不安になるかもしれませんが、先生方は質問や相談に対して丁寧に対応してくださるので、女子学生が少なくても大丈夫です。

私は、スマートシステム研究室に所属し、日常生活に近い関わりを持っているIoTシステムを研究しており、将来はシステムエンジニアになりたいと考えています。

情報工学の学習を通じて私たちと自身の夢や目標を追求しませんか？心から応援しています！





# 生物資源学部

Faculty of Bioresources



学部HPはこちら

生物資源学科 **新学科** 令和6年度設置

## アドミッション・ポリシー

### このような人を求めます

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会的な創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

### このような人を育てます

生物資源学部は、食と農林水産・フードシステムに関わる俯瞰的な視点を持ちつつ、地域の豊かな自然から生み出される生物資源の適正な開発・利用・保全を追求し、データの論理的な分析に基づく科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことで地域と世界に貢献することを目指しています。

そのために、幅広い講義や実験・実習を実施し、独創性と専門性を兼ね備え、自らの力で問題解決ができる知識と能力を身につけた人材の育成を目標にしています。



生物資源学部長  
松村 直人

生物資源学部は35年ほど前、当時の農学部と水産学部の統合により発足した全国にないユニークな学部です。大学院の博士課程を大学単独でもち、入学定員が260名と農学系では東海・中部の国立大学の中で最も多く、近畿、中四国を加えても第2位を誇ります。前身を1921年設置の三重高等農林学校とし、100周年を迎える伝統校で約70もの教育研究分野で農林水産系におけるほとんどの学問領域をカバーします。また、実習の場である附属教育研究施設として、紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（農場、演習林、水産実験所）、そして中部地区の国立大学の中では唯一の練習船（勢水丸）を所有し、さらに、2016年12月、全国初の附属鯨類研究センターを設置しました。このように、生物資源学部は「山の頂から海の底まで」の文字通り広大なフィールドを教育・研究の対象とし、自然環境の保全と農林水産業及びその関連産業、すなわち、食料、環境、健康、バイオにかかわる産業振興を担う人材の育成を目指しています。

# 生物資源学科 **新学科** 令和6年度設置

Department of Bioresources

生物資源は、山から海までの広範な地域で生まれ、食料をはじめとして工業原料、エネルギーなど人類にとって有用な財を提供します。その特長は、適切に利用すれば、枯渇することなく、持続的に利用できることです。また生物資源を生産するために良好に管理された環境は、人類が生きていく上でも良好な環境を保つ役割も果たしています。生物資源学部では、このような生物資源の生産と利用、その生産を支える環境の維持に貢献できる能力を身につけることを目指しています。

- 01 山から海までの生物資源に関連する幅広い学問を学ぶことができます。
- 02 地球環境・生態・個体・細胞から分子まで学ぶことができます。
- 03 フィールドサイエンスセンターや練習船での実習などを通じて、広範な視野から学ぶことができます。

既存の組織 \*改組前(令和5年度)

## 生物資源学部

定員  
260名

- 資源循環学科 ……定員70名
  - 農業生物学教育コース
  - 森林資源環境学教育コース
  - グローカル資源利用学教育コース
- 共生環境学科 ……定員70名
  - 地球環境学教育コース
  - 環境情報システム学教育コース
  - 農業土木学教育コース
- 生物圏生命化学科 ……定員80名
  - 生命機能化学教育コース
  - 海洋生命分子化学教育コース
- 海洋生物資源学科 ……定員40名
  - 海洋生物資源学教育コース

新組織 \*改組後(令和6年度設置)

## 生物資源学部生物資源学科

定員  
260名

1年次

2年次～4年次

■ 生物資源総合科学コース  
定員30名

■ 2年次以降は各コースへ  
※生物資源総合科学コース以外の3コースへ配属されます。

■ 農林環境科学コース  
定員110名

■ 農学専修 ■ 森林科学専修  
■ 農業工学専修

■ 海洋生物資源学コース  
定員45名

■ 海洋生物資源学専修

■ 生命化学コース  
定員75名

■ 生命機能化学専修  
■ 海洋生命化学専修

※各コースの定員は配置目安です。

生物資源学部令和6年度改組

## 特色のある取組

農場、演習林、水産実験所からなる紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（FSC）に加え、練習船「勢水丸」、鯨類研究センターといった特色ある教育研究施設があります。これらは、農林水産物、環境など幅広い教育・研究の場として活用されています。

### ■ 農場

持続可能な農業生産を目指した実習教育・研究を実施します。また、作物、施設園芸、果樹、農産加工、畜産に関する多種多様な実習を通じて農業全般を深く理解することができます。

### ■ 演習林

紀伊半島の代表的な自然植生を示した貴重なフィールドです。森林の機能や森林資源の有効利用に関する研究、森林資源の育成・利用・保全に関する実習を行っています。

### ■ 水産実験所

豊かな生態系を有する伊勢湾口部に位置しており、多様な海洋生物を対象とした実習や、資源生態・情報科学・バイオマス利用・海洋教育などの研究を進めています。

### ■ 勢水丸

中部地区の国立大学が所有する唯一の水産・海洋系練習船です。学生たちにとっては、洋上での観測や採集作業を実践することで、講義で学んだ知識を理解する場となっています。加えて、高層気象観測なども行い、様々な教育航海や調査・研究航海などを行っています。

### ■ 鯨類研究センター

鯨類の繁殖、生態、保全に関する研究を水族館や野外にて行うとともに、成果の啓発や、関連研究者間の交流、学生向けプログラム開発を行っています。

## 生物資源学科 ■ 生物資源総合科学コース

生物資源総合科学コースでは低学年次に、農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を学び、生物資源学の幅広い知識や俯瞰的視野、地域を先導する力に関する基礎的素養を身につけます。そして、志望分野を検討中の学生に最適な選択の可能性を提供します。

2年次のコース選択時には、農林環境科学コース・海洋生物資源学コース・生命化学コースのいずれかへ配属されます。



農学専修では、生命農学と社会科学の視点からフードシステムを理解し、食料問題の解決や豊かな環境維持の方策と技術を身につけます。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関わる基礎理論を学び、それらのスマート化に必要な技術を身につけます。



学びの特色

■ 農学専修

育種学・作物学・園芸学・畜産学・植物病理学・昆虫学・生態学といった生命農学への理解を深めつつ、経営学・経済学等の社会科学の視点から俯瞰することにより、生産から消費者までをつなげる流れ、すなわちフードシステムとして農学を学びます。これにより、食料問題の解決や緑豊かな環境を維持し、生物資源を活用する方策や、技術、システムの評価手法を学び応用することを通じて、地域社会から世界へ貢献することを目指します。

■ 森林科学専修

森林は、世界の陸地の30%をおおい、陸上の生物現存量の90%にも達する巨大な生物群集です。地球環境の維持に加えて、生物多様性保全、国土保全、水源かん養などの機能を持ち、その恵みである木材は再生可能で、建築材料、木質材料、バイオマス資源として重要です。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。

■ 農業工学専修

農業工学専修では、多様な生態系、地域社会、食料生産活動が共生する循環型社会の実現に向けて、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関する先端技術の基礎理論を学びながら、それらをスマート化するために必要な技術を身につけます。特に、本専修のカリキュラムの特徴は、地域環境や生物生産現場を対象とした農村・農地・水資源の開発と保全、自然災害対応、システム開発、センシングを行う上で必要となる技術やスキルを実践的に身に付けるところにあります。

特色ある授業

フィールドサイエンスセンター  
農場・演習林実習



農場実習では三重県の温暖な気候を活かし、作物、施設園芸、養液栽培、果樹(温帯果樹、亜熱帯果樹)、農業機械、農産加工、畜産におよぶ様々な内容を実習し、適期の管理や加工法の学理と技術を学びます。演習林実習では、雲出川源流域に広がる天然生林と人工林を活用し、森林資源の計測・保全・育成・有効利用に関する内容を実習し、森林の持つ流域の保全・防災など多面的機能な環境機能を学びます。



STRONG POINTS 農林環境科学コースのここに注目

あなたの知らない「地下部」の世界



関谷 信人 教授 国際資源植物学研究室

私達が目にする植物とは、緑として感じる茎や葉の他に色とりどりの花や果実であることが一般的です。茎・葉・花・果実など、土壌表面より上に配置され、私達が目にするのできる植物の部位全体を地上部と言います。そうです。地下部とは土壌表面より下に配置された主に根を指した言葉です。「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ(相田みつを作)」という詩にある通り、私達が植物の地下部を見たり感じたりする機会は多くありません。それだけに、私達の地下部に関する知識は限られています。一般的に、地下部は物理的に地上部を支え、養分を吸収して地上部へ供給する器官であると理解されています。しかし、ある植物の地下部では、隣接する植物の地下部へ水を供給し、その生育を促進するような灌水能力の存在が確認されています。また、隣接する植物の地下部どうしが糸状菌の菌糸によって連絡し、菌糸を介して養分が授受される現象も観察されています。私達は、植物の地下部のように見たり感じたりすることが難しい動物の性質を解明し、利用するための研究に取り組んでいます。



プランクトンから魚介類・鯨類、藻類などにいたる多様な水生生物について、遺伝子レベルから生態系レベルまでの基礎を学ぶとともに、それらを増やし育てる技術、保全、資源としての持続的利用や流通のあり方を学びます。また、海洋環境やそれに密接にかかわる気候変動・異常気象なども対象とし、海洋における生物と環境との関係を理解し、多様な視点から海洋生物資源について総合的に学びます。

特色ある授業

乗船実習(勢水丸)



調査・観測船に乗船するための知識を得ることを目的として、船内生活や船内諸設備の見学に始まり、気象観測、結索方法、航海機器の理解、航海当直、外洋航行、出入港作業、機関実習などの実習を行います。海洋観測や生物採集、漁労作業のような現場研究活動の第一歩となる実習であり、船という限られた空間での共同生活の中から、自分自身の役割を果たす責任感、集団のルールや協調性などが育まれます。



STRONG POINTS 海洋生物資源学コースのここに注目

海、生産現場に近い教育研究フィールド

松田 浩一 教授 水産実験所

鳥羽市小浜町の漁港のすぐ近くに水産実験所があります。目の前にはマアジやブリが泳ぎ、マナコやマダコが彷徨い、スナメリ等の鯨類が躍動する豊かな生態系を有する海が広がっています。周辺の海域ではアワビやサザエ等を漁獲する海女漁業や日本有数の水揚げを誇るイセエビ漁等様々な漁業が営まれています。このような立地を活かし、充実した海洋教育と、海洋生物や漁業生産を対象とした研究活動を行っています。また、水産実験所がある鳥羽市周辺には大学や国公立の水産研究所、博物館・水族館等海洋に関連した多数の教育研究機関があり、このような機関との共同で海とそこに棲む生物を対象とした教育研究活動ができることも大きなストロングポイントとなっています。





# 生物資源学科 ■ 生命化学コース

生命化学コースでは、多様な生物の代謝・物質・機能の解析を通して、生物の基礎的性質の化学的理解に必要な生命化学に関する幅広い知識と技術について学び、生物資源の持続的生産・利用・保全や人類の健康増進に貢献できる応用力を身につけます。生命化学コースでは2年次前期までに基礎専門科目を学び、2年次後期から生命機能化学専修または海洋生命化学専修に分かれ、各専修に特徴的な専門科目や卒業研究に必要な研究手法の学理と技術について学びます。



## 学びの特色

### ■ 生命機能化学専修

生命機能化学専修では、地球上に生息する多様な生物(動物、植物、微生物など)に関する生理機能および生物が産生する有用物質の構造と機能に関する化学を中心に、食品・健康分野、医療・医薬品分野、環境・エネルギー分野および生物工学分野などに寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。3年次後期から10以上の専門分野に分かれて専門知識・技術を高め、4年次に指導教員のもとで独自の卒業研究に取り組みます。

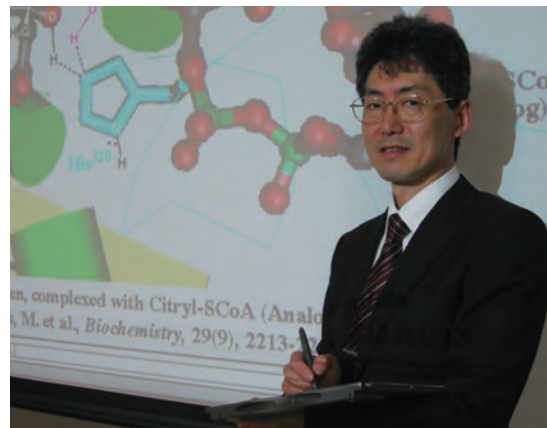
### ■ 海洋生命化学専修

海洋生命化学専修では、多様な海洋生物(魚介類、藻類、海洋微生物など)の生命機能の基礎的性質を化学的に明らかにし、医薬品・食品・化粧品などの原料となる海洋生物資源の有効利用、持続的安定生産、遺伝的多様性の保全に寄与するバイオサイエンスとバイオテクノロジーについて総合的に学びます。3年次後期から8つの専門分野に分かれて専門知識・技術を高め、4年次に指導教員のもとで独自の卒業研究に取り組みます。

## 特色ある授業

### 有機化学I

有機化学反応を電子移動の矢印で書く勉強法で酵素反応を解説する講義。1つ1つの矢印の理由を知ると、酵素のすばらしさ・生物の不思議さが判ると言うものです。独自の講義資料が充実、ペン型マウスで投影画面に書き込んで説明、授業の要点を説明した動画がMoodle(eラーニングシステム)で配信されるなど、学生満足度の高い、手作り型マルチメディア授業です。



## STRONG POINTS 生命化学コースのここに注目

### 海の微生物ハンター

田中 礼士 准教授 海洋微生物学研究室

海水1mlのなかには細菌とよばれる微生物が百万匹もいることをご存知ですか?細菌は目には見えないくらい小さいですが、海洋での分解者として重要な役割を担っています。これらの細菌の多くは培養が困難な未知の世界です。私の仕事は、これまでに報告のない、新しい海洋細菌を見つけ出し、どのような能力を持っているかを調べることです。まさに「微生物ハンティング」です。いま目をつけているのは海藻から新しい化成品やエネルギーを作るための細菌です。また海の無脊椎動物と共生する細菌なども精力的に研究を行っており、これまでに報告例のないイブシロンプロテオバクテリアや、海洋由来スピロヘータなどを発見しています。これらの細菌の培養を成功させるのは、若い諸君です!!



# 将来のVISION 生物資源学部で目指す主な進路

## 進学・就職状況

過去2年間の卒業生の進路  
(学部卒及び大学院修了、全学科分をまとめて記載)

### 公務員

農林水産省、国土交通省中部地方整備局、林野庁、気象庁、国税庁、東海農政局、警察庁中部管区警察署(警察情報通信職員)、近畿農政局、東海農政局、Ministry of Food, Bangladesh, 愛知県庁、京都府庁、三重県庁、静岡県庁、大阪府庁、奈良県庁、福井県庁、兵庫県庁、北海道庁、愛知県庁、和歌山県庁、安城市役所、岡崎市役所、岐阜市役所、津市役所、四日市市役所、豊橋市役所、名古屋市役所、鈴鹿市役所、多治見市役所、刈谷市役所、小牧市役所、豊田市役所、三重県教育委員会、大阪府教育委員会、神奈川県教育委員会、愛知県教育委員会、伊勢市消防本部、三重県視覚障害者支援センター、秋田市大森山動物園 等

### 農林水産業・関連団体

JA(みえ厚生連、あいち知多、愛知経済連、共済連岐阜等)、三重県農業信用協同組合連合会、愛知県土地改良事業団体連合会、マルハニチロ、丸和林業、弓ヶ浜水産、ノベルズ、林牧場、新規就農 等

### 食品・化学

キュービー、ミツカングループ、フジパングループ本社、山崎製パン、敷島製パン、明治、伊藤ハム、プリマハム、万協製菓、ラクト・ジャパン、ミルボン、オリガ油脂、三甲、三水フーズ、大日精化工業、住友化学、伊藤ハム、プリマハム、コカ・コーラボトラーズジャパン、カゴメ、ユーシーシーコーヒープロフェッショナル、アピ、一般財団法人日本食品分析センター、伊藤忠製糖、植屋、太陽化学、ヤマモリ、友栄食品興業、浜乙女、東ハト、有限会社和泉屋、うおいち、片山化学工業研究所、太陽日酸JFP、名古屋製酪(スジャータ)、東海製粉、マルチ産商、明星食品、名城食品、寿がきや食品、全農チキンフーズ、名古屋青果、メニコンネク、カネ美食品、東海漬物、東買(丸忠グループ)、ADEKA、一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC、荒川化学工業、田中食品興業所、エステートケミカル、有限会社二軒茶屋餅角屋本店、マルサンアイ、サントリー知多蒸溜所、豊田合成、天野エンザイム、ユーハイム、木田屋商店、日本曹達 等

### 医薬品・化粧品

一丸ファルコス、ヤンセンファーマ、ニプロファーマ、御木本製薬、東洋ビューティ、サラヤ、大塚製薬、アラクス、栄新薬 等

### 建設・運輸

東海旅客鉄道(JR東海)、東海旅客鉄道 東京本社、LIXIL、NTCコンサルタンツ、丸栄コンクリート工業、みらい建設工業、酒伊組、西口創建、日本土建、りんかい日産

建設、三祐コンサルタンツ、東洋エンジニアリング、川崎地質、スガテック、アジア航測、池畑運送、ディー・エイチ・エル・ジャパン 等

### 機械・電気

日本ガイシ、コネクシオ、タカチカ、アイシン、アドヴィックス、河村電器産業、兼松エレクトロニクス、クボタ、アイシン高丘、マキタ、オークマ、エヌエス環境、松田電機工業所、トヨタ車体、エヌエスディ、ファイナ 等

### 情報・通信

トヨタテクニカルディベロップメント、ジェイアール東日本情報システム、ジール、アビームシステムズ、ドコモCS東海、デンソーテック、セイコーエフソン、エフタス、クオリカ、セブテック・ホールディングス、アイサンテクノロジ、NTTビジネスソリューションズ、アレクシード、リコージャパン、NECソリューションイノベータ、QUICK、電通名鉄コミュニケーションソリューションズ、アイヴィス、ペリサーフ、フジ地中情報、富士ソフト、日本国土開発、アイピーシステム、キオクシア 等

### その他

名古屋大学、三重大学、森林総合研究所、水資源機構、みえ大橋学園 大橋学園高等学校、文化学園 川口西保育園、百五銀行、兵庫県信用農業協同組合連合会(JAバンク兵庫信連)、瀬戸信用金庫、中部電力、富士電機、生活共同組合ユーコープ、産業分析センター、人と動物の共生センター、国際航業、日本特殊陶業、川崎地質、名南経営ソリューションズ、ナリコマエンタープライズ、日本海環境サービス、カネスエ、有限会社コスモス、ナリコマホールディングス、日本工営、内藤建築事務所、アカツキ、カリモックグループ カリモック家具、クラギ、NOK、三瑠グループ、KALBAS、スタッフサービス、三祐コンサルタンツ、ヤマザキマザック、若鈴、ジェイアール西日本伊勢丹、NTCコンサルタンツ、岐阜県土地改良事業団体連合会、東産業、ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン、キナン、富士ゼロックス三重、住友電装、三菱総研DCS、イカリ消毒、EP総合、イビデン、メモリー、明治コンサルタント、玉野総合コンサルタント、津商工会議所、高津製作所、テック/中部、新日本コーポレーション、AHB、天理化学本部、野地木材工業、松阪興産、八神製作所、パーソルR&D、パーク24グループ、Z、ニッコー、近畿海洋、空土、成学社 等

### 大学院進学

三重大学大学院、名古屋大学大学院、北海道大学大学院、筑波大学大学院、帯広畜産大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院、横浜市立大学大学院、奈良大学大学院、京都大学大学院、岐阜大学大学院、東京大学大学院 等

## 大学院で学ぶ

生物資源学のより専門的な知識を習得しながら科学的思考を身につけ、自ら設定した課題に対する解決能力を高め、研究者として独り立ちすることを目指します。生物資源学部卒業生の30-40%が大学院(生物資源学研究科)に進学し研究を続けています。

### 生物資源学研究科の特徴

- 01 博士前期課程(修士)と博士後期課程(博士)を単独で有しているので、キャンパスや大学を移動することなくじっくりと研究に取り組むことができます。
- 02 生物資源を研究するための最先端機器を用いたラボワークと附帯施設におけるフィールドワークで充実した研究生活を送ることができます。
- 03 海外協定校とのダブルディグリープログラムや、連携大学院における最先端かつ実践的な共同研究による学位の取得も可能です。

## 大学院生物資源学研究科

### 資源循環学専攻

生物資源を循環的に利用するための技術の開発や、新しい社会のデザインができる人材を育成し、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指します。食料等の生物遺伝資源とその生産環境を教育研究する農業生物学講座、森林資源とその多様な機能を持続的に利用する方法を教育研究する森林資源環境学講座、社会経済的側面および生産環境技術的側面から生物資源利用を教育研究する国際・地域資源学講座の3講座から構成されています。

### 共生環境学専攻

地球生命圏の環境を理解し保全・修復しつつ、人間活動と生態系が調和する持続的な生物生産システムの構築を目指します。基礎的学問分野である地球科学を対象とする地球環境学講座、生物生産に関する知識を基に情報処理技術を核とした環境情報の計測・制御・システム工学を手段とする環境情報システム工学講座、自然の営みと人間が直接かわる農村や田園を保全し物質循環の場として持続的利用を図る農業土木学講座の3講座から構成されています。

### 生物圏生命科学専攻

生命科学全般に関する基礎的学理と、海洋の資源生物の育成・保全・管理に関わる学問とその実践的教育を通じた修得を目指します。生命現象の仕組みや分子の構造と機能を明らかにし、機能性分子や食品の開発、環境技術などに応用する生命機能化学講座、海洋生物の生命機能を化学的に解明し、海洋の生物資源を有効利用することに資する生命分子化学講座、淡水域を含む水圏の生物を対象として生物の営みを多様なスケールで理解する海洋生物学講座の3つの講座から構成されています。

# VOICE

## 学生からのメッセージ



大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻  
博士前期課程1年(愛知県立旭丘高校出身)

海洋生物資源学では、多様な水棲生物の生理生態やそれらを育む環境、そして私たち人間による保全と利用など水圏に特化した幅広い内容を学びます。中でも様々な生物の解剖や観察、勢水丸に乗船して行う海洋観測や試験操業、三重県で養殖が盛んな真珠の挿核実習など、本学科ならではのユニークな実験・実習が充実しており、知識や技術を実践的に身につけられることは大きな魅力といえます。

私は「海」に対して漠然と興味を抱いてきましたが、大学で専門的に学ぶ中でその興味がより一層深まり、熱中できる研究テーマも見つけることができました。大学は自由にかつ専門的に学べる場所です。是非、好きなことを追究する楽しさや喜びを感じましょう!



資源循環学 森林資源環境学教育コース 4年  
(愛知県立千種高校出身)

自分の所属している生物資源学部資源循環学には農業生物学教育コース、森林資源環境学教育コース、グローバル資源利用学教育コースの3つがあります。自分は森林コースの森林微生物学研究室に所属しており、そこでキノコや土壌に生息する微生物についての研究を行っています。自分はこれまで森林についての知識がないままこのコースに入りましたが、勉強を進めると森林微生物の多様性やその面白さは新鮮で、今取り組んでいる研究もとても楽しいです。

三重大学を受験される皆さんも大学に入るとこれまで知らなかったことがほとんどだと思いますが、その未知を探索する楽しさで研究に打ち込んでもらえたら嬉しいです。ぜひ頑張ってください。



# 大学院 地域イノベーション学研究科

Graduate School of Regional Innovation Studies

## アドミッション・ポリシー

### このような人を求めます

#### 博士前期課程

- 大学学部等で修得した学習内容を幅広く理解し、基礎的な専門知識と外国語力を身につけている人
- 基本的なコミュニケーション力を身につけている人
- 地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲のある人
- 国際的に通用する基礎的研究能力およびプレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を修養する意欲のある人
- 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業の創出や、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人
- 科学技術と社会の変革により、地域の企業や行政において新しい価値を創り出す「地域にゼロから1を創造できる社会起業家(ソーシャル・アントレプレナー)」となる意欲のある人

#### 博士後期課程

- 大学院や実社会等における学習内容や経験を幅広く修得し、高度な専門知識と外国語力を身につけている人
- プレゼンテーション能力等の実践的なコミュニケーション力を身につけている人
- 地域の問題について自ら感じ(感じる力)、問題解決方法を考え(考える力)、社会を発展させる(生きる力)意欲の強い人
- 国際的に通用する基礎的研究能力および外国語によるコミュニケーション力を修養する意欲の強い人
- 多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新事業を創出し、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人

### このような人を 育てます

#### 博士前期課程

専門分野における研究開発や新事業の創出を担当者として遂行できる基礎的研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。

#### 博士後期課程

自立した研究者として国際レベルの研究開発や新事業の創出を責任者として遂行できる高度な研究能力とマネジメント能力を兼ね備えた人を育てます。



大学院 地域イノベーション学研究科  
諏訪部 圭太

地域イノベーション学研究科は、最先端の高度な研究開発能力と共に、新事業の企画・提案力や課題解決力を身につけた「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」及び「ソーシャル・アントレプレナー人材」を育成する文理融合型の研究科です。本研究科では、企業や自治体における課題を解決するプロジェクトを題材とした実践的教育を行う「OPT (On the Project Training) 教育」や、研究開発能力の養成を担当するR&D (Research and Development) 教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するPM (Project Management) 教員が異なる角度から1人の学生を研究指導する「サンドイッチ方式教育」を実践しています。理系・文系を問わず、どの学部の卒業生も入学を歓迎します。

どんな事を学ぶのか

## 2+3年間の学び

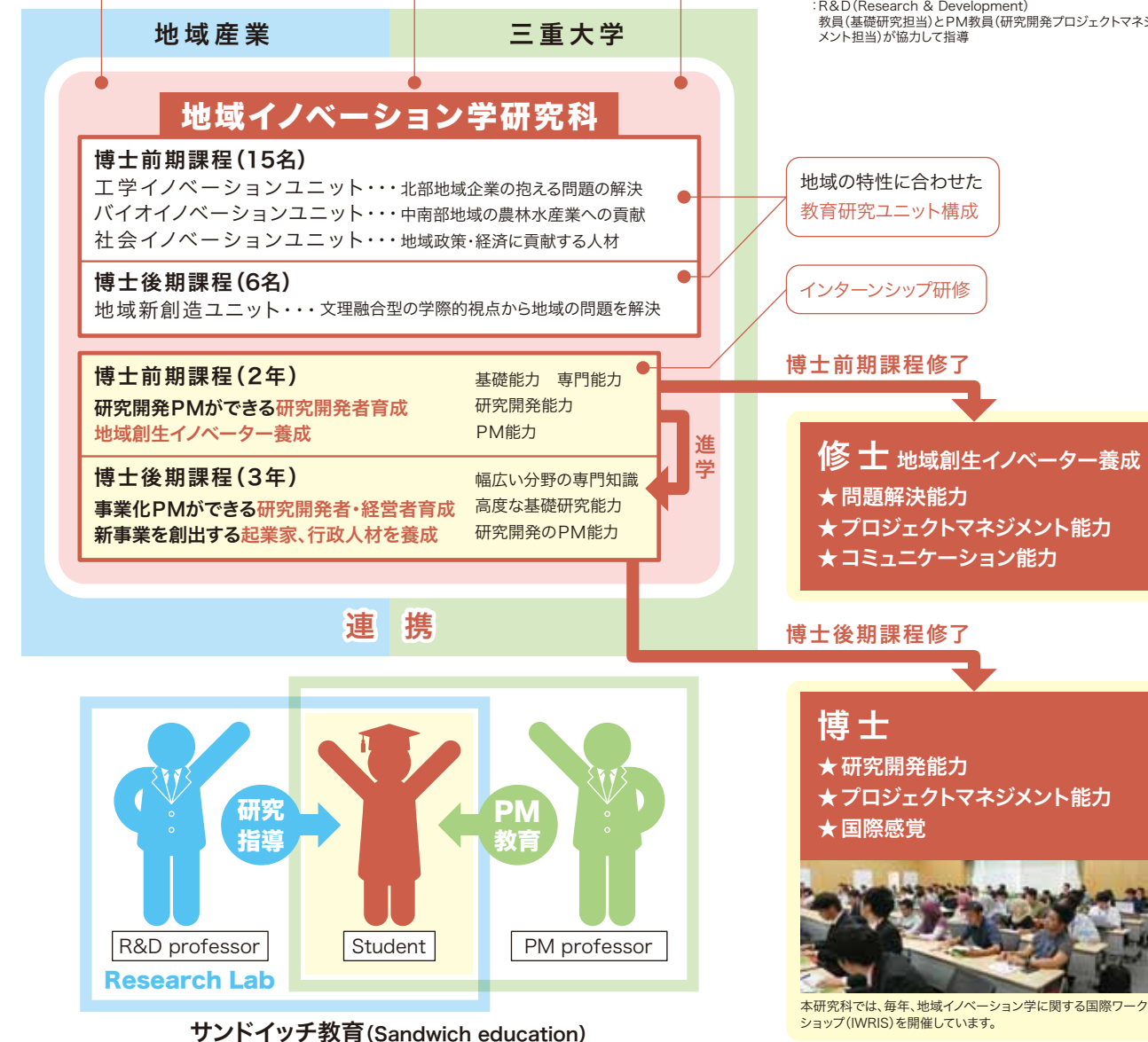
地域や社会との連携を通して実践的な研究開発と  
PM※1(プロジェクトマネジメント)が同時に学べる大学院!

様々な分野の教員や  
学生で構成された  
文理融合型の独立研究科

社会人に優しいシステム  
・昼夜開講・集中講義  
・eラーニング  
・企業内研究の単位認定

教育の特徴は  
OPT型教育※2と  
サンドイッチ方式教育※3

- ※1 PM(Project Management)  
:新事業・新製品の企画から製品化、市場投入までの管理
- ※2 OPT型教育(On the Project Training)  
:企業との共同研究(解決したい問題点)をテーマとした実践教育
- ※3 サンドイッチ方式教育  
:R&D(Research & Development)  
教員(基礎研究担当)とPM教員(研究開発プロジェクトマネジメント担当)が協力して指導



## 学びの特色

### サンドイッチ方式教育

基礎研究能力の養成を担当するResearch & Development (R&D)教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するProject Management (PM)教員が協力して1人の学生を指導するサンドイッチ方式教育により、それぞれの専門分野で活躍する「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成します。

### OPT型教育

産業界で求められる実践的能力の養成のため、地域企業との共同研究プロジェクトを「特別研究」の題材として活用する「On the Project Training(OPT)型教育」を実施します。

### 地域創生イノベーター資格認定

地域から世界に通じる新たなビジネスを創造する人材を「地域創生イノベーター (Regional Revitalization Innovator)」と定義し、博士前期課程に教育コース「地域創生イノベーター養成プログラム」を立ち上げ、RRIを養成します。



# CAMPUS LIFE

\*キャンパスライフ\*



美しい三翠に囲まれた三重大キャンパスでは、四季折々たくさんの行事が繰り広げられます。毎日の講義や実験、実習に加えて、三重大大学ならではの数々のイベントが、あなたの学生生活を豊かに彩ります。



## CAMPUS CALENDER

### 三重大大学のイベント

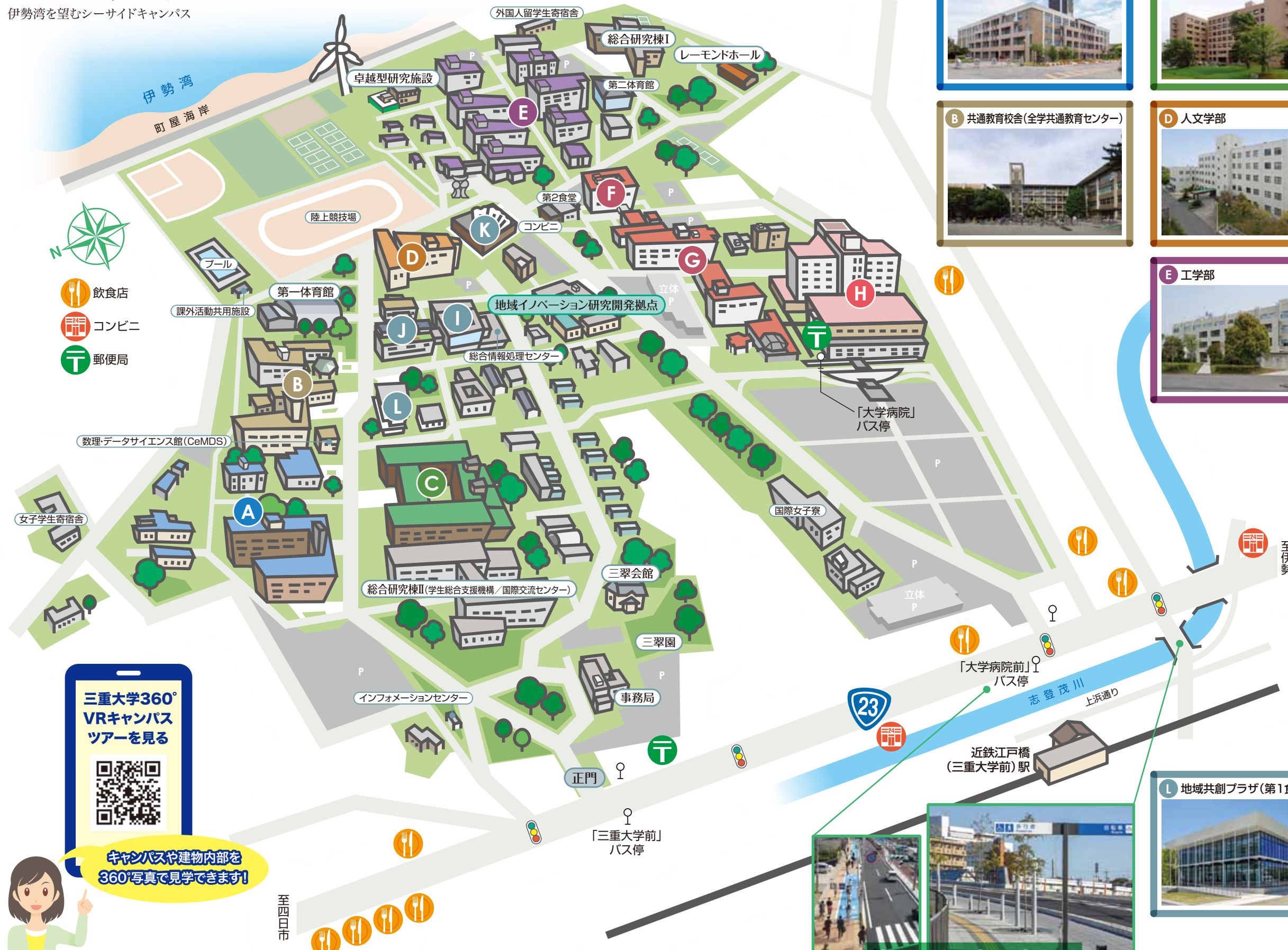
- 4** April
  - 前期授業開始
  - 新入生オリエンテーション
  - 入学式
- 5** May
  - 開学記念日(5月31日)
- 6** June
  - 教育実習
- 7** July
  - 前期定期試験
  - 入学者選抜要項公表
  - 東海地区国立大学体育大会
- 8** August
  - 学校推薦型選抜学生募集要項公表
  - 夏季休業
  - オープンキャンパス
- 9** September
  - 教育実習
  - 大学入学共通テスト受験案内配付
- 10** October
  - 後期授業開始
  - 秋のミニオープンキャンパス
- 11** November
  - 一般選抜募集要項公表
  - 大学祭
- 12** December
  - 冬季休業
  - 東海地区国立大学文化祭
- 1** January
  - 一般選抜(前期・後期)出願受付開始
  - 大学入学共通テスト
- 2** February
  - 後期定期試験
  - 一般選抜(前期日程)
- 3** March
  - 春季休業
  - 学位記授与式
  - 一般選抜(後期日程)



# CAMPUS MAP

## 三重大学上浜キャンパス

伊勢湾を望むシーサイドキャンパス



世界一の環境先進大学を目指すために、環境に関する取り組み等をわかりやすく展示し、環境を学べるコーナー等を設けています。



屋根が貝殻のデザインで入学式や学位記授与式のほかいろいろなイベント会場として利用されています。



CAMPUS ROAD



# AIRSCAPE

空から見た三重大学



## 三重大学生生活協同組合

<https://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/>

本学キャンパス内に、生活協同組合の店舗や食堂があり、学生、院生、教職員の福利厚生施設として、勉強研究や日常生活をサポートしています。

レジ袋の削減にも取り組んでいます。



### 食堂

#### 第1食堂



2023年に新設された地域共創プラザ1階にあるメイン食堂(学食)です。教職員のみならずも利用します。食べたいメニューを決めたらカウンターで注文します。健康バランスを考えた惣菜メニューを多数取り揃えています。また完全セルフでレジ精算も早い唐揚げセットコーナー(クイックレーン)も人気です。毎日11:45から数量限定で販売、「美味しい」「午後の授業に間に合う」と大好評です。朝食・夕食営業もしています。

#### 第2食堂



工学部の西側、三翠ホールと医学部看護学科校舎の間にある平屋の白い建物です。主に医学部・工学部のみなさんが昼食で利用する、セルフサービスのカフェテリア食堂です。健康バランスを考えた惣菜メニューの他、麺メニューも充実しています。コロナ禍では提供中止していたピュッフェメニュー(量り売り)を再開、多くの学生&教職員から好評いただいています。

#### レストラン「ばせお」



翠陵会館2階にある隠れ家的存在のレストランです。第1食堂・第2食堂とは異なる生協オリジナルメニューを提供しています。お財布と時間にちょっと余裕がある方におすすめです。「ばせお」とはスペイン語で散歩の意味です。

### 購買

#### 翠陵店コンビニ

翠陵店は図書館西隣、翠陵会館1階にある複合型のお店です。コンビニフロアではオリジナルの丼・ベーカリーなど様々な食事、菓子や食品、飲料・デザートなどを販売しています。生協で一番営業時間が長いお店です。



#### 翠陵店文具&書籍フロア

大学での学びに必要な文房具や教材、講義やゼミ、研究に必要な専門書や参考書を取り揃えています。授業開講時は教科書を販売します。また自己スキルアップや就活などの書籍も販売しています。



#### 翠陵トラベルキャリア

海外語学留学・海外ホームステイなど海外旅行、国内旅行、自動車学校などの斡旋、公務員講座をはじめ各種検定・資格試験の受付を行っています。



#### 第2購買書籍店

第2食堂内に併設された医学部、工学部向けの店舗です。医学書、工学書をはじめ、講義で使用する聴診器や白衣、製図用品などを取り扱っています。弁当、飲料・デザート、お菓子なども取り扱いしています。



### 組合員センター

#### 共済・保険受付

組合員センターは地域共創プラザ2階にあります。学生総合共済や各種保険の取り扱い、給付申請や申請に関する相談も承ります。



#### 住まい斡旋・アルバイト紹介

三重大生におすすめの住まいを斡旋しています。ご要望にあわせマンション・アパートをご紹介します。またアルバイト紹介では三重大生向けの家庭教師やアルバイトなどを、年間を通じてご紹介しています。





## 学生による 学生支援活動

三重大学では、教職員による学生支援はもちろんのこと、学生のキャリア教育の一環として、学生が主体となって同じ三重大学の学生を支援する取り組みを行っています。教職員が学生に対して行う支援とは異なり、同じ学生という目線だからこその協力、支援の形がそこにはあります。

支援にあたる学生それぞれが目的意識を持っており、様々な活動や経験を通じて、自分だけでなく三重大学に通う学生一人ひとりの学生生活が充実したものになることを目指しています。

学生による学生支援の幅は、新入生や大学生生活に慣れてきた2・3年生、就職活動を控えた4年生、心身に障害を抱える学生など多岐に渡っており、それぞれの活動内容について関心のある学生が諸活動にあたっています。

キャリア教育に関心を持った学生や、支援を受けた経験から支援を行う立場に関心を持った学生が集い、三重大学の学生による学生支援活動の輪は、脈々と受け継がれています。



### ピアサポーター学生委員会

ピアサポーター学生委員会は、学生目線で学生のサポートを行う団体です。「ピア(peer)」は「仲間」を意味しており、ピアサポーター学生委員会では、同じ三重大学に通う学生の大学生生活をより充実させるべく活動しています。新入生の履修や大学生生活について相談を受けつける「なんでも相談」、新入生に大学の敷地を案内する「おさんぽ企画」、たこ焼きを食べながら会話を楽しむ「たこ焼きパーティー」などの大学内を対象とした活動だけでなく、他大学で同様にピアサポート活動を行っている団体との交流なども行っています。

### ACS学生委員会

ACS学生委員会(障害に関する学生委員会)は、障害に関する様々な活動を行っている団体です。最近では、障害の有無にとらわれることなく、生活上の困りごとや苦手を支える活動にも力を入れています。今年度は、三重大にいる人が自由に書き込めるノート「お便りノート」の運営や、新聞「ACSのねえ知ってる?」の発行、カフェサークルLe lienさんとコラボした「手話・筆談カフェ」を開催しました。他にも、ヘルプマークの周知活動や手話の勉強などなど、様々な活動を計画しています。

### 「2つの団体をそばで見守りながら思うこと」

私は普段、「障害学生支援センター」という部署で、障害や疾患等のある学生やそのご家族への支援を行ったり、学生がよりよい大学生生活を送れるよう学内外の教職員・関係機関と連携して環境調整を行う役割を担っています。2つの団体がともに活動拠点としている「ピアサポートルーム」は、私のいる部署のちょうど隣にあります。ピアサポーター学生委員会とACS学生委員会には教員として参加し、そばで活動を見守っています。

教員という立場で参加していますが、両団体ともに所属学生たちが主体的に様々な企画を計画・実行していくため、先生然として関わるよりも「隣人」のような「年上のメンバー」のようなスタンスを意識しながら、活躍する学生たちをそばで支えています。

彼(女)らは、「目の前の相手をサポートする」という私のような公認心理師・臨床心理士とも共通する志向性のもと、日々活動を行っています。その中で培われるコミュニケーション力や相手を思いやる力、考える・感じる・行動する力、そして数えきれないほどの経験や思い出は、学生が社会に出ていく際の貴重な財産になるのだらうなあと思いながら日々見守っています。

学生総合支援機構 障害学生支援センター講師 公認心理師・臨床心理士 **風間 惇希**



## 課外活動

# ACTIVITIES, Clubs & Circles



課外活動は、学生が自主的・自立的に行う正課教育外の諸集団活動です。

大学教育においては、学力の養成と人格の形成をその目的とする授業が重要であることはいうまでもありませんが、同時に課外活動も重要です。広く友を得、先輩や後輩との交流を通じて正課では得られない経験や知識・技能が習得出来るだけでなく、連帯感や協調性を育て、また判断力・創造力等を養う等、本学の教育目的である「感じる力」「考える力」「生きる力」の涵養のためにも果たす役割は大きなものがあります。

本学には多くのクラブ・サークル等が活動していますので、大学生生活を豊かにするためにも積極的に参加し、意義のある学生生活を送ってください。

### 自治会活動

本学には、各学部に学生自治会が組織されています。その目的は、学生の自主的活動によって、より豊かで明るい学生生活を期するところにあります。

大学が学生の自主的活動を認めているのは、学生生活における自立性の涵養、社会性の陶冶あるいは学生相互の啓発等の教育的意義から、学生の人間形成に役立つものであると考えるからです。

学生はこの点を十分理解し、その運営に当たっては、健全にしかも学生の総意が正しく反映されるように積極的に参加するよう期待しています。

### サークル活動

サークル数/加入者数 2022(令和4)年度

	サークル数	加入者数
体育系	72 団体	2,516人
文化系	68 団体	1,567人
計	240 団体	4,077人



ACTIVITIES, Clubs & Circles

課外活動



主要成績・実績 2022(令和4)年度

吹奏楽団

全日本アンサンブルコンテスト全国大会 (2022.3.19)  
●銀賞

剣道部

第69回東海学生剣道選手権大会 (2022.5.15)  
●優勝/男子の部  
第71回東海地区国立大学体育大会剣道競技 (2022.5.28)  
●優勝/男子団体の部  
●第3位/女子団体の部

馬術部

第71回東海地区国立大学体育大会馬術競技 (2022.5.22)  
●優勝

空手道部

第71回東海地区国立大学体育大会空手競技 (2022.6.5)  
●優勝/女子  
●準優勝/男子

弓道部

第71回東海地区国立大学体育大会弓道競技 (2022.6.11)  
●第3位/女子

卓球部

第71回東海地区国立大学体育大会卓球競技 (2022.6.19)  
●優勝/女子

ヨット部

中部学生ヨット個人選手権大会 (2022.6.19)  
●第1位/安・山上  
●第3位/若林・古田

※5位以上は全日本学生ヨット個人選手権大会(9月)に出場

三重大学剣道部



剣道部

活動日/月、火、木、金、土曜日

三重大学剣道部は月・火・木・金曜日の17時～19時、土曜日の9時30分～12時に活動しています。週5も活動していて大変だと思われませんが、毎回強制参加ではないので学業やアルバイトなどと両立可能です!!みんな剣道が好きで、みんなで楽しく剣道をしています!!学生主体の部活なので自主的に練習メニューを考えながら自由にのびのび活動しています。剣道だけでなくイベントもたくさんあります!!個人戦ではインカレ出場(全国大会)、東海地区国立大学体育大会では団体優勝など大会でも良い成績を残せています!!

ぜひ、三重大学に入学して一緒に楽しく剣道しませんか?皆さんとお会いできるのを心よりお待ちしております。

生物資源学部 3年 渡邊 毅



私たちと一緒に空手しませんか?



空手部

活動日/月、火、金曜日18:00~20:30、土曜日10:00~13:00

三重大学全学空手部は現在男子5名女子2名留学生数名で第一体育練習場にて仲良く活動しています。活動日は月火金土曜日ですが、すべて参加する必要はなく部員はいつも好きなペースで参加しています。部自体の流派は松濤館流ですが、様々な流派の部員やフルコン経験者、空手未経験者が在籍しています。筆者も空手未経験ですが黒帯目指して奮闘中です。大会にも出場しており、成績は東国体女子優勝、男子準優勝です。空手は個人競技なので体をめいっぱい動かしたい人や運動不足解消のために少しでも体を動かしたい人など様々な期待に応えられます!初心者・経験者は問わずどんな方でも大歓迎です。

三重大学に合格した際には是非とも空手部へ!  
教育学部 4年 勝村 奏太



初心者大歓迎!ぜひ馬術部へ!



馬術部

活動日/火、水、金、土、日曜日

三重大学馬術部は、創部69年の歴史ある部で、多くの卒業生の指導により充実した環境で活動しています。普段の活動は、大学内にある厩舎・馬場で馬術の練習と馬の手入れを行っており、馬の性格に合わせて、コミュニケーションをとりながら接することを心がけています。馬術は個人競技ではありますが、部員全員で全日本学生馬術大会に向けて切磋琢磨し、練習に励んでいます。練習を重ねて、乗馬しているときに馬との一体感を感じられることが魅力です。馬術部HPに馬の紹介や練習の様子を載せているのでぜひご覧ください。

受験生の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。頑張ってください!

生物資源学部 4年 大門 遼馬



全学卓球部の活動紹介



卓球部

活動日/月、火、木、金、土曜

三重大学全学卓球部は、男子は3部昇格、女子は1部昇格を目標に日々練習に励んでいます。先輩と後輩との関係性や、男子部員と女子部員との関係性も良好で、誰とでも仲良く楽しく部活ができる雰囲気が作られています。県外の大学との練習試合や交流戦も多く、同じ大学の人間だけでなく、ほかの大学の人間とも仲良くなる機会がとても多いです。既存の学生だけでなく、新入生の子たちも熱心に部活動に参加してくれているので、日々の練習がとても賑やかで楽しい雰囲気があります。

三重大学を目指す受験生の皆さんの努力が報われることを切に願っています。受験勉強は大変だと思いますが、後悔のないように、がんばってください!

人文学部 3年 服部 颯太



クラブ・サークル一覧

体育系の課外活動

- 陸上競技部
- 水泳部
- 硬式野球部
- 準硬式野球部
- サッカー部
- ラグビー部
- アメリカンフットボール部
- 馬術部
- 硬式テニス部
- ソフトテニス部
- 男子ハンドボール部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- 卓球部
- ダンス部
- 剣道部
- 空手道部
- 少林寺拳法部
- 合気道部
- ワンダーフォーゲル部
- 自動車部
- 弓道部
- ヨット部
- 端艇部(カッター部)
- トライアスロン部
- 応援団
- ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)
- ロボコンクラブM3RC
- スキューバダイビングサークル
- サイクリングサークル
- 合気道・武の道
- ラインブレイク(釣りサークル)
- カフェ・サークル Le Lien
- NEXT(ストリートダンス)
- 極津(よさこい)
- WILL(テニス)
- Wild Geese(アウトドア)
- 日本拳法部
- 電気自動車研究会
- サバイバルゲームサークル
- Links(ソフトテニス)
- CHASE(硬式テニス)
- サバイバルゲームサークル
- ITFテコンドーサークル
- 競技スキー部
- げつパド(バドミントンサークル)
- MBC(軟式野球)
- HOMESTEAL(軟式野球)
- 蹴る!マッハ(シューマッハ)(サッカー)
- 三重大学モルックサークル つM6る
- 学生フォーミュラチーム(車両製作)
- 自転車競技部
- ユニバド

医学部 体育系

- 医学部サッカー部
- 医学部水泳部
- 医学部陸上競技部
- 医学部ゴルフ部
- 医学部ラグビー部
- 医学部ハンドボール部
- 医学部ソフトテニス部
- 医学部硬式庭球部
- 医学部バスケットボール部
- 医学部バドミントン部
- 医学部バレーボール部
- 医学部卓球部
- 医学部剣道部
- 医学部弓道部
- 医学部空手道部
- 合気道部
- 医学部競技スキー部
- 医学部水泳部
- 医学部山岳部

文化系の課外活動

- 管弦楽団
- 吹奏楽団
- ギターマンドリンクラブ
- 邦楽部
- 室内楽団
- 写真部
- 合唱団
- 美術部
- 軽音楽部
- ピアノ/同好会 KLUB KLAVIER
- 表千家茶道部
- 裏千家茶道部
- TRPG同好会
- 創作活動サークル リカゲル
- 囲碁・将棋部
- HELLO FM!
- 献血推進サークル"ヴァンパイア"
- エレクトーンサークル23-two・three
- 万葉旅行の会
- Bb(音楽サークル)
- かめつぶり(ウミガメ・スナメリ調査)
- 劇団アディスト(演劇)
- ねこサークル
- 天文サークル SOLA
- BBS(教育ボランティア)
- ぶるさあ。(アンサンブルサークル)
- Pioneer(アカペラ)
- アンビシャスカード(マジック)
- 食農サークル 農らく
- てらごや(国際交流サークル)
- Meiku[メイク(地域おこし)]
- つくしんぼサークル(子供ボランティア)
- mil-poa(手芸サークル)
- カフェ・サークル Le Lien
- Bio record(標本作製サークル)
- 計算研究会
- トラッパーズ(狩猟・獣害対策)
- aquri-M(水生生物飼育・展示)
- 三重創生ファンタジスタクラブ
- 忍者部
- ESD-SDGs
- DOT(犬・猫保護)
- 競技かるたサークル
- YouTubeサークル-ぼnds-
- オカルト研究部
- コスメサークル ROUGE
- 銭湯サークル
- 魚食サークルMarisco
- 学生団体FORTUNE
- 教職サークル「ぼーる」
- バーチャルキャンパス(MUVC)
- 哲学研究会
- International Group
- Organicrops

医学部 文化系

- 東洋医学研究会
- 医学部軽音楽部
- Session サークル BAG
- きゅうめい部
- U-cam
- よき医療者をめざす学生研究会
- MIE-Project
- 小児科訪問ボランティアサークルぞくよん
- MUSH(Mie University Students Helper)
- すずみえ(慢性疼痛・多職種連携勉強会)
- 学生国際協力団体 HeartsTree
- しまうま





人文学部文化学科ヨーロッパ・地中海コース3年  
(私立名古屋高校出身)

## 人文学部

### 語学と言語学を学んで

私はドイツ語学(ドイツ語の言語学)を学んでいます。そのために前段階として、日常的にドイツ語の長文を読んで読解のテクニックを学んでいます。その他にドイツ語会話の授業も受講し、会話の面でもドイツ語に触れています。また、私は昨年度まで2年間フランス語を学んだため、3年生になった今も忘れないように授業でフランス映画を見て実際に発音をまねたり、何を言っているか考えたりしています。それによって、文法、リスニング、発音を学んでいます。ネイティブの先生の言語感覚は日本人の先生とは異なるのでおもしろいです。

アルバイトは名古屋のホームセンターで土日や授業が全休の日に行っています。私は学校に通う日と名古屋にずっといる日を分けて集中できるように心がけています。

#### 「三重大」を選んだ理由

私は中学・高校の頃、先生(英語教員)が学生時代に言語学を研究していたことを伺い、その先生方から言語学について学ぶうちに大学でも深く学びたいと思ったため、言語学研究をされている三重大を選びました。

#### MESSAGE

三重大での楽しいキャンパスライフを目標に、受験勉強に励んでください。お待ちしております。

#### \*一日のスケジュール\*

8:00	起床
8:30	家を出る
	通学
10:30	講義
12:00	昼食
13:00	講義
18:10	公務員講座
23:00	帰宅
1:00	就寝

## 教育学部

### いろんな経験ができる大学生活

私は教育に興味があり、三重大の教育学部に入りました。現在は、教科の内容や指導法、教職に関する授業を受けています。また、講義を聴くだけでなく、実習や授業の中で自分自身が授業をしたり、子どもたちと関わったりするなど実践的な活動もすることができます。これらの活動の中で自分のしたいことや、なりたい姿を見つめ直すことができました。

学業のほかに、運動系のサークル活動と2つのアルバイトをしています。それぞれで様々な経験をすることができましたし、学年や学部を超えて交友関係を広げることができたと感じています。

#### 「三重大」を選んだ理由

教育学部で理科を専攻できること、家から通える大学であること。

#### MESSAGE

自分のしたいことができる大学生活を楽しんでください!

#### \*一日のスケジュール\*

8:30	起床
	朝食・準備
9:30	家を出る
	通学
10:30	講義
12:00	昼食
13:00	勉強
15:30	帰宅
	準備
17:30	アルバイト
21:00	帰宅
	自由時間
24:00	就寝

教育学部学校教育教員養成課程理科教育コース4年  
(三重大立松版高校出身)



## LIFESTYLE 三重大生の一日常

## 三重大生の一日常 LIFESTYLE

## 人文学部

### 幅広い学びを

私は財政学ゼミに所属しております。ゼミの活動はまだ始まったばかりですが、経済学への理解をグループによる学習により深めることができ、やりがいを感じています。

講義は現代経済コースに進んだため、経済に関するものを中心的に履修しています。しかし、法律経済学科では、経営学・法学・政治学についても学ぶことができます。これらの講義も受講しています。幅広く学ぶことで、より視野が広がり、多角的に専門分野を考えられます。また、この学科は2年生でゼミとコースを決めます。幅広く学んでから選べるので、自分が本当に学びたいことがどの分野にあたるのかを見極めることができます。

学業以外にも、サークル、部活動、アルバイト、その他興味を持った様々な活動に積極的に参加することで、充実した生活を送っています。

#### 「三重大」を選んだ理由

生まれ育った三重県で学びたかったこと、法律経済学科の幅広く学べる点に惹かれたことが理由です。

#### MESSAGE

時間を大切に、様々な経験をしましょう!

#### \*一日のスケジュール\*

8:00	起床
9:30	家を出る
	通学
10:30	講義
12:00	昼食・休憩
13:00	講義
14:40	ゼミ
19:00	アルバイト
22:00	帰宅
	勉強
	自由時間
24:00	就寝

人文学部法律経済学科現代経済コース3年  
(三重大立津西高校出身)



## 教育学部

### どんどん広がる! 深まる! 大学生活!

私は、家政教育コースで、衣食住・家族・消費生活など多様な分野を学んでいます。家庭科は生活に密着した教科だからこそ、学びながら自分の生活を見つめなおすことができ、充実しています。また、子どもたちにどのように伝えるのかという視点でも考え、先生を目指す意識も維持することができます。

授業以外にも、家政教育コースの学生と先生で輪読会をしています。家庭科に関する専門書を読み、議論することで、新たな知識や考え方を得ることができて面白いです。また、塾講師などのアルバイトでは、実際に子どもたちと関わることができ、良い経験となっています。

まだまだ知らないことや分からないことがあるのだけど、未熟さを感じることも多々あります。しかし、それらに向き合って理解したときには達成感が大きいです。

#### 「三重大」を選んだ理由

出身小・中学校が、三重大教育学部の協力校であったため、よく大学生の皆さんが教育実習に来ていました。小さい頃から三重大に馴染みがあり、夢は先生になることであるため、三重大教育学部を選びました。

#### MESSAGE

三重大でたくさんの人々と関わり、たくさんの経験をし、充実した大学生活を送りましょう!

#### \*一日のスケジュール\*

6:00	起床
	勉強・朝食・準備
8:10	家を出る
	通学
8:50	講義
12:00	昼食
13:00	講義
16:40	帰宅
	勉強・夕食・準備
19:00	アルバイト
22:00	帰宅
	勉強・自由時間
24:00	就寝

教育学部学校教育教員養成課程家政教育コース3年  
(三重大立津西高校出身)







医学部医学科 2年  
(東京都立西高校出身)

## 医学部医学科 充実した大学生活

部活は医学部陸上部に入っています。勉強との両立が不安で、義務練が週1しかない陸上部に入りましたが、勉強自体は思っていたより忙しくなく、週3である自主練にもたまに参加しています。部活自体も楽しいのですが、練習後に行く部飯は美味しいご飯も食べられるし、先輩方と仲良くなれるので毎回それが楽しみで部活頑張っています(笑)。

アルバイトは、塾の個別指導を週2、婚礼や宴会の配膳を週1、たまに試験監督もやっています。様々なバイトがあるので、大学生のうちにいろんなバイトをやってみたいなと思っています!

バイトをしてお金を貯めて旅行に行ったり、部活に熱をそそいだり、自分のやりたいことを好きにだけできるので毎日が充実していて楽しいです。

### 「三重大」を選んだ理由

共通テストの成績で受かる可能性があったから。三重の病院で高校生の時に実習をさせていただいたから。

### MESSAGE

今は勉強が大変だと思いますがちょっと辛抱すれば、自由に楽しい大学生活が待っています! がんばれ!

### \*一日のスケジュール\*

7:30	起床
	朝食・準備
8:30	家を出る
	通学
8:50	講義
12:00	昼食
13:00	講義
18:00	部活(+部飯) or アルバイト
22:00	帰宅
24:30	就寝

## 工学部

## 三重大で様々な経験を

私は交通機械に興味があったので、大学では機械工学を専攻しています。授業内容は決して簡単ではありませんが、今まで学んできた数学や物理が身近な機械や現象と結びついていくので、やりがいを感じます。

学業の他には、サークル活動に力を入れています。私はカフェサークルに所属しており、コーヒーを淹れる練習をしています。また、学祭に向けて仲間たちとレシピを研究したり、学外のイベントでコーヒーを提供したりと、講義だけでは得ることのできない貴重な経験が出来ること、サークル活動の魅力だと思います。

大学生の間は、積極的に活動することで様々な体験が出来ます。海が近く緑も溢れる三重大で、素敵な大学生活を送ってみませんか?

### 「三重大」を選んだ理由

三重大は全学部が同一キャンパス内にあるので、様々な学部の学生と交流することが出来る点が魅力的だと思います。

### MESSAGE

一緒に楽しいキャンパスライフを送りましょう!

### \*一日のスケジュール\*

8:00	起床
	朝の支度
9:15	家を出る
	通学
9:35	講義
12:00	昼食
13:00	勉強
	空きコマ
15:20	講義
18:00	夕食
18:30	サークル活動
22:00	帰宅
24:00	就寝



工学部総合工学科機械工学コース 2年  
(名古屋市立菊里高校出身)

## 三重大生の一日 LIFESTYLE

## 三重大生の一日 LIFESTYLE



医学部看護学科 4年  
(三重県立四日市南高校出身)

## 医学部看護学科

## 充実したキャンパスライフ

私は、基礎看護学の研究室(ゼミ)に所属しており、せん妄とリスク因子の関連について調べています。ゼミでは、論文での勉強や、データの分析を行っています。先生や同じゼミのメンバーと話し合いながら、自分の興味のある分野について詳しく調べることはとても楽しいです。

学業のほかには、アルバイトをしています。実習期間以外は、週に3~5日程度アルバイトをしています。看護学科はとても忙しいイメージがあるかもしれませんが、学業とアルバイトの両立も可能ですし、サークルや自分の好きなことに時間を使うこともできます。学業に力を入れることはもちろんですが、それ以外にもいろんなことに挑戦してほしいです。全ての経験は、自分の学びに繋がっていきます!

### 「三重大」を選んだ理由

生まれ育った三重県の大学で看護を学びたいと思ったこと、附属病院で実習をできることが魅力的だったので、三重大を選びました。

### MESSAGE

三重大で一緒に充実したキャンパスライフを送りましょう!

### \*一日のスケジュール\*

7:30	起床
	朝食・準備
8:30	家を出る
	通学
10:00	大学到着
	ゼミ
12:00	昼食
	勉強
14:00	大学を出る
16:00	アルバイト
21:30	帰宅
	夕食・自由時間
24:00	就寝

## 工学部

## 充実した大学生活

私は幼少期から図画工作が得意で、その能力が活かせるのではないかと考え、本学の建築学コースに入学しました。大学では、建築設計、構造力学、建築史、都市環境などを学んでいます。

本学の優れた点は、充実した学習環境にあります。製図室には一人一人の作業机が確保されており、みんなで夜遅くまで(時には明け方まで)残って、一緒に設計課題に取り組むことができます。締め切り前は寝る間も惜しんで課題に打ち込む必要がありますが、仲間と励まし合いながらの作業には、苦労を上回る喜びがあります。納得のいく設計案を完成させたときには、大きな達成感や満足感を得ることができます。

入学後、大阪の実家を離れて学生寮で一人暮らしを始めたので、最初は心細く感じていました。しかし寮やサークルの仲間と交流するうちに、だんだん自活する自信ができました。週4回ほどアルバイトをしていますが、学業との両立に苦労することはありません。設計課題の合間には、友達と一緒に建築巡りをしたり、おしゃれなカフェを開拓したりしていますが、これも建築設計のヒントになっています。この上なく充実した大学生活を送ることができているので、本学の建築学コースに入学して本当に良かったと思っています。

### 「三重大」を選んだ理由

総合大学で文系・理系さまざまな人と交流をもてると思ったから。海に近い広大なキャンパスでのびのびと学習できる環境であることも魅力。専攻したい建築学コースがあったことが決め手。

### MESSAGE

自然あふれる三重大では、のびのびと充実した学生生活を送ることができます。三重大のキャンパスで、みなさんとお会いできる日を心待ちにしています。

### \*一日のスケジュール\*

6:00	起床・支度
6:30	家を出る
7:00	アルバイト
12:20	帰宅
	昼休憩・準備
13:00	講義
18:00	帰宅
	夕食・家事
20:00	課題
	or 自由時間
24:00	就寝



工学部総合工学科建築学コース 3年  
(大阪府立大手前高校出身)





生物資源学部共生環境学科農業土木学コース2年  
(愛知県立昭和高校出身)

生物資源学部

今しかできないことへの挑戦

普通の授業は基礎水理学や土壌物理学などほとんど物理系です。私の学科は物理系なのですが、高校生まで生物を学んでいたため、日々の授業に追い付くのに精一杯です。周りの子に追いつけるよう通学時間や家で物理を自習しています。  
また、授業の中で実習が多く、レポートを書く機会が多いので大変ですが、とても自分のためになるなとすごく感じます。  
実習は農場実習や測量学実習など、普段の生活では触れることのできない、面白い授業が多くあります。  
通学に往復4時間以上かかるので、通学中に授業の予習や課題などをなるべく行い、時間を有効に活用するようにしています。  
アルバイトは週3日ほど入っています。課題はなるべく平日に終わらせて土日にアルバイトやお出かけをするようにしています。  
せっかく家から離れた三重県の大学に通っているのに、今しかできないことをしたいと思い、最近は色々なことに挑戦しています。例えば、友人のサークルの手伝いでボランティア活動を行ったり、地域活性化のプロジェクトに参加したりしています。三重県は、受験しなければ来ることのなかった場所であるので、2年生になり、少し時間に余裕ができてきたので、これからは後悔なく、積極的に挑戦したいと思っています。

\*一日のスケジュール\*

5:30	起床
	朝食・準備
6:15	家を出る
	通学
8:50	講義
12:00	昼食
13:00	講義
17:30	アルバイト
22:30	帰宅
23:00	夕食
23:30	課題
24:00	就寝

「三重大学」を選んだ理由

家から通える距離で、生物や環境が学べる学部があるためです。実際に学科を選んだ際には、地球環境や情報、土壌生態学など様々な分野への可能性を秘めた共生環境学科に惹かれ、選びました。思ったよりも学科内のみでも様々な学習ができ、入ってよかったなと思います。

MESSAGE

三重大学は、緑が多く、海に近いといったレアな環境に触れられます。とても環境の良い大学であるので楽しみにしてください！

三重大生の一日常 LIFESTYLE



生物資源学部生物圏生命化学科2年  
(三重県立津高校出身)

生物資源学部

ずっと好きなことを追求しよう

1年生の時は高校の勉強の延長のような基礎的な講義がほとんどです。2年生になってからは生物や化学についての講義が中心となります。大学では様々な視点から物事を学ぶため、より深く知ることができます。私は美術部に所属しており、週に1度集まりクロッキー等を行っています。今まで美術部に所属したことがなく、家で描いたことしかなかったため、誰かと一緒に描くことが新鮮で楽しいです。家では課題やレポートの作成をします。また趣味の料理や絵の制作、自分が興味を持っていることについての勉強をしています。アルバイトは1年生の秋ごろから始め、週に1、2回程度働いています。高校生の時よりも自由に使える時間が増え、習い事も続けられています。

\*一日のスケジュール\*

6:30	起床
	朝の支度
7:45	家を出る
	通学
8:50	講義
12:00	昼食
13:00	実験
16:20	講義
18:00	部活動
19:30	帰宅
	勉強
	明日の準備
23:30	就寝

「三重大学」を選んだ理由

興味のある研究を三重大学でしているとテレビで放送されており、小学生のころから三重大学に行って研究してみたいと思っていたからです。また家から近く周りに三重大学に関わりのある人も多かったため、とても身近な存在だったことも理由の一つです。

MESSAGE

自分が本当に好きなことを大切にしてください。





# 三重大学の学生支援システム

三重大学に入り学生生活を送る上で、勉学上、健康上及び経済上等、さまざまな問題が発生する場合があります。本学では学生が快適な学生生活を過ごせるよう種々の支援を行っています。

## 学生総合支援機構

本学学生の修学、就職、生活及び健康等への支援体制を充実し、快適な学生生活の実現を図ることを目的として、「学生総合支援機構」が設置されています。

学生総合支援機構は、①学生支援の総合的推進、②機構内各センター（修学支援センター、キャリアセンター、学生活動センター、学生相談センター（学生なんでも相談室）、障害学生支援センター）間の連携・調整、③その他学生の支援に関する業務を行っています。

### 修学支援センター

修学支援センターは、全学的な立場から、皆さんの学生生活の充実を支援します。具体的には以下のような業務を行っています。

- ◎奨学金、入学料及び授業料の免除等、経済援助に関すること。
- ◎学生寄宿舎に関すること。
- ◎学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険に関すること。
- ◎その他、学生の生活支援に関すること。

### キャリアセンター

キャリアセンターは、学生が低学年から主体的に進路選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ、就職支援等を推進することを目的として設置されています。

キャリア教育については、学生自らが人生の在り方を考え、また、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にするために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。

インターンシップについては、自らの職業適性や将来設計について考える機会を提供するため、学生が企業等で就業体験することをサポートします。

就職支援については、就職ガイダンス、学内企業説明会、就職情報の提供、キャリアカウンセラーによる就職相談等を行っています。

### 学生活動センター

学生活動センターは、学生の課外活動及び学生生活に係る以下の支援を行っています。

- ◎クラブ・サークル活動やボランティアなど学生の多様な課外活動を支援しています。
- ◎ピア・サポーター学生委員会及びACS学生委員会（障害に関する学生委員会）等の学生団体の活動を支援しています。

※ACSとは、「Accessibility and Communication Supporter」の略称です。

- ◎課外活動施設や福利厚生施設の利用に係る支援をしています。

その他学生の生活支援だけでなく、学生を取り巻くトラブルに本学学生が巻き込まれないための注意喚起等（薬物乱用禁止、SNSの利用や架空請求等）も行っています。

### 学生相談センター （学生なんでも相談室）

学生相談センター（学生なんでも相談室）は、学生生活の中で困ったことや、わからないことが起きた時に気軽に相談できる場所です。学業・友人関係・将来の進路・健康のこと・日常生活の問題など、どんな相談でも受け付けており、スタッフと一緒に解決策を考えていくことができます。長い大学生活の中では、一人で考えてうまくいかないこと、友達には相談しづらいこと、友達と相談しても解決できないことがたくさん出てくるでしょう。そんな場合には、お気軽に相談室をご利用いただけます。

また、在学中のお子様に関する保護者からのご相談も承っています。

### 障害学生支援センター

障害学生支援センターは、障害のある学生の高等教育機関への進学に対し、以下の支援を行っています。

- ◎障害学生支援に携わる教員が相談を承り、学部教員との連携のもと、授業等への支援を行っています。
- ◎学外から講師を招き、障害についての理解や、具体的な支援の在り方などを学ぶ研修会を開催しています。
- ◎さまざまな障害のある方々の理解と支援について、実践的な授業を開講しています。

障害学生支援センターでは、障害のある学生をサポートする学生への支援（ACS学生委員会）や、障害学生支援を展開する全国の大学との連携を進める中で、学生が互いに学び合い、それぞれのキャリアに活かせるような取り組みを目指しています。

## 保健管理センター

■ 場所 / 総合研究棟II 1階 ■ 開室日 / 月曜日～金曜日（休日を除く） ■ 時間 / 9:00～17:00

保健管理センターは、保健に関する専門的業務を行うところです。皆さんの健康の保持増進を図ることを目的として、医師・保健師・看護師及び心理カウンセラー（公認心理師）が、専門的な立場から【こころ】と【からだ】両面の相談に応じています。

こころとからだの異常や病気の相談、また悩みや不安等、気軽に話し合える場所として利用してください。また、定期及び臨時の健康診断、応急処置、各種の医学的検査、その他心身の健康の保持増進について必要な指導及び検査研究、健康診断証明書の発行等を行っています。

# 支援方針

三重大学では、「学生支援の基本方針」・「キャリア教育方針」・「障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。

## 学生支援の基本方針

### SUPPORT 1 教育目標の実現に向けた学生支援

三重大学では、「幅広い教養を身につけるとともに高度な専門知識や技術を有し、国際的な視野を持ち、社会のイノベーションを推進できる人材を育成する」という教育目標を実現するために、必要とされる学生支援を全学で取り組む。

### SUPPORT 2 安心・充実の学生生活の実現に向けた学生支援

全ての学生が入学から卒業まで、安心かつ充実した大学生活を送ることができるよう、教職員および学生が共に協力し、学生支援の活動を行う。

### SUPPORT 3 相談体制の充実と課題の解決に向けた学生支援

学生が抱える修学上の課題や進路・就職に関する課題、その他大学生活を通じて生じる様々な課題について、いつでも相談できる体制を充実させ、全学組織および各部署が連携して、課題の解決に向けた学生支援に取り組む。

### SUPPORT 4 全学の支援体制整備と連携を通じた学生支援

学生支援体制のさらなる充実のために、「学生総合支援機構」内に設置されている「修学支援センター」、「キャリアセンター」、「学生活動センター」、「学生相談センター（学生なんでも相談室）」、「障害学生支援センター」や、「保健管理センター」、「国際交流センター」、その他学内諸施設等は、相互に連携を図るとともに、各部署との連携を強化しつつ、学生に対する多面的な支援を実現する。

### SUPPORT 5 学生自身の活動を通じた学生支援

学生自身による学生支援の取り組みを積極的に奨励し、ピア・サポート活動や学生団体の活動の活性化、課外活動の充実を図る。

「キャリア教育方針」・「障害のある学生の支援に関する基本方針」については、三重大学ウェブページをご確認ください。

## キャリア教育方針

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/life/career/career-policy.html>



## 障害のある学生の支援に関する基本方針

URL : <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>





## 学生寄宿舎

三重大学には、3つの学生寄宿舎があります。入寮の募集等は、掲示板、三重大学ホームページ等で随時お知らせします。  
なお、入学予定者への募集人数及び申請期間等の詳細は、入学試験合格者へ大学から郵送する「入学手続要項」においてご案内します。



### 男子寮(安濃津)

- ◆所在地/津市栗真中山町166番地
- ◆建物/【構造】鉄筋コンクリート 4階  
【面積】3,851㎡
- ◆収容人数/109人
- ◆居室/【1室】1名  
【面積】14㎡
- ◆寄宿料/8,000円  
(食堂無し・補食室有り)
- ◆その他/徒歩15分



### 女子寮(清和)

- ◆所在地/津市栗真町屋町字中新畑561番地
- ◆建物/【構造】鉄筋コンクリート 3階  
【面積】1,245㎡
- ◆収容人数/60人
- ◆居室/【1室】1名  
【面積】9㎡
- ◆寄宿料/7,100円(食堂無し・補食室有り)
- ◆その他/徒歩3分
- ◆3年次に国際女子寮へ転寮していただきます。



### 国際女子寮(碧海)

- ◆所在地/津市江戸橋2丁目174番地
- ◆建物/【構造】鉄筋コンクリート 4階  
【面積】2,137㎡
- ◆収容人数/75人
- ◆居室/【1室】1名  
【面積】13㎡
- ◆寄宿料/5,900円(食堂無し・補食室有り)
- ◆その他/キャンパス内



### 国際女子寮留学生サポーター

国際女子寮で生活する留学生を手助ける「留学生サポーター」がいます。入寮条件は、三重大学に在学している女子学生で、日本語と英語が話せる学生であれば学部生、院生、国籍は問いません。

こんな方はぜひご応募ください!

- ◎英語力には自信はないが、留学生の助けとなる活動がしたい
- ◎自分の研究時間も確保でき、英語も活かして留学生と交流したい
- ◎三重県内に住んでいるが、寮で暮らし留学生と交流がしたい

## アパート・マンション

アパート・マンション等の案内は、三重大学生活協同組合が年間を通して幹旋しています。

多くがキャンパス周辺にあり、現地まで案内をしています。  
部屋の設備は風呂、トイレ、キッチン、エアコン、インターネット対応等を完備した物件が大半を占めています。

<https://www.univcoop-tokai.jp/mucoop/>

種類	6帖	8帖~10帖
アパート	15,000円~	20,000円~
マンション	20,000円~	25,000円~
オートロック	35,000円~	37,000円~

※なお、この料金の他に共益費・水道光熱費などが必要です。

## 学生納付金

全学部	入 学 料		282,000円
	授 業 料	前 期	267,900円
		後 期	267,900円

\*本学では、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落としとして納付する方法(預金口座振替)を導入しています。  
この方法は、電気・ガス等公共料金の支払いに広く利用されており、本学指定の取扱銀行が、授業料を学生または保護者(保証人)名義の預金口座から引き落としとして大学へ納付する仕組みです。

## 奨学金・授業料等減免制度

### I 高等教育の修学支援新制度

令和2年度より開始された給付型奨学金と授業料等減免の2つの支援が受けられる制度です。

支援の内容	支援の対象	申請手続き
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業料等の減免 (授業料と入学料の免除又は減額)</li> <li>● 給付型奨学金 (返還が不要な奨学金)</li> </ul>	勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が、経済的理由により修学をあきらめることがないように、国が経済的な支援を行う制度です。本学もこの制度の対象校として認定され、令和2年度から実施しています。	大学進学前に在籍している高等学校より募集案内がありますので、詳しくは高等学校へお問い合わせください。採用候補者として決定された場合、大学進学決定後に進学届の提出及び授業料・入学料の免除申請が必要になります。

### II 日本学生支援機構貸与型奨学金

奨学金の種類	第一種奨学金		第二種奨学金
	特 徴	① 貸与奨学金 ※給付ではないので、卒業後に分割して返還します	② 無利子 ※貸与総額のみを返還
	③ 貸与月額は通学形態別に選択	④ 家計基準は二種より厳しい	④ 貸与月額を選択できます(貸与開始後に月額の変更も可能)
	④ 家計基準は二種より厳しい	⑤ 学力は高校評定値が3.5以上必要	⑤ 家計基準は一種より緩やか
	⑤ 学力は高校評定値が3.5以上必要		⑤ 学力基準は一種より緩やか
奨学金の月額※1	学部生	自宅通学 20,000円、30,000円、45,000円から選択 自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円から選択	2万円~12万円(1万円単位)から選択
	大学院生	修士・博士前期 50,000円、88,000円から選択 博士後期・博士医 80,000円、122,000円から選択	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択
貸与始期	学部生 4月から 大学院生 4月から		4月~9月の間で希望する月から
貸 与 方 法	申込時に指定した金融機関口座へ毎月11日頃に振り込まれます		

※1: 第一種奨学金と給付型奨学金を一緒に受ける場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

**入学時特別増額貸与** 上記何れかの奨学金貸与を受ける新入生(編入学者を含む)は、一定の条件を満たす場合に限り、希望により、奨学金の初回振込時に入学時特別増額(10万、20万、30万、40万、50万円から選択)(有利子)の貸与を受けることができます。

### III 三重大学独自の奨学金

#### 看護学生奨学金制度について

対 象 者: 医学部看護学科(看護師等養成施設)に在学中の方で、免許取得後、本学医学部附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する方(2年生以上)

貸 与 額: 月額50,000円

貸 付 期 間: 貸与を決定された年度の4月から卒業する月まで

返 還 の 免 除: 卒業後、看護師・助産師の免許を取得され、本院に採用となり、一定期間勤務されたときは奨学金の返還が免除

【問い合わせ先】 TEL 059-231-5046  
<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/nurse/recruit/scholar/>

#### 渡邊文二奨学金について

対 象 者: 生物資源学部3年次の学生で経済的理由により、就学が困難である者  
将来、三重県内で畜産、食品、水産および農業の事業に携わる見込みがある者

給 付 年 額: 480,000円

給 付 期 間: 2年間

返 還 の 免 除: 本奨学金制度の特徴として返還の必要がなく、2年間にわたり給付されます。また、他の奨学金団体から給付を受けている場合(応募している場合)でも応募できます。

【問い合わせ先】 TEL 059-231-9673  
E-mail bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

### IV その他の奨学金(地方公共団体や民間団体等の奨学金)

I~IIIの制度の他、地方公共団体や民間団体等の奨学金もあります。これらの奨学金募集は、大学を通して募集を行うものと、団体が直接募集するものがありますが、大学へ募集案内が届いたものについては、大学HPや掲示にてお知らせしています。募集時期は4~5月に集中しており、学業成績優秀で経済的に修学が困難な者を対象とした貸与型奨学金が多い状況です。申請を希望する学生は、修学支援センターにご相談ください。

また、大学に個別に募集案内が来ない奨学金もあり、出身地の教育委員会等が直接奨学金を募集しているものもあります。



国際交流のHPはこちら→



## INTERNATIONAL RELATIONS

大学間協定  
締結校 **67**校  
(2023.4.1)

学部間協定  
締結校 **44**校  
(2023.4.1)

留学生  
36ヶ国・地域から  
**261**名  
(2023.5.1)

国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005(平成17)年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。外国人留学生のための日本語教育、日本人学生のための英語による国際教育の他、海外の学術交流協定校と連携して、学生の派遣・受入や国際共同研究を行っています。



### 学生海外チャレンジ応援事業

学生海外チャレンジ応援事業とは、世界に飛び出して学業の達成のための活動にチャレンジする学生の思いを応援する三重大学独自の学生支援事業で、2022年度にパイロット事業として行われました。採用された5名の学生は本事業による奨学金を受給し、それぞれが米国、インドネシア、オーストラリアへの渡航を実現させました。好評を受けて2023年度はさらに企画の自由度と派遣規模を拡大して実施することが決定しています。



### 交換留学インタビュー

人文学部文化学科 3年

#### 留学先について

大学名: Universität Heidelberg  
(ハイデルベルク大学)  
場所: パーデン=ヴェルテンベルク州  
(ドイツの南西)

#### 留学しようと思ったきっかけ

国際交流に関心があったこと、高校の世界史の授業から留学したいと考えていて、学部の西洋地中海コースを希望しており、特に文化・芸術を現地で学びたかったからです。

#### 留学先を選んだ理由

ドイツ語を勉強したかったこと、ちょうどドイツのハイデルベルク大学の学内募集があったことです。ハイデルベルクは留学生が多いことで有名で、国際交流が好きな自分に合っていると感じて決めました。

#### 留学先で困ったこと

言語の壁や、病院での診察の受け方です。言語は、現地の学生と言語交換をしてとにかく練習しました。病院については、留学先の病院や健康保険の仕組みを事前によく調べることをお勧めします。

#### 留学を通じて学んだこと・経験したこと

語学の成長もですが、人としての成長を特に感じています。今までの環境では同じ生い立ちやキャリアを持つ人が多かったのですが、実に多様な人たちと出会って視野が広がったと感じています。

#### 三重大と留学先の大学のギャップ

大きな広い講義室でも先生に質問や意見をしていて、勉強に対して積極的な学生の姿勢に刺激を受けました。また、大学図書館が深夜まで開いていて、長い時間勉強できることがとてもよかったです。

#### 留学を考えている学生に一言

私たち大学生はしたいことを存分に挑戦できる期間限定の身分です。留学に行く前の迷う自分に声をかけるなら、「行って後悔はしないよ」と言うと思います。留学での思い出や経験、学びは計り知れません。迷っていたらぜひ留学にチャレンジしてほしいです。



### Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム

Tri-U 国際ジョイント&シンポジウムは、三重大学(日本)、チェンマイ大学(タイ)、江蘇大学(中国)、IPB 大学(インドネシア)、廣西大学(中国)、メージョー大学(タイ)の6大学が交代でホスト校を務め、毎年開催される研究論文発表を中心とした国際交流プログラムです。例年アジアの10数大学が集まり、英語での研究発表会やワークショップを行います。

2022年度はIPB大学にてハイブリッド形式で開催され、三重大学はオンラインで参加しました。2023年度はメージョー大学が主催となっています。



2019年度(第26回)Tri-U 江蘇大学開催



2022年度 Tri-Uオンラインイベント

### 国立ワイカト大学(ニュージーランド)語学研修

本学協定校の国立ワイカト大学での英語研修及び異文化交流ができるプログラムです。レベル分けされたクラスで、日本では体験できないユニークな授業が受けられます。滞在はホームステイで日本人が各家庭に1人しかいないため、生きた英語が学べます。週1回、現地の大学生と交流ができるEnglish clubも好評です。

### タチ大学(マレーシア)英語研修

本学協定校のマレーシア・タチ大学での研修プログラムです。教室で行われる授業より、街に出て様々な異文化交流を通して英語を学んでいきます。必ず現地の大学生が同行するので、常に英語の環境で過ごせるのが魅力的です。リアルな英語でのコミュニケーション力が身に付きます。



### 海外フィールドスタディ

海外フィールドスタディは、本学の協定校であるホーチミン市師範大学(ベトナム)または中国の大学にて、現地の学生と共に、互いの文化や言葉について学び、興味を持ったテーマについてフィールド調査を行い、異文化について理解を深めるプログラムです。2022年度より共通教育科目として単位が取得できるようになりました。



### 三重大学主催の海外研修プログラム

	プログラム名	研修場所	国名
全学対象	Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム	三重大学、チェンマイ大学、江蘇大学、IPB大学、廣西大学、メージョー大学が交代で開催	日本、タイ、中国、インドネシア
	タチ大学夏期英語研修(8月)・タチ大学春期英語研修(3月)	タチ大学	マレーシア
	サマースクール(語学研修・水産実習)	マレーシアアトレンガヌ大学	マレーシア
	海外フィールドスタディ	ホーチミン市師範大学	ベトナム・中国
	北京外国語大学フィールドスタディ	北京外国語大学	中国
各局	国立ワイカト大学語学研修	ニュージーランド	ニュージーランド
	サウスカロライナ大学語学研修	サウスカロライナ大学	アメリカ
	オックスフォード大学夏期英語研修(人文学部)	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	イギリス
	海外教育研修(教育学部)	オークランド大学教育・福祉学部、台湾の教育機関等	ニュージーランド、台湾
	海外臨床実習、早期海外体験実習(医学部・医学系研究科)	医 学 科: シャルジャ大学、タマサート大学、フィリピン大学、ムンビリ大学、アムリタ大学、カーディフ大学、ザンビア大学 看護学科: チェンマイ大学、フライブルク応用科学カトリック大学 等	医 学 科: アラブ首長国連邦、タイ、フィリピン、タンザニア、インド、イギリス、ザンビア 看護学科: タイ、ドイツ他
海外短期インターンシップ(工学部・工学研究科)	海外の日本企業	未定	

※本学で提供しているプログラムです(一部未実施あり)。年度によりプログラム内容が異なることがあります。



## CAREER SUPPORT

万全のサポート体制で卒業後の進路選択をバックアップ

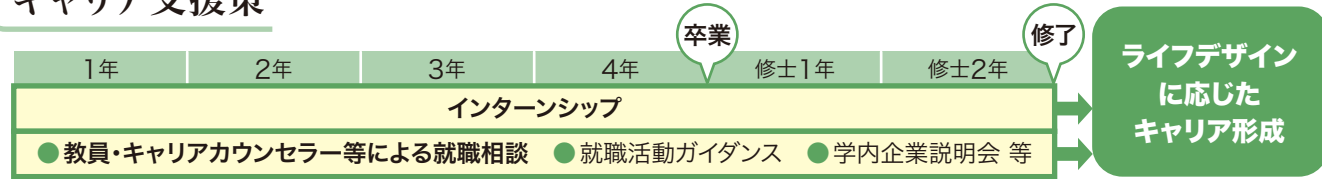
### キャリアセンター

学生が低学年から主体的に進路が選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ及び就職支援等を推進することを目的としてキャリアセンターが設置されています。

### キャリア支援の三本柱

- キャリア教育
- インターンシップ
- 就職支援

### キャリア支援策



### キャリア教育

三重大では、学生が人生のあり方を考え、それを将来の社会生活や職業生活に結び付けていくために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。大学基礎科目の「キャリア教育入門」のほか、教養基礎(副専攻)科目の中にあるキャリア教育関連の科目を開講しており、指定された単位を履修し、研修を受けた学生には、学生支援や修学支援を行うための「キャリア・ピアサポート(CPS)資格」「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を取得することができますので、1年の時から計画的に履修することをお勧めします。

### キャリア・ピアサポート(CPS)資格教育プログラム

### スチューデント・アシスタント(SA)資格教育プログラム

資格取得を通して社会人としての「実践力」を育成!

大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、知識量だけでなく、獲得した知識に基づいた実践のための応用力が求められるようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけでなく、学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修し、研修を受けた学生に対しては、「キャリア・ピアサポート(CPS)資格」、および「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を認定します。

「キャリア・ピアサポート(CPS)資格」を取得した学生は、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画、また「スチューデント・アシスタント(SA)資格」を取得した学生は、授業補助等で教員・学生のサポート役を担うなど、三重大の活性化にもつながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な「対人関係能力」や「コミュニケーション能力」といった能力を身につけていくこともできるでしょう。

※これらの活動は、学内における様々なピアサポート団体によって行われている活動の一例です。

#### キャリア・ピアサポート資格

資格取得のためには、下記必修科目の履修と研修を受ける必要があります。

**必修科目** ●キャリア教育入門

**研修** ①e-learning受講(30分)+確認テスト  
②グループワーク(90分程度)に参加・発表

認定された方に資格認定証を授与!

資格認定者の発表は、前期申請については10月上旬、後期申請については次年度4月上旬を予定しています。

#### スチューデント・アシスタント(SA)資格

資格取得のためには、下記選択科目の履修と研修を受ける必要があります。

**CPS資格**

**選択科目** 右記から1科目以上取得

- 学習支援実践
- 学生生活支援実践
- ピアサポート実践

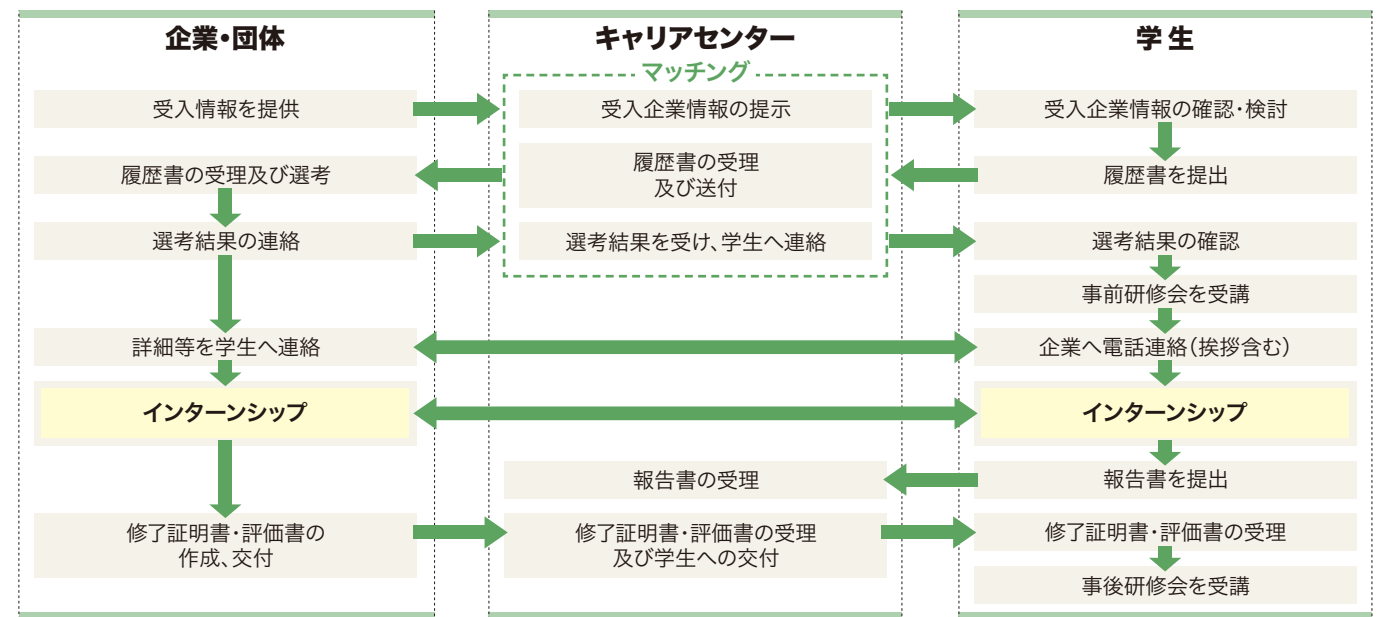
**研修** ①e-learning受講(30分)+確認テスト  
②グループワーク(90分程度)に参加・発表  
③担当者による面談

### インターンシップ

三重大では、教育目標に掲げる「4つの力」を体現し、地域に貢献する人材育成を推進するため、インターンシップ参加を必須としています(インターンシップの卒業要件化)。本学が進めるインターンシップは、「教育的インターンシップ」と称し、大学教育の一環として取り込まれるものです。大学での学修と社会組織での実習・経験を結び付けることで、学生の学修を深化させ、新たな学習の意欲を喚起させるとともに、学生に自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供します。



### インターンシップ実施の流れ (キャリアセンターを通じて参加するインターンシップ)



### インターンシップ参加者数 (令和4年度)

(延べ数)

所属	学部生				大学院生		合計
	1年	2年	3年	4年	修士	博士	
人文学部	10	76	315	8	1		410
教育学部			17				17
医学部							0
工学部		1	146	30	44		221
生物資源学部	15	45	166	1	17		244
地域イノベーション学研究科	—	—	—	—	11		11
非正規生							0
合計	25	122	644	39	73	0	903

### インターンシップ受入企業・団体

アイ・シー・エス、愛知時計電機、アビ、アビームシステムズ、伊勢市役所、ISOWA、いなべ市役所、井村屋グループ、エステートケミカル、エスワイシステム、NTT データ東海、大垣共立銀行、尾鷲物産、カリモク家具、九鬼産業、交洋、三交不動産、三十三銀行、三祐コンサルタンツ、JA あいち経済連、JA 愛知信連、JA 全農みえ、JAPAN TESTING LABORATORIES、ジャパンマテリアル、食品分析開発センター SUNATEC、住友電装、ZTV、ソフィックス、大同特殊鋼、太陽化学、竹本油脂、中外医薬生産、津市役所、デリカフーズ、デンソートリム、デンソーパワートレインテクノロジーズ、東京海上日動火災保険、東邦ガス、トーテックアメニティ、鳥羽市役所、トヨタシステムズ、豊田自動織機 IT ソリューションズ、トヨタモビリティパーツ、名古屋港管理組合、日本トランスシティ、林テレンプ、万協製菓、光機械製作所、百五銀行、百五総合研究所、マサヤ、松阪市役所、松阪電子計算センター、三重県警察本部、三重県庁、三重県文化振興事業団、三重県労働福祉協会、ミエデン、三重労働局、三井住友海上火災保険、ミルボン、名南コンサルティングネットワーク、メディカル光グループ、八神製作所、安永、ヤマザキマザック、ヤマモリ、四日市合成、四日市市役所、ライフ・テクノサービス など



## 就職支援

キャリアセンターでは就職相談・就職情報の提供・就職ガイダンスを3つの柱として、学生の自立的な就職活動を支援しています。

キャリアセンターホームページ <https://www.mie-u.ac.jp/life/career/>

### 就職相談コーナー

キャリアカウンセラーが個別に  
進路・就職相談に応じます。



- 就職するか進学するか進路に迷っている。
- 学部卒と院卒、どちらがいいのか。
- 公務員か民間企業に就職するか、悩んでいる。
- やりたい仕事がなく、応募企業が見つからない。
- 自己分析をしていて、自分に自信がなくなった。
- エントリーシートに記載するような自己PRが見つからない。
- エントリーシートの添削をしてほしい。
- 個別面接対策を指導して欲しい。
- 人前で話すのが苦手。模擬面接をしてほしい。

### 就職情報コーナー(総合研究棟Ⅱ 1階)

就職およびインターンシップ等に関する情報を提供します。

- 就活参考書(公務員試験過去問、SPI・面接対策本 等)の貸出
- 企業情報の公開



就職活動参考書(貸出)  
※借りる際は事務室まで申し出てください。

自由に使えるパソコンやフリースペースを設けています。

### 就職ガイダンス等

本学では主に3年生、修士1年生対象の就職ガイダンスを開催しています。

少人数制のミニ講座も開催し、模擬面接を行っています。

### 年間計画 就職ガイダンス(予定)

実施月	ガイダンス
4月	前期スタートアップガイダンス(就職活動スケジュール・準備について概要) 就活手帳配布
	自己分析対策講座(SPI性格検査)
	公務員対策講座
5月	インターンシップに向けた業界研究講座
	インターンシップ学内企業説明会
6月	筆記試験対策講座
7月	インターンシップ活躍講座(グループディスカッション対策講座)
10月	学生関係者対象 就職活動説明会
	後期スタートアップガイダンス+企業・業界研究(今後の就職活動スケジュール・準備 等)
	1・2年生向けキャリアガイダンス エントリーシート対策(自己PR・志望動機)
12月	就活裏話 ～採用活動のリアルな今～ 文系版・理系版
1月	面接対策講座
	就職活動直近ガイダンス
11月～2月	業界研究セミナー・公務員業務説明会・学内企業研究会
3月	学内企業説明会

Pick up!



## 三重大学卒業者の就職状況 (令和4年度)

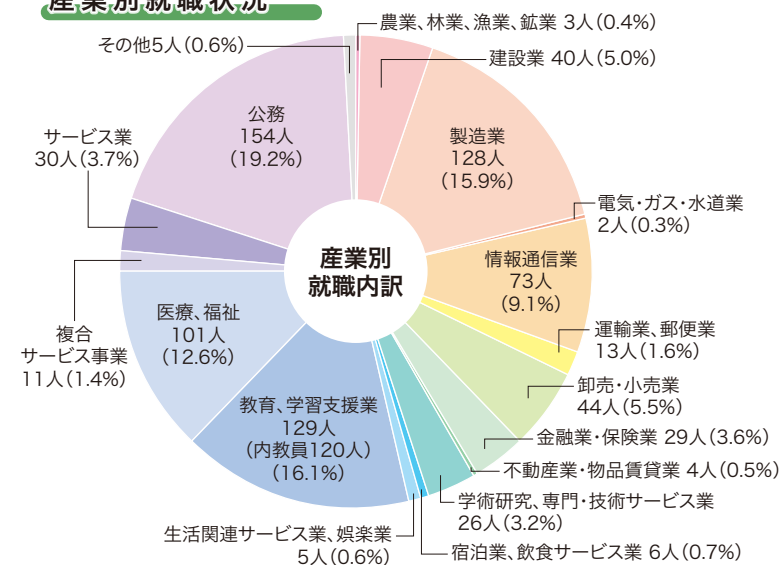
令和5年5月1日現在

区分	学部	人文学部	教育学部	医学部		工学部	生物資源学部	合計	
				医学科	看護学科				
卒業生数		275( 140)	201( 130)	126( 39)	78( 75)	411( 62)	265( 115)	1,356( 561)	
卒業生内訳	就職者数	247( 128)	183( 121)		78( 75)	148( 30)	147( 67)	803( 421)	
	進学者数	11( 6)	12( 5)		0( 0)	251( 30)	113( 48)	387( 89)	
	臨床研修医			123( 39)				123( 39)	
	その他	17( 6)	6( 4)	3( 0)	0( 0)	12( 2)	5( 0)	43( 12)	
	計	275( 140)	201( 130)	126( 39)	78( 75)	411( 62)	265( 115)	1,356( 561)	
就職者の産業別内訳	農業、林業、漁業、鉱業	0( 0)	1( 0)		0( 0)	0( 0)	2( 0)	3( 0)	
	建設業	2( 1)	1( 0)		0( 0)	28( 6)	9( 3)	40( 10)	
	製造業	27( 16)	6( 4)		0( 0)	68( 13)	27( 15)	128( 48)	
	電気・ガス・水道業	1( 0)	0( 0)		0( 0)	1( 0)	0( 0)	2( 0)	
	情報通信業	41( 22)	7( 5)		0( 0)	18( 4)	7( 3)	73( 34)	
	運輸業、郵便業	5( 0)	0( 0)		0( 0)	4( 0)	4( 1)	13( 1)	
	卸売・小売業	23( 14)	2( 1)		0( 0)	6( 2)	13( 6)	44( 23)	
	金融業・保険業	24( 12)	4( 4)		0( 0)	0( 0)	1( 1)	29( 17)	
	不動産業・物品賃貸業	3( 2)	0( 0)		0( 0)	1( 0)	0( 0)	4( 2)	
	学術研究、専門・技術サービス業	10( 5)	1( 1)		0( 0)	5( 1)	10( 3)	26( 10)	
	宿泊業、飲食サービス業	1( 1)	1( 0)		0( 0)	1( 0)	3( 1)	6( 2)	
	生活関連サービス業、娯楽業	2( 2)	0( 0)		0( 0)	1( 1)	2( 2)	5( 5)	
	教育、学習支援業	7( 6)	116( 68)		0( 0)	0( 0)	6( 3)	129( 77)	
		(内、教員数)	4( 3)	112( 66)		0( 0)	0( 0)	4( 3)	120( 72)
	医療、福祉	10( 5)	13( 12)		77( 74)	0( 0)	1( 1)	101( 92)	
	複合サービス事業	3( 2)	2( 2)		0( 0)	0( 0)	6( 3)	11( 7)	
	サービス業	12( 6)	2( 2)		0( 0)	3( 1)	13( 5)	30( 14)	
公務	74( 33)	26( 21)		1( 1)	10( 2)	43( 20)	154( 77)		
その他	2( 1)	1( 1)		0( 0)	2( 0)	0( 0)	5( 2)		
計	247( 128)	183( 121)	0( 0)	78( 75)	148( 30)	147( 67)	803( 421)		
就職先地域	三重県	64( 31)	102( 67)		55( 53)	22( 5)	31( 12)	274( 168)	
	愛知県	90( 45)	44( 32)		16( 15)	47( 7)	39( 22)	236( 121)	
	東海地方(静岡県・岐阜県)	9( 6)	6( 4)		0( 0)	4( 0)	15( 5)	34( 15)	
	関東地方	50( 24)	12( 8)		2( 2)	45( 9)	42( 20)	151( 63)	
	近畿地方	20( 14)	15( 8)		4( 4)	24( 6)	16( 7)	79( 39)	
	その他	14( 8)	4( 2)		1( 1)	6( 3)	4( 1)	29( 15)	
計	247( 128)	183( 121)	0( 0)	78( 75)	148( 30)	147( 67)	803( 421)		
就職率	97.2%	98.4%		100%	96.1%	97.4%	97.6%		

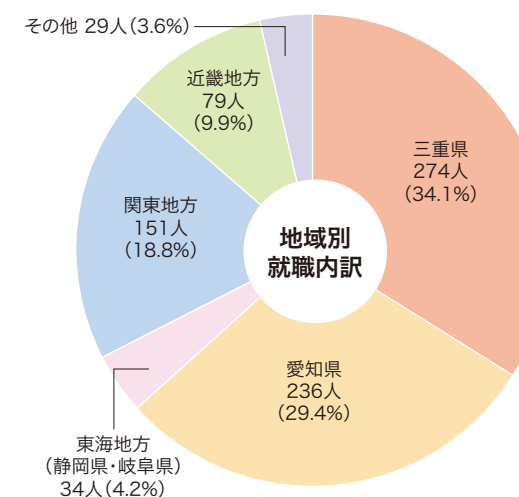
※( )内は女子を内数で示す。 ※就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合。

## 産業別・地域別就職状況(学部全体) (令和4年度)

### 産業別就職状況



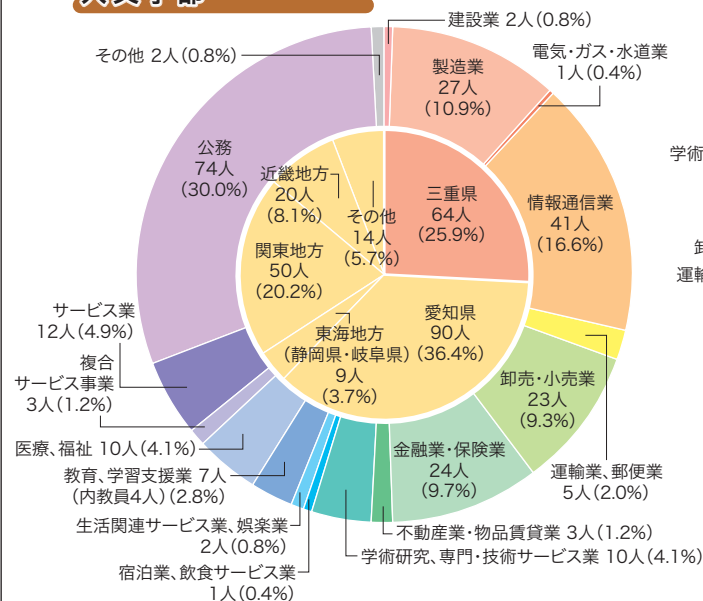
### 地域別就職状況



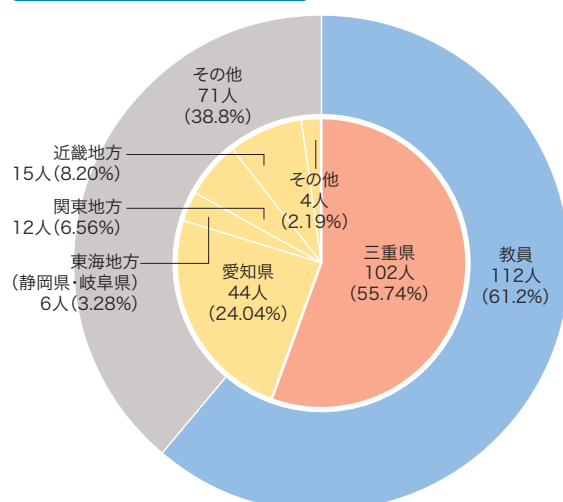


## 学部別就職状況 (令和4年度) 有能な人材を多様な分野に輩出!

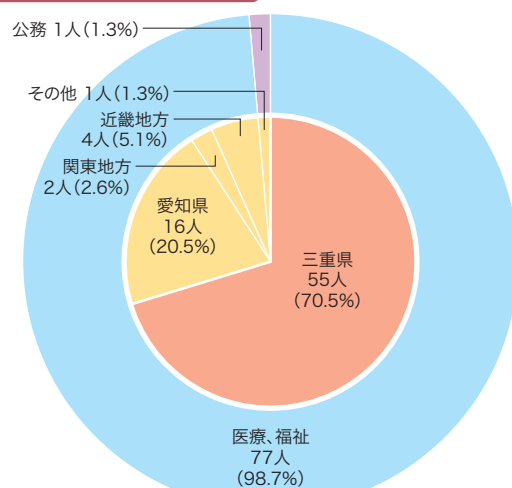
### 人文学部



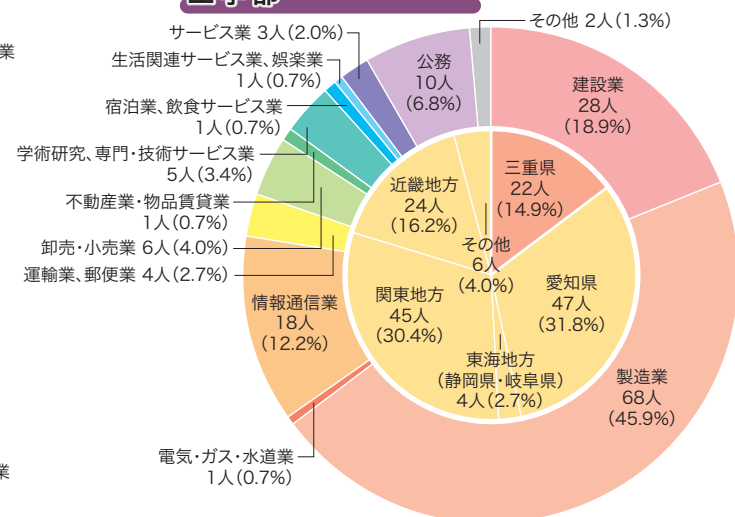
### 教育学部



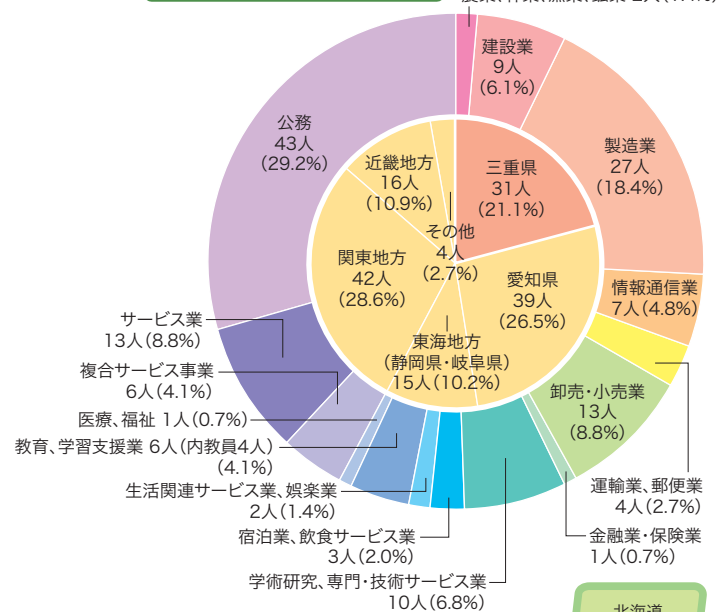
### 医学部(看護学科)



### 工学部



### 生物資源学部



## 都道府県別就職状況 (令和4年度)



## OB・OG紹介

### 人文学部 法律経済学科(現代経済コース)

三重県庁 勤務 2020年卒業

#### Q1. 入庁の動機は?

ありきたりな理由ですが、生まれ育った三重県に貢献したいという思いから、三重県職員を志しました。異動を繰り返す中で様々な部署を経験して、幅広く活躍できるオールラウンダーな職員になりたいと考えていました。

#### Q2. 現在のお仕事は?

入庁して2年間は観光魅力創造課という部署で、三重県内の観光地を飛び回って観光事業者の方と三重県の観光をどう盛り上げていくか一緒に考えていました。現在は鈴鹿保健所の健康増進課という部署で、感染症の対策や啓発を行っています。コロナ禍では、罹患された方のフォローや何万もの患者のデータ管理に取り組んでいました。

#### Q3. 仕事のやりがいは?

若手の自分にも大きな仕事を任せてもらえるので、裁量が大きく自分の力が試せるところにやりがいを感じます。また、仕事の中でたくさんの人や企業と関わっていくことで、県民の声を直接聞くことができます。声の中にはポジティブなものもあれば、もちろんネガティブなものもありますが、そのようなリアルな声を仕事に反映させられるのはやりがいに繋がっています。

#### Q4. これからの目標は?

異動を繰り返す中で様々な部署を経験して、三重県にある課題に力強く取り組める、色んな分野で活躍できる最強の三重県職員になって、より良い三重県を創ってきたいです。

#### Q5. 学生時代に熱中したことは?

色んなことにチャレンジしてみたいという思いから、部活動や地域活動など様々な活動に参加していました。中でも、三重県生ファンタジスタクラブという部活動で、三重県内の様々な地域で地元の方と交流したり企業に取材したりした経験は、三重県職員を志すキッカケになりましたし、仕事の中でも活かされています。



受験生に一言

三重大学は、学問はもちろん、サークル、ボランティア、留学…、とにかく色々なことにチャレンジできるチャンスがたくさんあって、将来のことを考えたり自分自身を見つめ直したり、自分の可能性を広げられる素晴らしいキャンパスです。三重大学で素敵なキャンパスライフを送ってください!

## 教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース

三重大学教育学部附属小学校 教諭 2014年卒業

#### Q1. 教員を目指したきっかけは?

子どものころからピアノと英語を習い、中・高時代は運動部に打ち込んできました。高校の時は、理系科目に興味がある一方、文系科目のほうが得意で進路に迷っていました。その中で、幅広い興味や知識が生かせる「小学校教師」になれば、自分自身がこれまで身に付けてきたものを最大限発揮できるのではないかと思います、この仕事を目指しました。

#### Q2. 現在のお仕事は?

松阪市の公立学校で3年間勤務した後、人事交流で附属小学校に異動して7年目となります。①教育の理論・実際に関する研究及びその実証、②地域教育の改善・進歩への寄与、③学生の教育実習という附属学校の使命を果たすべく、日々の業務をこなしています。また、今年度は6年生を担当しています。情報機器の担当もしており、一人一台端末の管理や運用なども大切な仕事の1つです。

#### Q3. 仕事のやりがいは?

日々の授業がとても楽しいです。子どもの知的好奇心がすぐぐられ、学びの世界に没頭できるような授業を考えます。そして授業を考えていると、自分自身が知らないこと、分からないことがたくさん出てきます。子どもとともに学び続けることができるため、世の中の見え方が変わり、自分の人生が豊かになっていく気がします。

#### Q4. これからの目標は?

若さの勢いでがむしゃらに働く!という思いが、家族ができて変わりました。これからは全ての人々が働きやすい、魅力的な学校現場をつくっていくことが目標です。そのためには、まずは自分がワークライフバランスのとれた、持続可能な働き方を周りに示していきたいです。子どもたちも、疲れている先生より、元気な先生のほうが嬉しいですからね!

#### Q5. 学生時代に熱中したことは?

教育学部の屋上で、地域に開かれた「星空観望会」を企画してスタートさせました。SNSで情報発信をしたり、異分野とコラボレーションをしたりして、新しいことをどんどん進めました。アイデアを形にするのがとても楽しかったです。伸び伸びとやりたいことを実現させてくれた大学の先生方には感謝してもきれません。



受験生に一言

教師は複雑で専門的なコミュニケーションが必要とされるため、AIに仕事を奪われることがないと言われていました。これから10年、20年先を見据えたとき、これまでよりさらに価値ある仕事となっているでしょう。日本の未来を担う子どもたちのため、ぜひ教育の世界に飛び込んでください。教育学部は小さな総合大学のように、いろんな知見をもつ専門家が集まっています。また、附属学校園をはじめとした現場での実習も充実しています。



## 医学部 医学科

三重大学医学部附属病院 リハビリテーション科 2020年卒業

### Q1. 医師を目指したきっかけは？

小学6年生の時に地方の医師不足に関する新聞記事がきっかけだったかもしれません。三重県出身で将来も三重に残って働けるといいなと考えていた記憶があります。

### Q2. 現在のお仕事は？

初期研修終了後、三重大学病院リハビリテーション科でリハビリ医療について学んでいます。障害を持つ患者さんが望む生活を送ることができるように職場の方々と協力しています。

### Q3. 仕事のやりがい

リハビリを頑張ってくださる患者さんに寄り添って助けになれた時にやりがいを感じます。また、未来の医学、医療体制に貢献するための研究にも強いやりがいを感じます。

### Q4. これからの目標

まだまだ勉強中の身なので、日々知識、技術を身につけてより患者さんのためになれる医者になることです。



#### 受験生に一言

受験生時代はしんどいことも多かったですが、終わってしまえばすべていい思い出になりました。今の努力は必ず将来の役に立つと思いますので体調を崩さない範囲で頑張ってください。

## 医学部 看護学科

三重大学医学部附属病院 看護師 2019年卒業

### Q1. 看護師を目指したきっかけは？

高校時代に将来のことを考えたとき、もともと身体の健康について興味があったため看護師であれば医療について学びつつ患者さんと身近に接することができると思い、看護師を目指し始めました。

### Q2. 現在のお仕事は？

大学卒業後は3年ほど心臓血管外科・呼吸器外科内科病棟にて看護師としてはたらかせていただき、今年からは手術室看護師として手術に関わっています。

### Q3. 仕事のやりがい

患者さんから笑顔と感謝の言葉をいただいた時が一番やりがいを感じる瞬間です。また、現在は手術室看護師として医師や臨床工学技士などの他職種とともに、一つ一つの手術を安全に進行させることにもやりがいを感じています。

### Q4. これからの目標

今年度から勤務部署が変わったこともあり、まずは現在の環境にて学びを深めて、より良い手術看護を患者さんに提供できるようになりたいです。



#### 受験生に一言

たくさんのことを学び、たくさんの仲間とも出会え、私は三重大学に入って本当に良かったと思っています。大学受験はとても大変だとは思いますが、受験生の皆さんも体調には気を付けて、合格に向けて頑張ってください。

## 大学院工学研究科 情報工学専攻

Roland株式会社 第3事業本部 Wind Synthesizer開発部 2020年修了

### Q1. 入社の動機は？

他とは違う面白い製品を作る、という点にワクワクする魅力を感じ、入社を志望しました。完成品メーカーであるためユーザーに近いところで仕事ができ、企画から開発まで幅広いプロセスに携われて、規模が大きすぎずやりたいことに挑戦でき、そして何より趣味の音楽活動でずっと愛用していた楽器メーカーで働ける！という点が最大の決め手となりました。

### Q2. 現在のお仕事は？

電子楽器(ウインドシンセサイザー)の製品開発を行っています。具体的にはソフトウェア担当として製品のファームウェアを開発したり、製品と繋がるiOS・Android用アプリを開発したり、新機能の企画検討業務をしたりしています。ウインドシンセという楽器は弊社でもまだ新しい分野です。いい製品を作るだけでなく、どうすればお客様に届くのか、を考えるのが大事だと思っています。

### Q3. 仕事のやりがい

自分の楽器をプロのミュージシャンが使っているのを見た時は本当にやりがいを感じました。自分のアイデアを世界中の方に届けられて、またその反応を見ることができるというのは、この仕事ならではのことだと思います。

### Q4. これからの目標

主力となる新製品を企画・開発するのが目標です。ニーズを読んで新製品を企画し、自分の製品を世界中に自慢できたら、最高だと思います。技術先行になりすぎず、ユーザー目線で欲しいと思えるような製品を開発するべく、常にアンテナを張って取り組んでいきます。



#### 受験生に一言

大学では本当に色々な経験ができます。自分の興味を掘り下げることも、また全く知らなかった価値観に触れることもできます。受験勉強は大変なことも多いと思いますが、それを乗り越えるだけの価値があると思います。せっかくなのでこの期間を楽しみつつ、自信を持ってやっちゃいましょう！応援しています。

## 大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻

株式会社桃谷順天館 研究本部 中央研究所 2019年修了

### Q1. 入社動機は？

私自身化粧品が好きで、化粧品業界の研究職を志望しました。業界の中でもスキンケアに力をいれている点に加え、製品開発の最初の段階から試作検討、工場でのスケールアップまでを一貫して担当ができるという点にやりがいを感じ、志望しました。

### Q2. 現在のお仕事は？

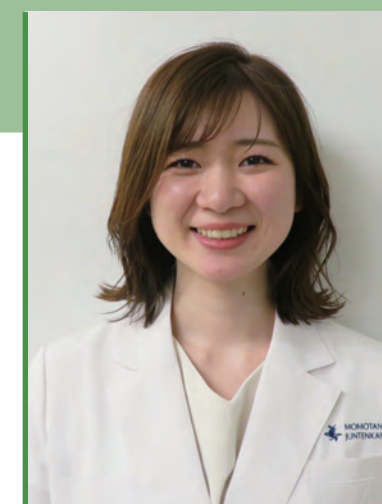
化粧品の製品開発を行っています。化粧水やクリームなどのスキンケア製品からファンデーションなどのメイク製品まで幅広く扱っており、ピーカーを使った小スケールでの試作、評価を行い、お客様にご満足いただける製品を開発できるよう日々検討を行っています。

### Q3. 仕事のやりがい

実際に棚で売られている製品をお客様に手に取っていただいたときは本当にうれしいです。求める使用感を追求するためには時には地道な検討が必要なものもありますが、こだわりをもって精一杯取り組んだ分、お客様に喜んでいただけた時は非常にやりがいを感じます。

### Q4. これからの目標

世の中の方のお肌の悩みを解決できるような製品を開発していくことが目標です。スキンケアもメイクも、化粧品は人々を笑顔にする力があると思っています。そんな製品を開発することができるように、研究者として技術や知識を身につけたいと思います。



#### 受験生に一言

大学はいろんな人や経験に触れることができるとても貴重な場です。大学受験は本当に大変ですが、この時期に頑張ったことは皆さんの人生の中で今後きっと生きてきます。悔いの無いように、精一杯頑張ってください。応援しています！



## 環境・情報科学館〈メープル館〉

Mie Environmental & Informational Platform:MEIPL



環境・情報科学館は、環境学習の充実や双方向的な学習・教育研究を図ることを目的とした建物で、メープル館(MEIPL:Mie Environmental & Informational Platform)との愛称で親しまれています。

隣接する図書館とは2階の連絡通路でつながっており、アカデミックコモンズの一角として、学生による新しい知の創出と共有の場となることを想定しています。

環境への配慮として、建物には太陽光パネルや屋上緑化、LED照明、CO<sub>2</sub>センサーなど、自然光の活用やエネルギーロスを削減する様々な工夫や環境配慮技術が施されています。また、1階展示ホールの壁面には、三重大学演習林の間伐材が再利用されており、木の香りを楽しむことができます。

### 1階 環境情報の発信拠点



展示ホール

#### 企画・展示機能

世界一の環境先進大学及び社会貢献度日本一を目指すために、環境に関する取組や研究成果を分かりやすく展示し、環境を学べるコーナーや交流スペースを設けて、環境団体や企業、自治体などと連携して環境教育・研究等の情報発信を行う拠点(プラットフォーム)となります。また、地域との協働の場とするために、地域コミュニティとの交流を行います。



マルチディスプレイ(1F展示ホール)

### 2階 利用者自身がデザインする学習空間



ラーニングコモンズ

#### 能動的学習支援機能

利用者間の情報共有や新しい発想を促すために、可動式の椅子やテーブル、ホワイトボード、本棚を備えています。利用者自身が必要とする学習空間をデザインできます。また、よりプライベート感をもって課題探究活動ができるグループ学習室、ゆったりくつろいだり、談話したり、休憩したりするためのソーシャル・スペースもあります。



屋上ウッドデッキ

### 3階 授業やゼミのための新しい教室空間



PBL演習室、ティーチングコモンズ

#### 人材育成機能

廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室空間では、それぞれのプライバシーを確保しながら、お互いの気配を感じることで、刺激しあえる空間となっています。可動式の椅子やテーブルを備えていますので、多様な教育方法に対応できます。

## 情報教育・研究機構

### ▼ 情報ライブラリーセンター(図書館)

<https://www.lib.mie-u.ac.jp>



キャンパスの中央に位置する図書館は、延べ面積8,276㎡、閲覧座席数741席を備え、約95万冊の図書を所蔵しています。

1階は、利用者自身が必要に応じて学習空間をデザインし、学生同士で相談しあったり、ディスカッションをしたりしながら学習することができるラーニングコモンズというグループ学習のエリアです。また、各種新聞を閲覧できる新聞コーナー、DVDなどを鑑賞できる視聴覚コーナーがあります。

2階は、学習用の図書や辞書・辞典があるエリアがあり、大学院生と学部最終学年の学生には研究用個室もあります。

3階は、静かに利用するエリアです。完全な静粛な学習空間となっています。

### 図書館における情報リテラシー教育について

図書館では、皆さんの学部あるいは大学院での学習・研究活動を支援するために、資料の収集や情報サービスの充実に努めています。なかでも、コンピューターとネットワークによる学術的情報の収集発信(読み書き)能力を主とした情報リテラシーの育成を支援する活動に力をいれています。

#### 図書館利用ガイドンス

- 図書館ツアー
- 書庫利用ガイドンス



#### 情報検索講習会

- 蔵書検索入門
- 国内文献検索講習会
- 海外文献検索講習会



#### その他

- 授業内容に関連した講習会など

#### 開館時間

- ◎ 平日(月~金) 8:30~20:00
- ◎ 土・日・祝日 11:00~18:30
- ◎ 春・夏・冬季休業期(月~金) 8:45~17:00

#### 休館日

- ◎ 入学試験日(一般選抜)、  
年未年始(12月28日から1月4日)
- ◎ 夏季一斉休業日、  
春・夏・冬季休業中の土・日・祝日
- ◎ システムメンテナンスに必要な日

#### 図書館利用に関するお問い合わせ

- ◎ 情報ライブラリーセンター(図書館)  
サービス担当  
TEL:059-231-9088 (平日 9:00~17:00)  
E-mail:lib-service@ab.mie-u.ac.jp

### ▼ 総合情報処理センター

<https://www.cc.mie-u.ac.jp/>



総合情報処理センターは、情報システム管理運用を行い大学における情報基盤システムの構築並びに維持発展のため戦略策定を行っています。学内にWi-Fi環境を整備し、ノートパソコンを持ち込んで大学のネットワークに接続することができるようにしています。さらにVPN環境を構築することで、安全に学外からリモートで教育・研究活動を行える環境を提供しています。研究用ソフトウェア、教育用プリンタ、WordPressサービスなど、便利なサービスも展開しています。また、IT講習会やDSセミナーにて、最先端の情報技術やデータサイエンス・DXなどの話題に触れられる機会を設けています。

### ▼ データサイエンス教育センター

<https://www.cdser.mie-u.ac.jp>



データサイエンス教育センターは、社会課題の背景を理解した上で課題を整理・判断する力、情報処理、AI、統計学などの異なる領域を横断的に学び、データサイエンスに関連した新しい知見を現場で使える形に変え実装・運用する力を育成するための教育を行うことを目的に設立されました。データが社会の構成要素のほんの一面であることを理解した上で、その本質を探求し、利活用する力を養うことで、社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



## 高等教育デザイン・推進機構

<https://www.hedp.mie-u.ac.jp/>



高等教育デザイン・推進機構では、各部局等と連携・協働し、三重大学の目標の達成に向けた教育諸活動の創造、開発を推進するために、機構内に5つのセンターを設置し、教育の質保証の向上に向けた取組を行っています。

### ▼全学共通教育センター

三重大学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、全学共通教育に係る理念やカリキュラム構成に関する事項について再定義し、社会に求められる人材育成のため、本学の全学共通教育を展開することを目的としています。

### ▼全学資格プログラムセンター

三重大学において開設する教職課程(教育学部における教職課程を除く。)及び学芸員養成課程等資格に係る事項について、プログラムの拡充及び質保証に係る必要な措置を講ずることを目的としています。

### ▼高等教育開発デザイン・IRセンター

三重大学の教育目標の達成に向けた高等教育の開発、デザイン、教育実践とその質保証に関わる評価並びに教育におけるデータの収集・分析(IR機能)の拡充に関する諸活動を行うことを目的としています。

### ▼アドミッションセンター

三重大学が定めるアドミッション・ポリシーに基づき、高校教育及び大学教育の連続性と一貫性に立つ高大接続を推進するとともに、多面的かつ総合的な評価で構成する入学選抜方法の開発及び実現を通じ、地域に貢献する人材の育成に寄与することを目的としています。

### ▼地域創造教育センター

三重大学が取り組む地域共創活動のために、幅広い分野で地域社会を牽引する地域創造マインドを持つ人材を育成するとともに、地域社会の持続的発展に寄与することを目的としています。

## 学生総合支援機構 →P61

<https://www.mie-u.ac.jp/life/>



学生総合支援機構では、「三重大学における学生支援の基本方針」、「三重大学キャリア教育方針」及び「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を踏まえ、各部局及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。

機構は、学生自身による学生支援(ピア・サポート等)にも積極的に取り組んでおり、全学の教職員及び学生が一体となった学生支援を推進しています。

各センターは総合研究棟Ⅱに位置しており、随時各種相談に対応しています。機構ホームページをご確認の上、相談をお寄せください。

## みえの未来共創機構

<https://www.mrpco.mie-u.ac.jp>



みえの未来共創機構は、新たな成果の創出を目指した5つの施設等(産学官連携推進部門、知的財産マネジメント部門、産学官連携リスクマネジメント部門、地域共創展開センター、地域圏防災・減災研究センター)で構成され、三重大学が地域社会とともに発展を目指す地域共創大学として、地域で展開する実践力豊かな人材の育成や研究成果の価値向上を図るとともに、社会の発展に資する諸活動を支援しています。

## 研究基盤推進機構



研究基盤推進機構は、先端科学研究支援センター、オープンイノベーション施設、卓越型リサーチセンター、卓越型研究施設で構成され、共同利用機器を活用した研究開発や人材育成の支援を行い、分野横断的・独創的な先端研究等を推進する施設として、三重大学の研究活動を支えています。

## 国際交流センター →P65,66

<https://www.mie-u.ac.jp/international>



国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。現在33か国・地域、111大学・機関と学術交流協定を締結し、学生の派遣・受入を行っています。

また外国人留学生のための日本語教育、英語等による国際教育、国際キャリアアッププログラムなどを実施しています。

## 地域拠点サテライト

<https://www.rscn.mie-u.ac.jp>



地域拠点サテライトでは、県内全域を三重大学の教育研究フィールドと位置付け、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト(北勢サテライト、伊賀サテライト、伊勢志摩サテライト、東紀州サテライト)を展開しています。各地域サテライトにおいては、自治体・教育機関等との連携および協力のもとに、特色豊かな活動拠点が置かれ、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。



また、これら4つの地域サテライトが地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能としての役割を担うことで、地域課題の発見・共有、共同研究・共同プロジェクト等を通じた課題解決等に全学的に取り組みながら、三重大学の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。



令和6年度入学定員(募集人員)

学部	学科・コース	入学定員	募集人員						備考
			一般選抜		総合型選抜	特別選抜			
			前期日程	後期日程		学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人	
人文学部	文化学科	92	67	18		5	1	1	「注1」 「注2」 「注5」 参照
	法律経済学科	153	100	33		18	1	1	
学部計		245	167	51		23	2	2	
医学部	医学科	125	75	10		40			「注1」「注3」 「注6」「注7」 「注9」 参照
	看護学科	80	52	5		20		3	
学部計		205	127	15		60		3	
工学部	総合工学コース	40	40						「注1」 「注4」 参照 ※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。
	機械工学コース	80	45	15		20			
	電気電子工学コース	90	42	35		13			
	応用化学コース	90	40	40		10			
	建築学コース	40	30	10					
	情報工学コース	60	25	30	5				
学部計		400	222	130	5	43			
生物資源学部	生物資源総合科学コース	30	15			15			「注1」「注2」 「注10」参照 ※各コースの入学定員は配属目安と読み替えてください。
	農林環境科学コース	110	53	28		25	2	2	
	海洋生物資源学コース	45	25	10		8	1	1	
	生命化学コース	75	41	10		22	1	1	
	学部計	260	134	48		70	4	4	

学部	課程・コース・選修	入学定員	募集人員						備考			
			一般選抜		学校推薦型選抜	特別選抜						
			前期日程	後期日程		推薦I	推薦II	三重県南部地域		三重県全域	帰国生徒	社会人
教育学部	国語教育コース	初等教育選修	23	11	3							「注1」参照
		中等教育選修		7	2							
	社会科教育コース	初等教育選修	17	8	2							
		中等教育選修		5	2							
	数学教育コース	初等教育選修	21	11								
		中等教育選修		10								
	理科教育コース	初等教育選修	19	10								
		中等教育選修		9								
	音楽教育コース	初等教育選修	10	4	3							
		中等教育選修		3								
	美術教育コース	初等教育選修	9	6								
		中等教育選修		3								
	保健体育コース	初等教育選修	17	6	3							
		中等教育選修		5	3							
	技術・ものづくり教育コース	初等教育選修	10	5								
		中等教育選修		4		1						
	家政教育コース	初等教育選修	13	5		3						
		中等教育選修		5								
	英語教育コース	初等教育選修	13	6								
中等教育選修			7									
特別支援教育コース	初等教育選修	18	11	7								
	中等教育選修											
学校教育	教育学専攻	20	7		3							
	教育心理学専攻		7		3							
学部計		200	165	25	7	3	若干名「注8」	若干名「注8」				
合計	入学定員	募集人員						備考				
		一般選抜		総合型選抜	特別選抜							
		前期日程	後期日程		学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人					
		1,310	815	269	5	206	「注8」	6	9			

- 「注」1. 学校推薦型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部は前期日程で、医学部、工学部、生物資源学部は一般選抜で行います。  
 2. 帰国生徒特別選抜及び社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、生物資源学部ともに一般選抜で行います。  
 3. 医学部看護学科の社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。  
 4. 総合型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。  
 5. 人文学部文化学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦C:5名です。  
 人文学部法律経済学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦A:5名、推薦B:3名、推薦C:10名です。  
 6. 医学部医学科の前期日程における募集人員には、三重県地域医療枠5名程度を含みます。  
 7. 医学部医学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠30名(地域枠A:25名程度、地域枠B:5名程度)を、医学部看護学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠13名程度を含みます。  
 8. 教育学部地域推薦について  
 (1) 地域推薦(三重県南部地域)の合格者は、各コース1名以内、合計5名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。  
 (2) 地域推薦(三重県全域)の合格者は、前期日程初等教育選修の募集人員(選修の別がないコースは前期日程の募集人員)が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内)とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。  
 9. 医学部医学科の入学定員及び募集人員は、医学部臨時定員増に関する文部科学省・厚生労働省への手続等を検討中であることから、令和5年度入試の状況を記載しております。  
 医学部医学科志願者は令和6年度学生募集要項(一般選抜・学校推薦型選抜)を確認の上、出願してください。  
 10. 生物資源学部生物資源学科(生物資源総合科学コース)の学校推薦型選抜における募集人員は、紀伊黒潮枠15名とします。

入試状況

令和5年度及び過去2年間の入学志願状況(一般選抜)

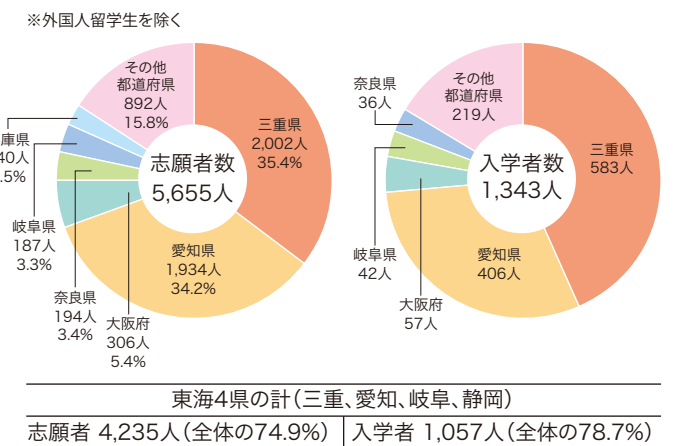
学部	学科・課程・コース	前期日程						後期日程					
		令和5年度			過去2年間の倍率			令和5年度			過去2年間の倍率		
		募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	令和4年度	令和3年度	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	令和4年度	令和3年度
人文学部	文化学科	67	145	2.2	77	2.9	2.0	18	164	9.1	26	15.9	7.3
	法律経済学科	100	353	3.5	115	2.5	2.9	33	290	8.8	38	7.2	6.2
計		167	498	3.0	192	2.6	2.5	51	454	8.9	64	10.3	6.6
教育学部	学校教育教員養成課程	164	488	3.0	172	2.4	5.5	25	376	15.0	24	14.4	24.9
医学部	医学科	75	350	4.7	76	5.2	5.3	10	212	21.2	12	21.3	18.3
	看護学科	52	112	2.2	57	2.0	2.5	5	84	16.8	6	18.0	24.2
工学部	総合工学コース	40	91	2.3	41	3.2	6.9	-	-	-	-	-	-
	機械工学コース	45	92	2.0	55	3.2	2.2	15	117	7.8	22	11.0	4.3
	電気電子工学コース	42	146	3.5	46	2.7	2.3	35	515	14.7	35	3.7	6.3
	応用化学コース	40	79	2.0	52	2.9	4.5	40	253	6.3	42	5.8	4.8
	建築学コース	30	65	2.2	32	3.9	3.5	10	102	10.2	10	4.8	6.6
	情報工学コース	25	56	2.2	34	4.3	2.8	30	126	4.2	30	8.2	4.7
計		222	529	2.4	260	3.3	3.7	130	1,113	8.6	139	6.3	5.3
生物資源学部	資源循環学科	33	52	1.6	42	2.2	2.6	15	119	7.9	19	5.3	9.5
	共生環境学科	35	147	4.2	57	3.1	2.9	15	158	10.5	25	4.7	6.0
	生物圏生命化学科	43	126	2.9	52	2.4	2.7	17	189	11.1	22	5.6	9.5
	海洋生物資源学科	22	59	2.7	27	3.5	4.5	8	86	10.8	9	7.6	8.4
	計	133	384	2.9	178	2.7	3.0	55	552	10.0	75	5.6	8.4
合計		813	2,361	2.9	935	3.0	3.8	276	2,791	10.1	320	8.5	9.0
前期・後期合計		募集人員		志願者数	志願倍率								
		1,089		5,152	4.7								

- (注)1 前期日程において、教育学部、工学部及び生物資源学部の志願者数は、第1志願者の数を示し、第2、第3志願者は含まれません。  
 (注)2 後期日程において、生物資源学部の志願者数は、第1志願者の数を示し、第2、第3志願者は含まれません。

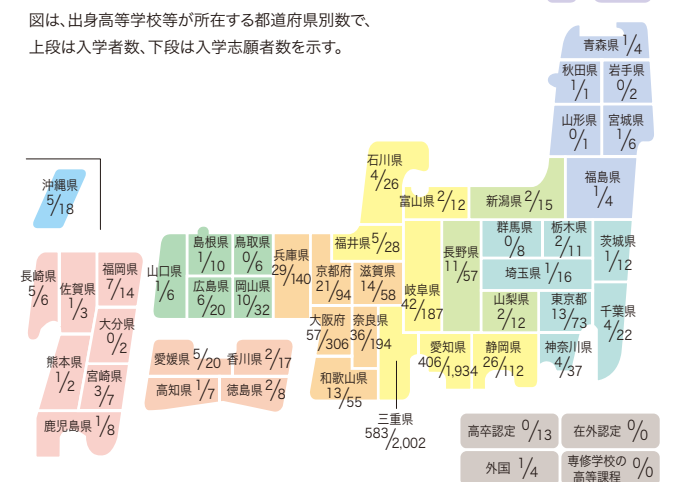
令和5年度 特別選抜等実施状況

選抜総合型	区分	募集人員	志願者	合格者	
工学部	総合工学科	5	11	5	
	(情報工学コース)				
(注) 2段階による選考を実施する。(共通テストを課す)					
学校推薦型選抜	人文学部	文化学科	5	16	6
	法律経済学科	18	46	19	
	計	23	62	25	
	教育学部	学校教育教員養成課程	11	43	18
	医学部	医学科	40	143	40
	看護学科	20	47	20	
	計	60	190	60	
	工学部	総合工学科	43	76	42
	生物資源学部	資源循環学科	20	35	18
	共生環境学科	18	12	5	
生物圏生命化学科	18	36	18		
海洋生物資源学科	8	30	8		
計	64	113	49		
合計		201	484	194	
帰国生徒特別選抜	人文学部	文化学科	1	3	1
	法律経済学科	1	1	0	
	計	2	4	1	
	生物資源学部	資源循環学科	1	0	0
	共生環境学科	1	0	0	
生物圏生命化学科	1	0	0		
海洋生物資源学科	1	0	0		
計	4	0	0		
合計		6	4	1	
社会人特別選抜	人文学部	文化学科	1	0	0
	法律経済学科	1	0	0	
	計	2	0	0	
	医学部	看護学科	3	1	1
	生物資源学部	資源循環学科	1	1	0
共生環境学科	1	0	0		
生物圏生命化学科	1	1	0		
海洋生物資源学科	1	1	0		
計	4	3	0		
合計		9	4	1	

令和5年度出身都道府県別志願者・入学状況(学部)



都道府県別の内訳





# 三重大学へのアクセス



## 交通案内

**東京方面から**  
 JR「新幹線のぞみ」で  
 東京より JR東京駅 約100分 JR名古屋駅  
 JR名古屋駅からはJR、近鉄とも利用出来ます。

**名古屋、大阪、京都方面から**

名古屋 近鉄名古屋駅 徒歩 江戸橋(三重大学前)  
 京都・大阪より 伊勢中川駅 徒歩 約15分  
 大阪 難波 上本町 鶴橋 奈良 大和八木 伊勢中川 宇治山田

**近鉄電車「急行」で**  
 名古屋より 近鉄名古屋駅 約60分 徒歩 江戸橋(三重大学前)  
 京都・大阪より 伊勢中川駅 約15分 徒歩 約15分

**近鉄電車「特急」で**  
 名古屋より 近鉄名古屋駅 約50分 徒歩 約15分  
 大阪より 大阪難波駅 約90分 徒歩 約15分  
 京都より 京都駅 約110分 徒歩 約15分

**JR「快速みえ」で**  
 名古屋より JR名古屋駅 約50分 徒歩 約10分



## 周辺交通案内

**江戸橋(三重大学前)駅から**  
 徒歩約15分

**津駅から**  
 1. バスで約15分  
 三重交通バス津駅東口「4番」のりばより「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)「高田高校前」(56系統)行きに乗車、「三重大学前」下車。  
 (附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)  
 2. タクシーで約10分

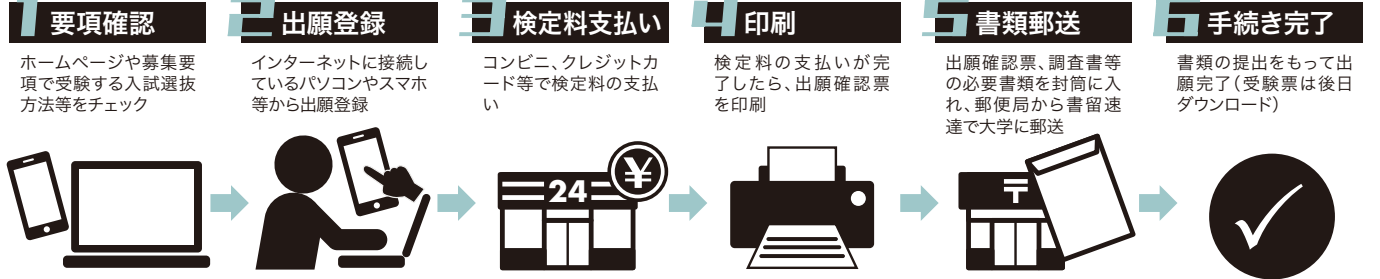
**中部国際空港(セントレア)から**  
 津エアポートライン(船)で津なごさまちへ45分  
 1. 「津なごさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分  
 2. 「津なごさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等はこちらをご覧ください  
<https://www.mie-u.ac.jp>

# インターネット出願のご案内

令和6年度(令和5年度実施)の **一般選抜**(前期・後期日程)、**特別選抜**(総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人特別選抜、帰国生徒特別選抜、私費外国人留学生特別選抜)は**インターネット出願**となります。

## ネット出願の手順



各選抜の学生募集要項は配布しませんので、三重大学入試情報ウェブサイトよりダウンロードをお願いします。  
 ●学校推薦型選抜/総合型選抜 8月下旬公表予定  
 ●一般選抜 11月中旬公表予定  
<https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/guidelines/>

## 入学者選抜要項・学部案内の入手方法

インターネット(パソコン、スマホ・携帯電話)で請求する場合

### テレメールを利用

① テレメールのサイトにアクセスしてください。

<https://telemail.jp>  
 資料請求用QRコード(資料請求番号の入力不要)

② ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内	564380
入学者選抜要項	584380
入学者選抜要項・大学案内	564350
人文学部案内	584370
教育学部案内	564370
医学部看護学科案内	544380
工学部案内	544390
生物資源学部案内	564570
生物資源学部 教職員紹介パンフレット	707080

スマホでテレメールQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

※医学部医学科案内は、三重大学入試情報ウェブサイトから閲覧またはダウンロードしてください。

③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。

テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

- 資料請求終了時および受付確認メール内に表示される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
- 随時発送の資料が1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を1週間過ぎても届かない場合、資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお、土曜・日曜・祝日の配達には通常ありませんので、お急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で、お問い合わせください。
- 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に支払ってください。
- 料金のお支払いは「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い(LINE Pay 請求書支払い、au PAY 請求書支払い)」「携帯キャリア払い」「PayPay」「クレジットカード払い」がご利用になります。コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料118円が、携帯キャリア払い、PayPayとクレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料30円が、支払い時に別途必要です。

請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター  
**TEL 050-8601-0102**  
 (9:30~18:00)

### モバっちょを利用

① 下記の方法でモバっちょにアクセスしてください。



インターネット  
 ●パソコン  
 ●スマホ  
 ●携帯電話

<https://djcmie-u2/>

※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。  
 ※携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。

② 以降はガイダンスに従ってください。

●受付から2~5日程度で発送されます。ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。

請求方法についてのお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター  
**TEL 050-3540-5005**  
 (平日10:00~18:00)